

国際交流・多文化共生市民意識調査
結果報告書

令和 4 年 12 月

札幌市

目次

1 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 送付件数、回収率.....	1
(3) 調査結果の見方等.....	1
2 調査結果.....	2
(1) 日本人市民向けアンケート結果.....	2
【多文化共生】.....	2
問1 札幌市の暮らしやすさ.....	2
問2 外国人市民が増えることで良くなること.....	4
問3 外国人市民が困っていたり、不安に感じていたりしていると思うこと.....	5
問4 多文化共生社会実現に向け、あなたができること.....	7
問5 多文化共生社会実現に向け、外国人市民に望むこと、期待すること.....	8
問6 外国人市民との交流機会として実施してほしい取組、参加したい取組.....	10
問7 やさしい日本語の認知度、実践度.....	11
【国際交流・国際協力】.....	12
問8 多文化共生社会実現に向け札幌市と札幌国際プラザが力を入れるべきこと.....	12
問9 海外との関係で経験したこと.....	14
問10 海外に住む人との交流事業への参加意向.....	15
問11 海外に住む人としてみたい交流.....	17
問12 札幌市と今後関係が強くなると思う地域.....	18
問13 今後札幌市が行っていく必要がある国際協力の取組.....	20
問14 国際交流を行うことによる効果として期待すること.....	22
問15 世界冬の都市市長会に期待すること.....	23
問16 国際交流・協力を進めるために札幌市にしてほしいこと（自由記載）.....	24
(2) 外国人市民向けアンケート結果.....	32
【コミュニケーション・生活支援】.....	32
問1 札幌市に住んでいる理由.....	32
問2 札幌市に住み続けたいと思うか.....	33
問3 問2の回答の理由.....	34
問4 札幌市は暮らしやすいだと思うか.....	41
問5 日本や札幌での生活で困っていること、心配なこと.....	42
問6 問5で回答した困っていること、心配なことの詳細.....	43
問7 生活に困ったときの相談相手.....	50
問8 生活しているうえで必要な情報の入手方法.....	51
問9 災害への備え.....	52
問10 札幌市の多文化共生に関する取組で頑張してほしいこと.....	53
【日本人市民とのかかわり】.....	55
問11 日本人市民と話す機会.....	55
問12 外国人市民と日本人市民の相互理解のために自分ができること.....	56
問13 相互理解のために日本人市民にしてほしいこと.....	57
問14 地域の活動への参加経験.....	59
問15 問14の回答の理由.....	60
問16 今後参加したい地域活動.....	66
問17 札幌のまちづくりや地域のためにしたいこと.....	67
問18 札幌市にしてほしいこと（自由記載）.....	68
3. 参考資料.....	75
(1) 日本人市民向けアンケート調査票.....	75
(2) 外国人市民向けアンケート調査票.....	83

1 調査の概要

(1) 調査の目的

①調査対象地域

札幌市全域

②調査対象

札幌市に住民登録を行っている 18 歳以上の日本人市民及び外国人市民

③標本数

日本人市民 2,000 人、外国人市民 2,000 人

④抽出方法

層化抽出

⑤調査方法

配布：郵送

回収：郵送による回収及び WEB 回答による回収

⑥調査期間

令和 4 年（2022 年）6～7 月

⑦調査票の言語

日本語、やさしい日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語、ベトナム語

(2) 送付件数、回収率

①送付数 4,000 件（日本人市民、外国人市民 各 2,000 件）

②回収数 日本人市民 500 件（回収率 25.0%）

外国人市民 272 件（回収率 13.6%）

③回答票の言語 日本人市民：日本語 500 件

外国人市民：英語 101 件、やさしい日本語 84 件、中国語 45 件

ベトナム語 23 件、韓国語 19 件、

(3) 調査結果の見方等

- ・報告書中の N は、パーセントを計算する際の母数となるサンプル数を示しています。
- ・算出されたパーセントは、少数第二位を四捨五入し、少数第一位までの表示としていることから、その合計が 100.0%にならないことがあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

2 調査結果

(1) 日本人市民向けアンケート結果

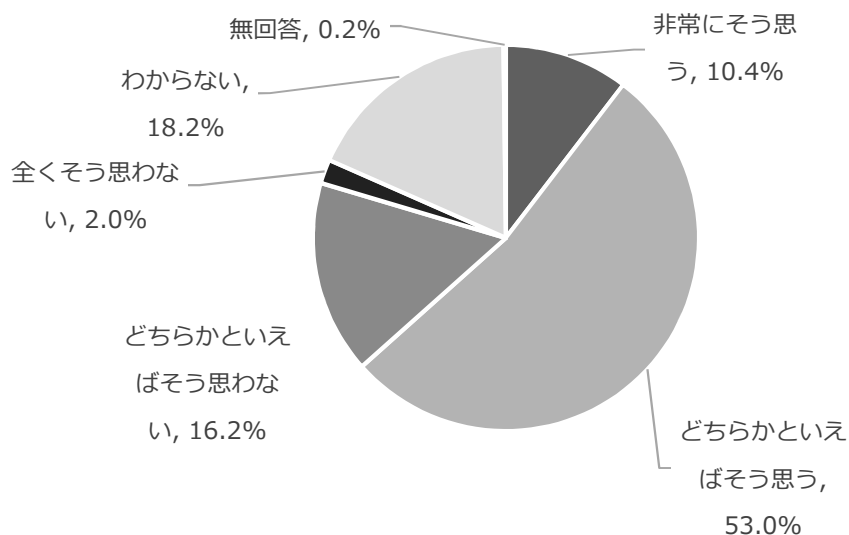
【多文化共生】

問1 札幌市の暮らしやすさ

あなたは札幌市が、国籍などに関係なく暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

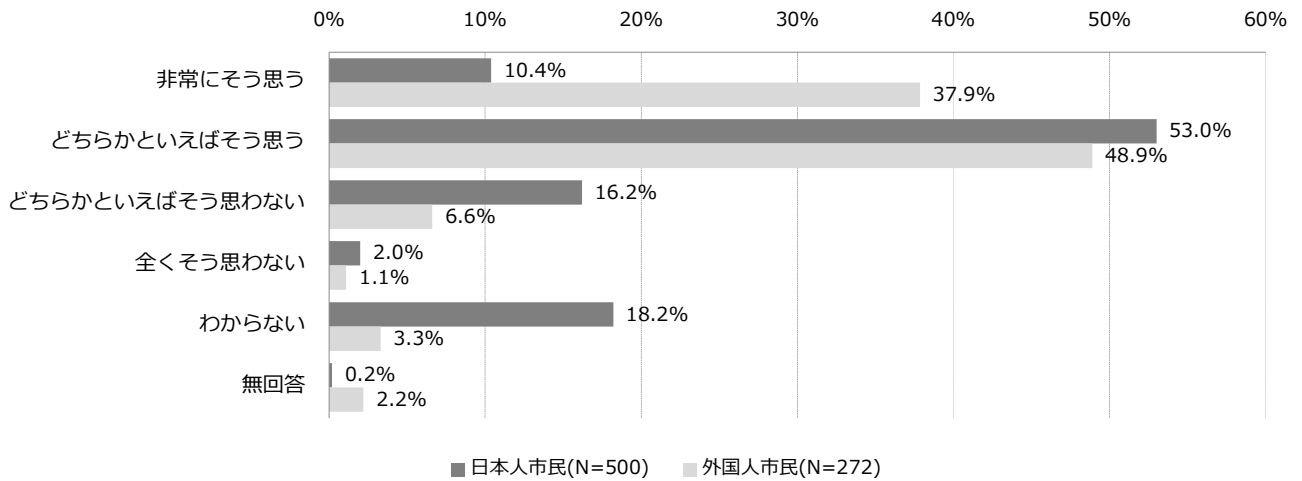
- ・「非常にそう思う」(10.4%)と「どちらかといえばそう思う」(53.0%)の合計は63.4%となっている。
- ・一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.2%)と「全くそう思わない」(2.0%)の合計は18.2%であり、暮らしやすさについて一定の評価を得ている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	非常にそう思う	52	10.4%
2	どちらかといえばそう思う	265	53.0%
3	どちらかといえばそう思わない	81	16.2%
4	全くそう思わない	10	2.0%
5	わからない	91	18.2%
	無回答	1	0.2%
	N (%ベース)	500	100.0%



◆外国人市民の認識との差異

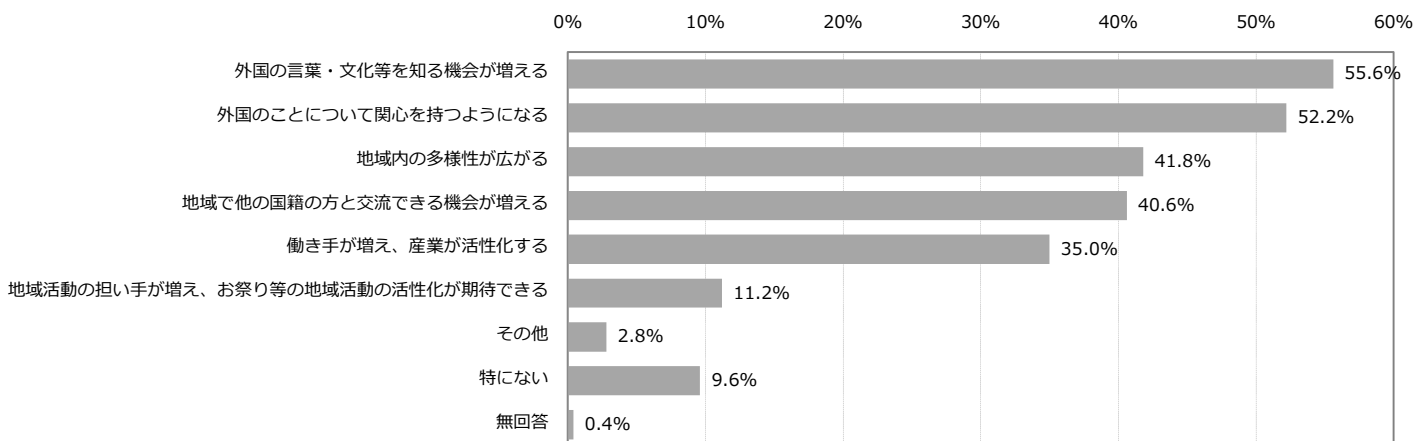
- ・同じ設問を外国人市民にも実施しており、両者を比較すると、日本人、外国人ともに、「どちらかといえばそう思う」が最も多く、両者の間に大きな差はみられない。
- ・「非常にそうだと思う」という回答は、外国人市民（37.9%）が日本人市民（10.4%）を大きく上回っている。「どちらかといえばそう思わない」は日本人市民（16.2%）が外国人市民（6.6%）を上回っている。「わからない」とする回答は、日本人市民が18.2%であるのに対し、外国人市民は3.3%となっている。



問2 外国人市民が増えることで良くなること
 あなたは外国人市民が増えることにより良くなることは何だと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」(55.6%)、「外国のことについて関心を持つようになる」(52.2%)、「地域内の多様性が広がる」(41.8%)の順となっている。
- ・「その他」には、多様性が強化されること、客観的な視点が強化され改善に向けた提案がなされるようになること、経済活性化に寄与すること等が挙げられている。一方、外国人市民が増えることによる治安の悪化、社会の混乱等を危惧する声もみられた。

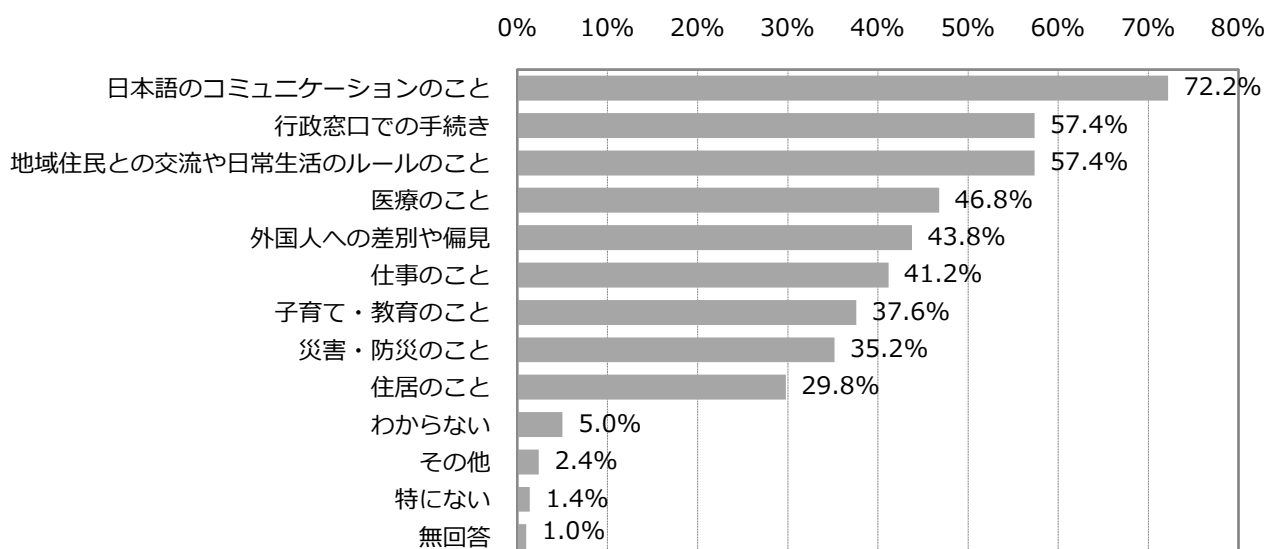
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	278	55.6%
2	外国のことについて関心を持つようになる	261	52.2%
3	地域内の多様性が広がる	209	41.8%
4	地域で他の国籍の方と交流できる機会が増える	203	40.6%
5	働き手が増え、産業が活性化する	175	35.0%
6	地域活動の担い手が増え、お祭り等の地域活動の活性化が期待できる	56	11.2%
7	その他	14	2.8%
8	特にない	48	9.6%
	無回答	2	0.4%
	N (% [^] -入)	500	100.0%



問3 外国人市民が困っていたり、不安に感じていたりしていると思うこと
 外国人市民が困っていたり、不安に感じていたりすることは何だと思えますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「日本語のコミュニケーションのこと」(72.2%) が最も多く、以下「行政窓口での手続き」と「地域住民との交流や日常生活のルールのこと」(ともに 57.4%) が次いでいる。
- ・「その他」には、食生活や文化の違い、雇用面での不平等感、政治的な意見を言いづらいこと、日本人市民との英語でのコミュニケーションの難しさ等が挙げられている。

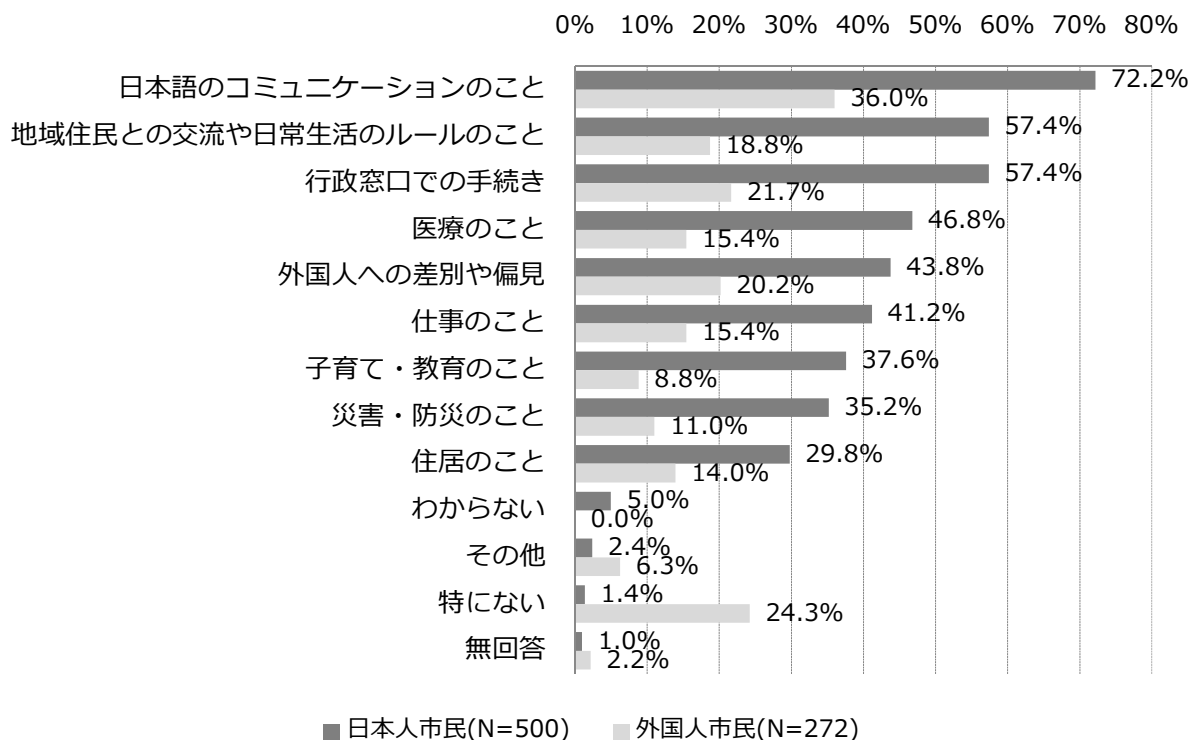
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本語のコミュニケーションのこと	361	72.2%
2	行政窓口での手続き	287	57.4%
3	地域住民との交流や日常生活のルールのこと	287	57.4%
4	医療のこと	234	46.8%
5	外国人への差別や偏見	219	43.8%
6	仕事のこと	206	41.2%
7	子育て・教育のこと	188	37.6%
8	災害・防災のこと	176	35.2%
9	住居のこと	149	29.8%
10	わからない	25	5.0%
11	その他	12	2.4%
12	特にない	7	1.4%
	無回答	5	1.0%
	N (% [^] -入)	500	100.0%



◇外国人市民が日本や札幌で生活する上で困っていること、心配なこと

(日本人市民の回答は、日本人市民から見た印象、想像)

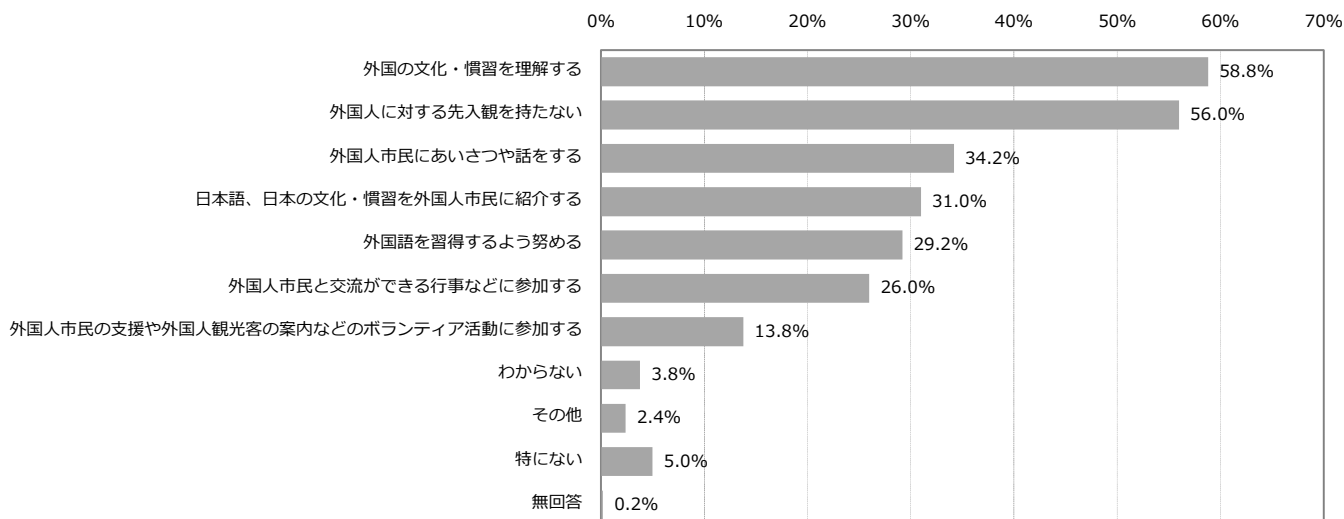
- ・同じ設問を外国人市民にも実施しており、両者を比較すると、同じ項目で日本人市民の割合が大きく上回っている。一方、外国人市民の「特にない」は24.3%となっている。これは、外国人市民が困っていることがないということではないが、日本人市民が（印象や想像で）困っていると思っているほど外国人市民にとって深刻な状況ではないことがうかがえる。ここに、日本人市民と外国人市民の認識に差が観察される。



問4 多文化共生社会実現に向け、あなたができること
日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたができることは何だと思えますか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・「外国の文化・慣習を理解する」(58.8%)、「外国人に対する先入観を持たない」(56.0%)、「外国人市民にあいさつや話をする」(34.2%)、「日本語、日本の文化・慣習を外国人市民に紹介する」(31.0%)の順となっており、まずは日本人市民が外国人市民を理解し、次に挨拶や接点を持つということを重視している様子がうかがえる。
- ・「その他」には、外国人市民を自然に受け入れる、交流機会に参加する、英語等外国語を習得するといった好意的な意見がある一方で、関わらないことがお互い暮らしやすいという見方をしている意見もみられる。

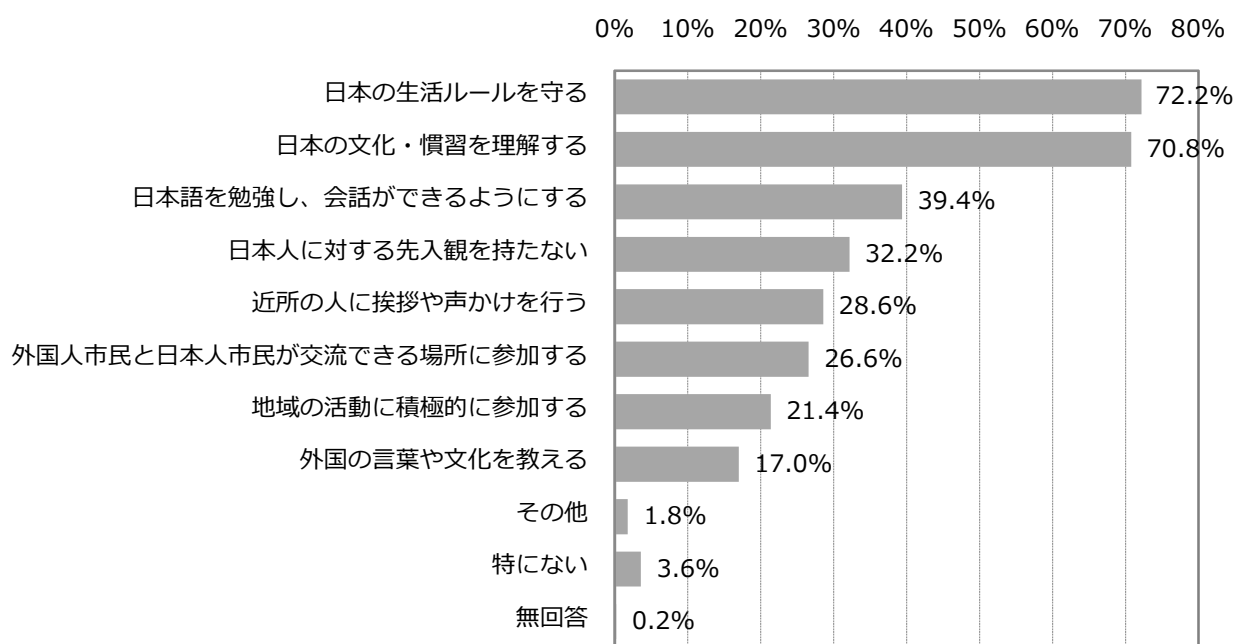
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	外国の文化・慣習を理解する	294	58.8%
2	外国人に対する先入観を持たない	280	56.0%
3	外国人市民にあいさつや話をする	171	34.2%
4	日本語、日本の文化・慣習を外国人市民に紹介する	155	31.0%
5	外国語を習得するよう努める	146	29.2%
6	外国人市民と交流ができる行事などに参加する	130	26.0%
7	外国人市民の支援や外国人観光客の案内などのボランティア活動に参加する	69	13.8%
8	わからない	19	3.8%
9	その他	12	2.4%
10	特にない	25	5.0%
	無回答	1	0.2%
	N (% [^] -)	500	100.0%



問5 多文化共生社会実現に向け、外国人市民に望むこと、期待すること
 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたが外国人市民に望むことや期待することは何ですか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・「日本の生活ルールを守る」(72.2%)と「日本の文化・慣習を理解する」(70.8%)とする回答が特に多くなっている。
- ・「その他」には、法令を遵守する、日本人が受け入れる姿勢を整える方が先、若者から先導すべきといった意見がみられた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本の生活ルールを守る	361	72.2%
2	日本の文化・慣習を理解する	354	70.8%
3	日本語を勉強し、会話ができるようにする	197	39.4%
4	日本人に対する先入観を持たない	161	32.2%
5	近所の人に挨拶や声かけを行う	143	28.6%
6	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する	133	26.6%
7	地域の活動に積極的に参加する	107	21.4%
8	外国の言葉や文化を教える	85	17.0%
9	その他	9	1.8%
10	特にない	18	3.6%
	無回答	1	0.2%
	N (% [^] -)	500	100.0%



◇クロス集計（問4×問5）

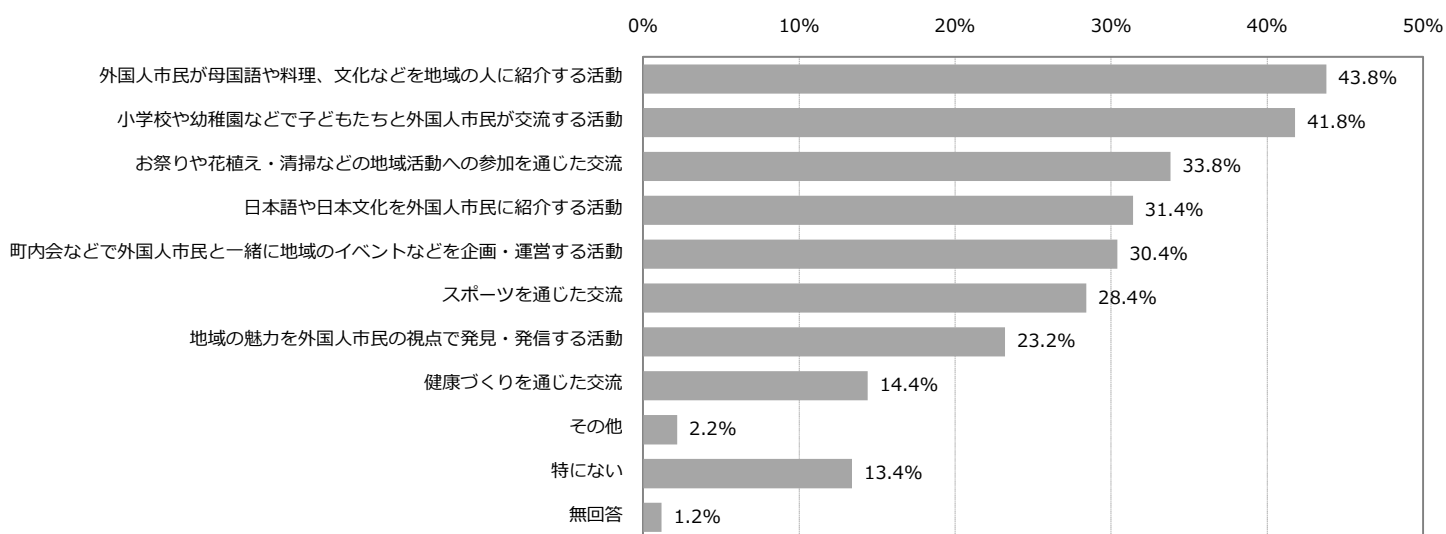
・暮らしやすい社会にするために、日本人市民ができること（問4）と外国人市民に望むこと（問5）をクロス集計すると、「外国の言葉や文化を教える（問5）」×「外国の文化・慣習を理解する（問4）」、「日本人に対する先入観を持たない（問5）」×「外国人に対する先入観を持たない（問5）」が高くなっている（70%以上網掛け）

		問4 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたができることは何だと思えますか										
		外国の文化・慣習を理解する	日本語、日本の文化・慣習を外国人市民に紹介する	外国語を習得するよう努める	外国人市民にあいさつや話をする	外国人市民と交流ができる行事などに参加する	外国人市民の支援や外国人観光客の案内などのボランティア活動に参加する	外国人に対する先入観を持たない	わからない	その他	特にない	無回答
問5 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたが外国人市民に望むことや期待することは何ですか	日本の生活ルールを守る(N=361)	62%	32%	31%	35%	26%	14%	59%	2%	2%	6%	0%
	日本の文化・慣習を理解する(N=354)	66%	36%	32%	36%	30%	15%	58%	2%	2%	5%	0%
	日本語を勉強し、会話ができるようにする(N=197)	64%	41%	40%	41%	29%	15%	59%	3%	2%	7%	0%
	近所の人に挨拶や声かけを行う(N=143)	70%	45%	36%	63%	40%	24%	57%	3%	3%	5%	0%
	日本人に対する先入観を持たない(N=161)	77%	36%	40%	43%	33%	19%	78%	3%	1%	5%	0%
	外国の言葉や文化を教える(N=85)	84%	53%	51%	51%	48%	26%	65%	4%	2%	1%	0%
	地域の活動に積極的に参加する(N=107)	71%	49%	38%	50%	48%	34%	66%	1%	3%	3%	0%
	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する(N=133)	81%	47%	40%	47%	54%	31%	66%	2%	0%	2%	0%
	その他 (N=9)	44%	22%	33%	22%	22%	0%	44%	0%	33%	33%	0%
	特にない(N=18)	0%	6%	17%	6%	0%	0%	39%	28%	6%	28%	0%
無回答(N=1)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

問6 外国人市民との交流機会として実施してほしい取組、参加したい取組
日本人市民と外国人市民が交流する機会として、実施して欲しい取組や参加したい取組は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「外国人市民が母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動」(43.8%)、「小学校や幼稚園などで子どもたちと外国人市民が交流する活動」(41.8%)、「お祭りや花植え・清掃などの地域活動への参加を通じた交流」(33.8%)の順となっている。
- ・「その他」には、言語・文化・芸術面での交流等が挙げられている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	外国人市民が母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動	219	43.8%
2	小学校や幼稚園などで子どもたちと外国人市民が交流する活動	209	41.8%
3	お祭りや花植え・清掃などの地域活動への参加を通じた交流	169	33.8%
4	日本語や日本文化を外国人市民に紹介する活動	157	31.4%
5	町内会などで外国人市民と一緒に地域のイベントなどを企画・運営する活動	152	30.4%
6	スポーツを通じた交流	142	28.4%
7	地域の魅力を外国人市民の視点で発見・発信する活動	116	23.2%
8	健康づくりを通じた交流	72	14.4%
9	その他	11	2.2%
10	特にない	67	13.4%
	無回答	6	1.2%
	N (%^ -s)	500	100.0%



問7 やさしい日本語の認知度、実践度

「やさしい日本語(※)」を知っていますか。また、実践したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

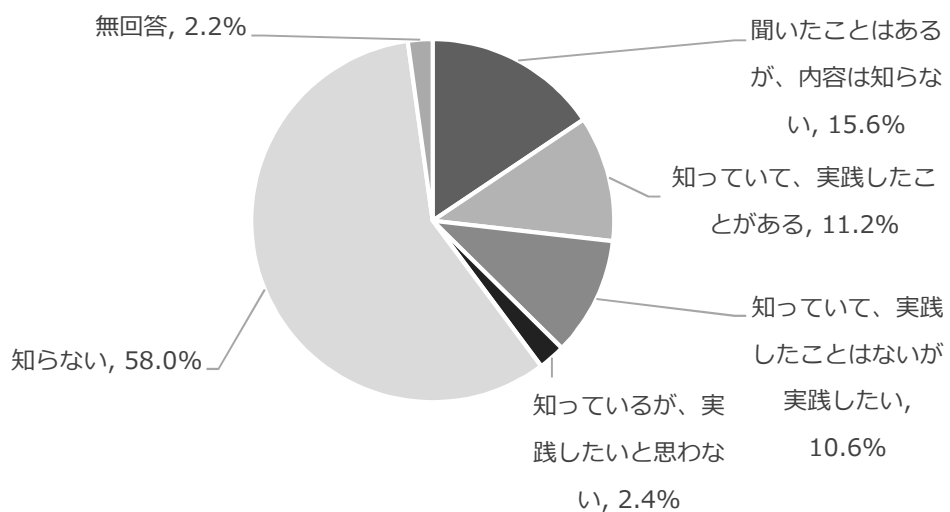
※ やさしい日本語とは、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりルビを振るなどして日本語理解が不十分な外国人にもわかりやすくした日本語のことです。やさしい日本語には、「易しい」と「優しい」の二つの意味が込められており、外国人だけではなく、子どもや高齢者、障がい者とのコミュニケーションにも活用が期待されています。

また、札幌市で今年4月に実施した外国人向けの日本語能力調査では、日本語を問題なく聞き取れる方とやさしい日本語でゆっくり話せば理解できるという方を合わせると87%という調査結果が出ました。

例) 公共交通機関でお越しく下さい → 電車(でんしゃ)や バス(ばす)で 来(き)てく
 ださい
 市役所内は禁煙です → 市(し)役所(やくしょ)の 中(なか)で たばこを 吸(す)わ
 ないで ください

・「やさしい日本語」の存在自体は知っているとする回答(聞いたことはあるが内容は知らない~知っているが実践したいとは思わない)は合計で39.8%、存在自体を「知らない」とする回答は58.0%となっており、知らないとする回答の方が多い。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	聞いたことはあるが、内容は知らない	78	15.6%
2	知っていて、実践したことがある	56	11.2%
3	知っていて、実践したことはないが実践したい	53	10.6%
4	知っているが、実践したいと思わない	12	2.4%
5	知らない	290	58.0%
	無回答	11	2.2%
	N (% [^] -λ)	500	100.0%

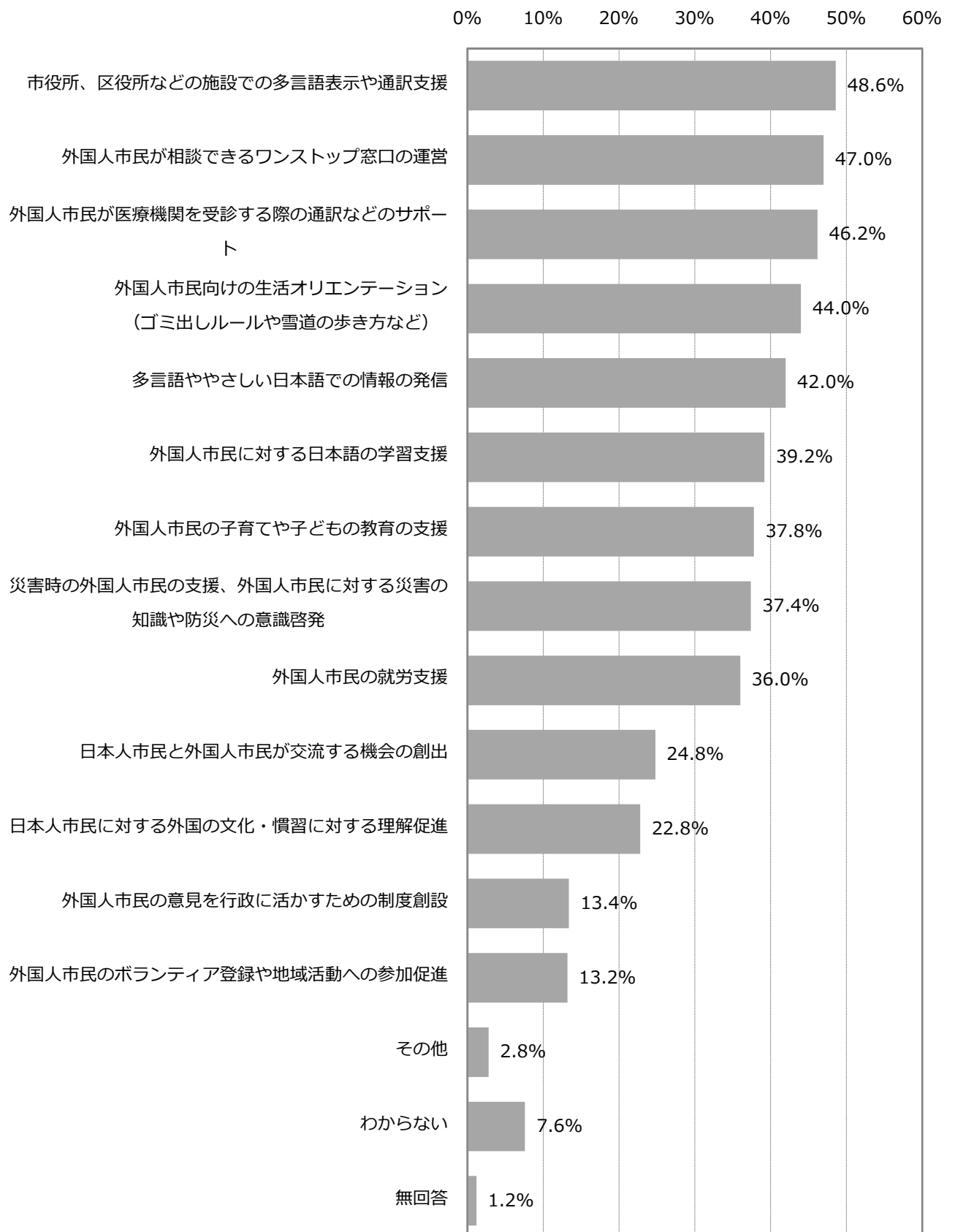


【国際交流・国際協力】

問8 多文化共生社会実現に向け札幌市と札幌国際プラザが力を入れるべきこと
 あなたは札幌市及び公益財団法人札幌国際プラザが多文化共生社会を実現するために力を入れるべきことは何だと思えますか。あてはまるものいくつかでも○をおつけください。

- ・「市役所、区役所などの施設での多言語表示や通訳支援」(48.6%)、「外国人市民が相談できるワンストップ窓口の運営」(47.0%)、「外国人市民が医療を受診する際の通訳などのサポート」(46.2%)、「外国人市民向けの生活オリエンテーション(ゴミ出しルールや雪道の歩き方など)」(44.0%)の順で多くなっている。
- ・「市役所、区役所などの施設での多言語表示や通訳支援」～「外国人市民の就労支援」の回答割合は僅差となっており、外国人市民へのサポートの充実(特に行政手続支援、ワンストップ窓口、医療サービス受診の際のサポート、日常生活のガイダンス等)が必要との認識を持っている日本人市民が多いことがうかがえる。
- ・「その他」では、他都府県等の多文化共生に向けた取組のレビュー、暮らしやすい環境の整備、交流を通じて自然と日本語を身につけていくような場づくり、日本人市民と外国人市民を繋ぐボランティア人材の育成等といった意見が挙げられた。

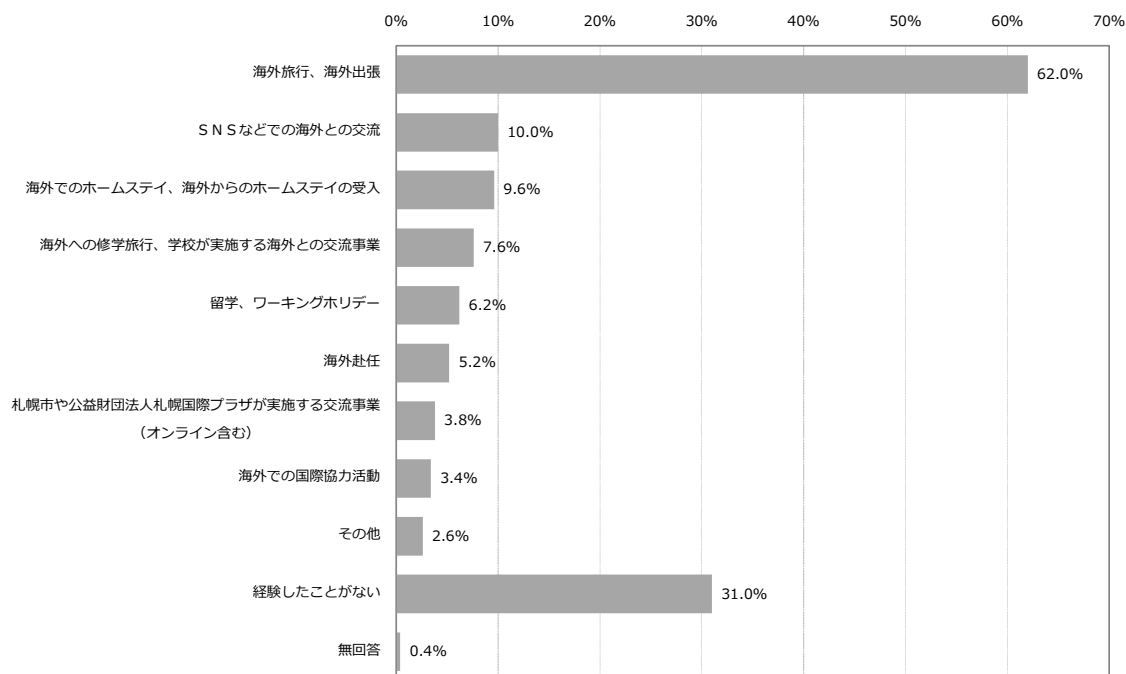
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市役所、区役所などの施設での多言語表示や通訳支援	243	48.6%
2	外国人市民が相談できるワンストップ窓口の運営	235	47.0%
3	外国人市民が医療機関を受診する際の通訳などのサポート	231	46.2%
4	外国人市民向けの生活オリエンテーション (ゴミ出しルールや雪道の歩き方など)	220	44.0%
5	多言語やさしい日本語での情報の発信	210	42.0%
6	外国人市民に対する日本語の学習支援	196	39.2%
7	外国人市民の子育てや子どもの教育の支援	189	37.8%
8	災害時の外国人市民の支援、外国人市民に対する災害の 知識や防災への意識啓発	187	37.4%
9	外国人市民の就労支援	180	36.0%
10	日本人市民と外国人市民が交流する機会の創出	124	24.8%
11	日本人市民に対する外国の文化・慣習に対する理解促進	114	22.8%
12	外国人市民の意見を行政に活かすための制度創設	67	13.4%
13	外国人市民のボランティア登録や地域活動への参加促進	66	13.2%
14	その他	14	2.8%
15	わからない	38	7.6%
	無回答	6	1.2%
	N (% [^] -入)	500	100.0%



問9 海外との関係で経験したこと
 あなたは次のような経験をしたことがありますか。経験したことがあるものにもいくつかでも○をおつけください。

- ・「海外旅行、海外出張」は62.0%が経験したことがあると回答している。「経験したことがない」は31.0%となっている。
- ・「SNSなどでの海外との交流～海外での国際協力活動」はいずれも10%以下となっている。
- ・「その他」には、海外居住経験、家族を通じた外国人との接点、ボランティア活動を通じた接点等、さまざまな経験が挙げられている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	海外旅行、海外出張	310	62.0%
2	SNSなどでの海外との交流	50	10.0%
3	海外でのホームステイ、海外からのホームステイの受入	48	9.6%
4	海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業	38	7.6%
5	留学、ワーキングホリデー	31	6.2%
6	海外赴任	26	5.2%
7	札幌市や公益財団法人札幌国際プラザが実施する交流事業 (オンライン含む)	19	3.8%
8	海外での国際協力活動	17	3.4%
9	その他	13	2.6%
10	経験したことがない	155	31.0%
	無回答	2	0.4%
	N (% [^] -入)	500	100.0%

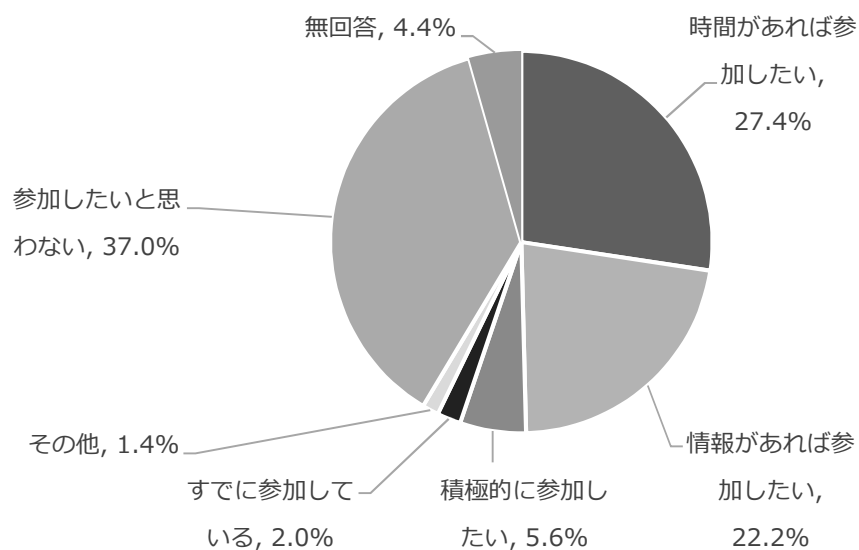


問 10 海外に住む人との交流事業への参加意向

海外に住む人との交流事業へ参加してみたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- ・参加したいという意思がある（「時間があれば参加したい」、「情報があれば参加したい」、「積極的に参加したい」、「すでに参加している」の合計）とする回答は、57.2%となっている。一方「参加したいと思わない」とする回答は37.0%となっている。
- ・「その他」には何かきっかけがあれば参加するという回答が挙げられた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	時間があれば参加したい	137	27.4%
2	情報があれば参加したい	111	22.2%
3	積極的に参加したい	28	5.6%
4	すでに参加している	10	2.0%
5	その他	7	1.4%
6	参加したいと思わない	185	37.0%
	無回答	22	4.4%
	N (%ベース)	500	100.0%



◇クロス集計（問10×問11）

・海外に住む人との交流事業への参加意向（問10）と交流形態（問11）をクロス集計すると、「積極的に参加したい（問10）」×「お互いの母国語や文化を教え合う交流（問11）」等が高くなっている。（40%以上網掛け）

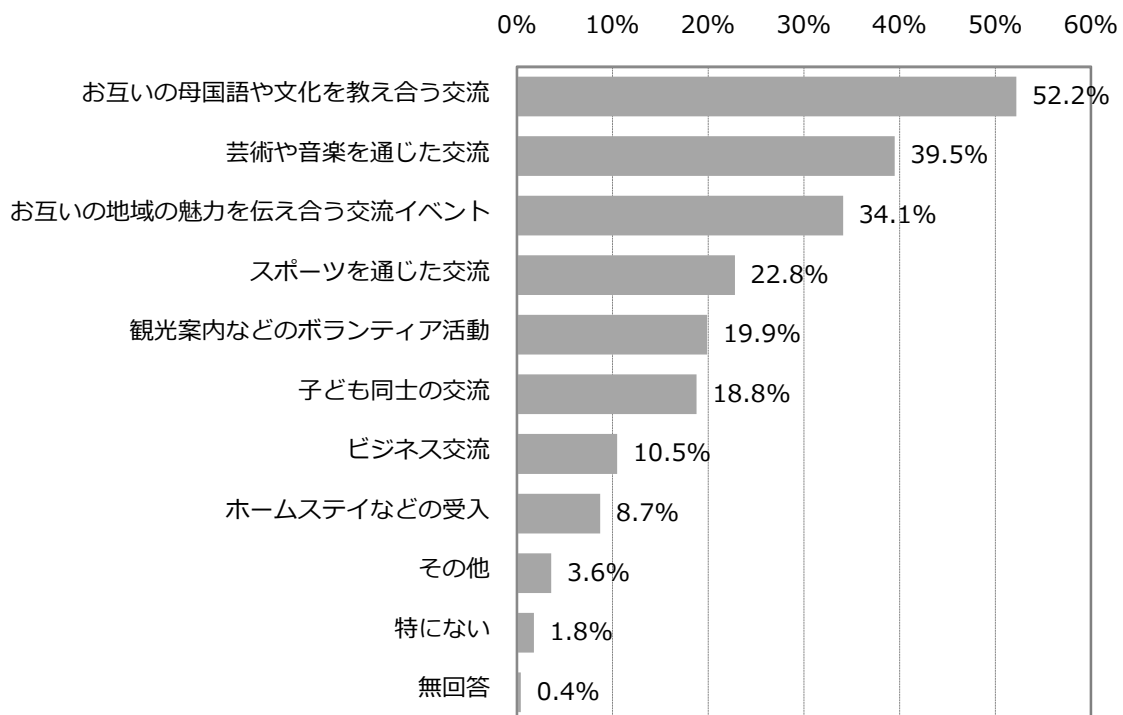
		問11 問10で「参加したい」と回答した方にお聞きします。あなたは海外に住む人とどのような交流をしたいと思いますか										
		お互いの母国語や文化を教え合う交流	ビジネス交流	子ども同士の交流	スポーツを通じた交流	芸術や音楽を通じた交流	お互いの地域の魅力を伝え合う交流イベント	ホームステイなどの受入	観光案内などのボランティア活動	その他	特になし	無回答
問10 海外に住む人との交流事業へ参加してみたいと思いますか	積極的に参加したい	75%	25%	25%	29%	50%	46%	18%	18%	4%	0%	0%
	時間があれば参加したい	54%	10%	23%	26%	36%	32%	9%	16%	5%	2%	1%
	情報があれば参加したい	44%	7%	13%	17%	41%	33%	6%	25%	2%	2%	0%

問 11 海外に住む人としてみたい交流

問 10 で「参加したい」と回答した方にお聞きします。あなたは海外に住む人とどのような交流をしたいと思いますか。あてはまるものにくつでも○をおつけください。

- ・「お互いの母国語や文化を教え合う交流」(52.2%) が最も多く、以下「芸術や音楽を通じた交流」(39.5%)、「お互いの地域の魅力を伝え合う交流イベント」(34.1%) が次いでいる。
- ・「その他」には、食やアウトドアを通じた交流等、交流イベントに関する回答があった。

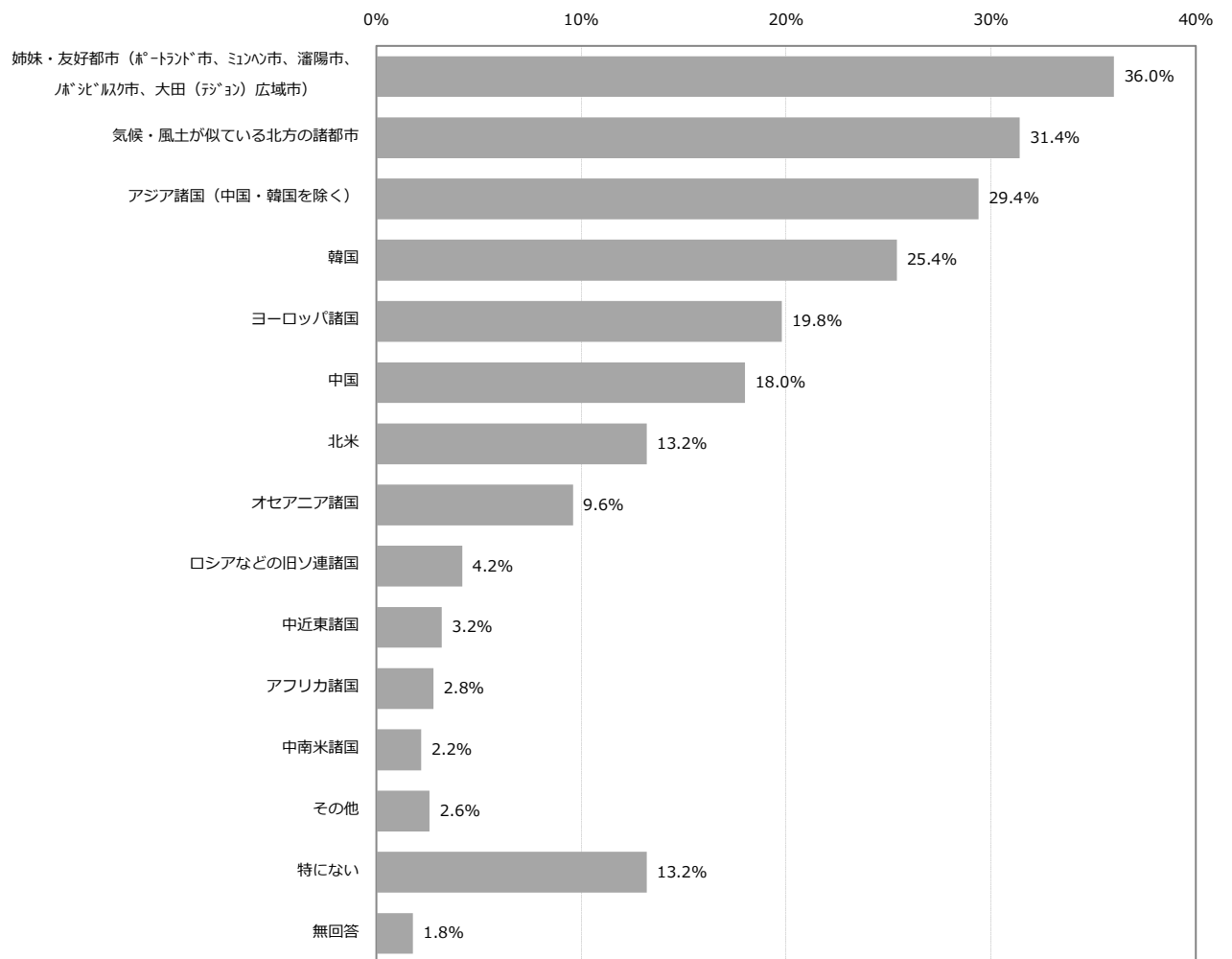
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	お互いの母国語や文化を教え合う交流	144	52.2%
2	芸術や音楽を通じた交流	109	39.5%
3	お互いの地域の魅力を伝え合う交流イベント	94	34.1%
4	スポーツを通じた交流	63	22.8%
5	観光案内などのボランティア活動	55	19.9%
6	子ども同士の交流	52	18.8%
7	ビジネス交流	29	10.5%
8	ホームステイなどの受入	24	8.7%
9	その他	10	3.6%
10	特にない	5	1.8%
	無回答	1	0.4%
	N (% [^] -)	276	100.0%



問 12 札幌市と今後関係が強くなると思う地域
 あなたは札幌市と今後関係が深くなる地域はどこだと思いますか。あてはまるものに
 いくつでも○をおつけください。

- ・姉妹・友好都市 (36.0%) が最も多く、「気候・風土が似ている北方の諸都市」(31.4%)、
 「アジア諸国 (中国、韓国を除く)」(29.4%) が次いでいる。
- ・「その他」には「わからない・決められない」、「札幌と同じように観光を売りにしている
 都市」といった回答があった。

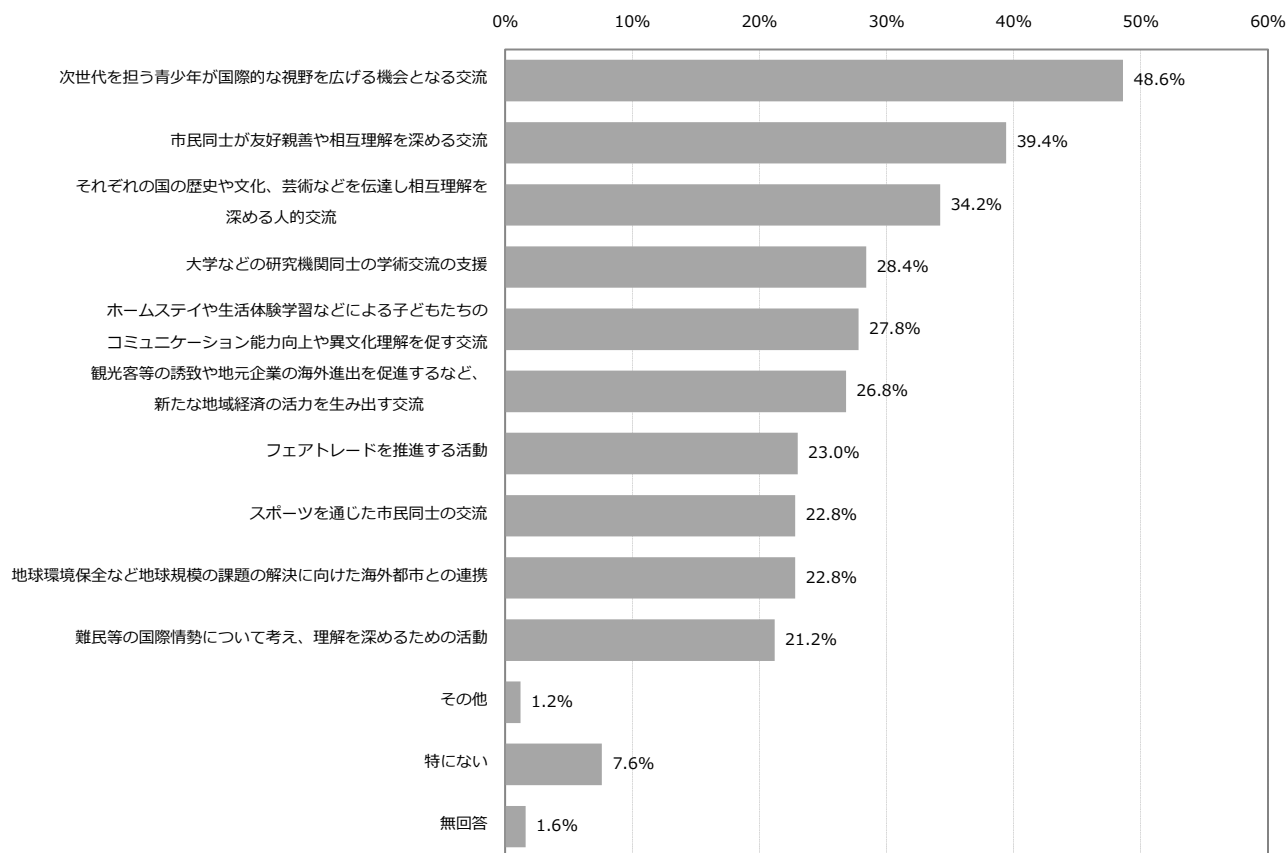
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	姉妹・友好都市 (ホートランド市、ミンハン市、瀋陽市、 ホシビロウ市、大田 (テジョン) 広域市)	180	36.0%
2	気候・風土が似ている北方の諸都市	157	31.4%
3	アジア諸国 (中国・韓国を除く)	147	29.4%
4	韓国	127	25.4%
5	ヨーロッパ諸国	99	19.8%
6	中国	90	18.0%
7	北米	66	13.2%
8	オセアニア諸国	48	9.6%
9	ロシアなどの旧ソ連諸国	21	4.2%
10	中近東諸国	16	3.2%
11	アフリカ諸国	14	2.8%
12	中南米諸国	11	2.2%
13	その他	13	2.6%
14	特にない	66	13.2%
	無回答	9	1.8%
	N (%への入)	500	100.0%



問 13 今後札幌市が行っていく必要がある国際協力の取組
 あなたは札幌市に今後、どのような国際交流や国際協力の取組を行っていく必要があると思いますか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・「次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」(48.6%)、「市民同士が友好親善や相互理解を深める交流」(39.4%)、「それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流」(34.2%)の順となっている。次世代への期待感、相互理解を深める交流を重視している様子がうかがえる。
- ・「その他」には、「友好関係の程度にとらわれない交流」といった回答があった。

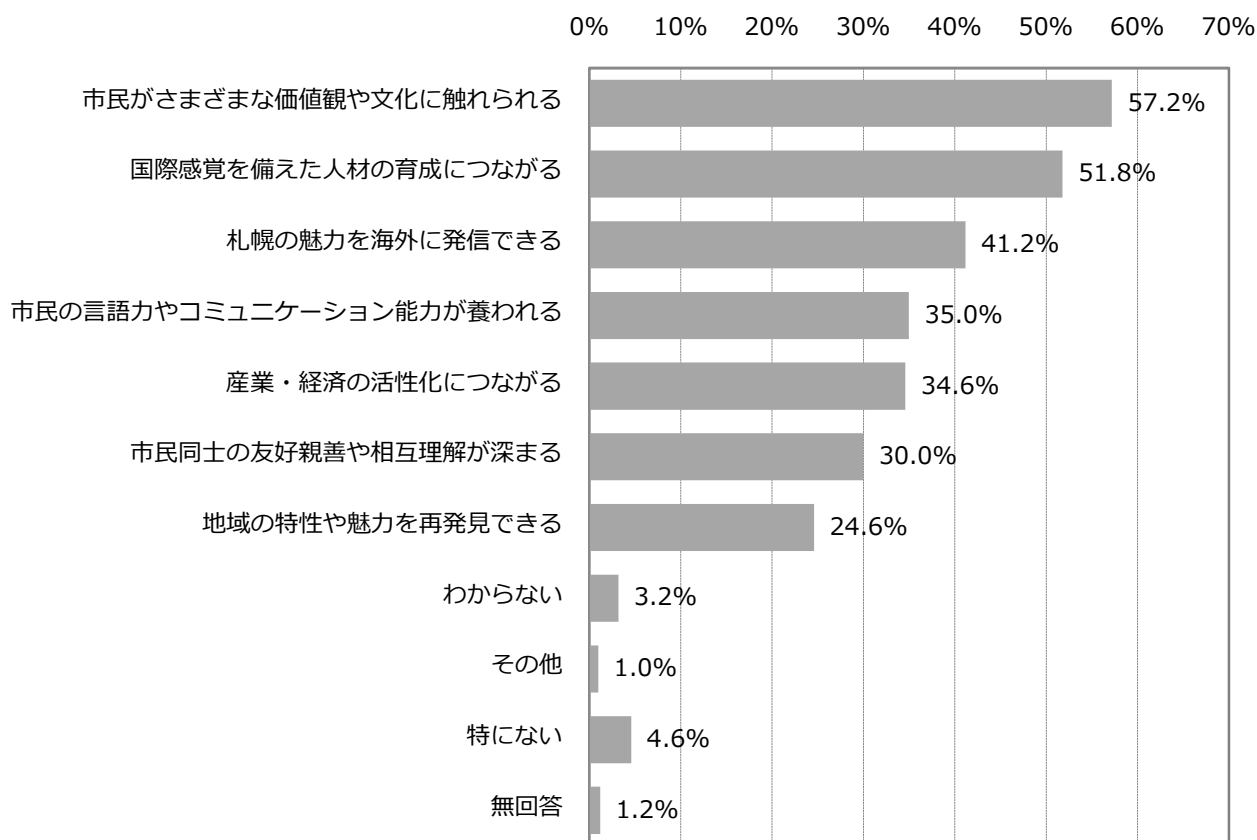
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流	243	48.6%
2	市民同士が友好親善や相互理解を深める交流	197	39.4%
3	それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流	171	34.2%
4	大学などの研究機関同士の学術交流の支援	142	28.4%
5	ホームステイや生活体験学習などによる子どもたちのコミュニケーション能力向上や異文化理解を促す交流	139	27.8%
6	観光客等の誘致や地元企業の海外進出を促進するなど、新たな地域経済の活力を生み出す交流	134	26.8%
7	フェアトレードを推進する活動	115	23.0%
8	スポーツを通じた市民同士の交流	114	22.8%
9	地球環境保全など地球規模の課題の解決に向けた海外都市との連携	114	22.8%
10	難民等の国際情勢について考え、理解を深めるための活動	106	21.2%
11	その他	6	1.2%
12	特になし	38	7.6%
	無回答	8	1.6%
	N (% [^] -)	500	100.0%



問 14 国際交流を行うことによる効果として期待すること
 国際交流を行うことによる効果として、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「市民がさまざまな価値観や文化に触れられる」(57.2%) が最も多く、以下「国際感覚を備えた人材の育成につながる」(51.8%)、「札幌の魅力を海外に発信できる」(41.2%)の順となっている。
- ・「その他」には、「国際平和」といった回答があった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市民がさまざまな価値観や文化に触れられる	286	57.2%
2	国際感覚を備えた人材の育成につながる	259	51.8%
3	札幌の魅力を海外に発信できる	206	41.2%
4	市民の言語力やコミュニケーション能力が養われる	175	35.0%
5	産業・経済の活性化につながる	173	34.6%
6	市民同士の友好親善や相互理解が深まる	150	30.0%
7	地域の特性や魅力を再発見できる	123	24.6%
8	わからない	16	3.2%
9	その他	5	1.0%
10	特にない	23	4.6%
	無回答	6	1.2%
	N (% \wedge -)	500	100.0%

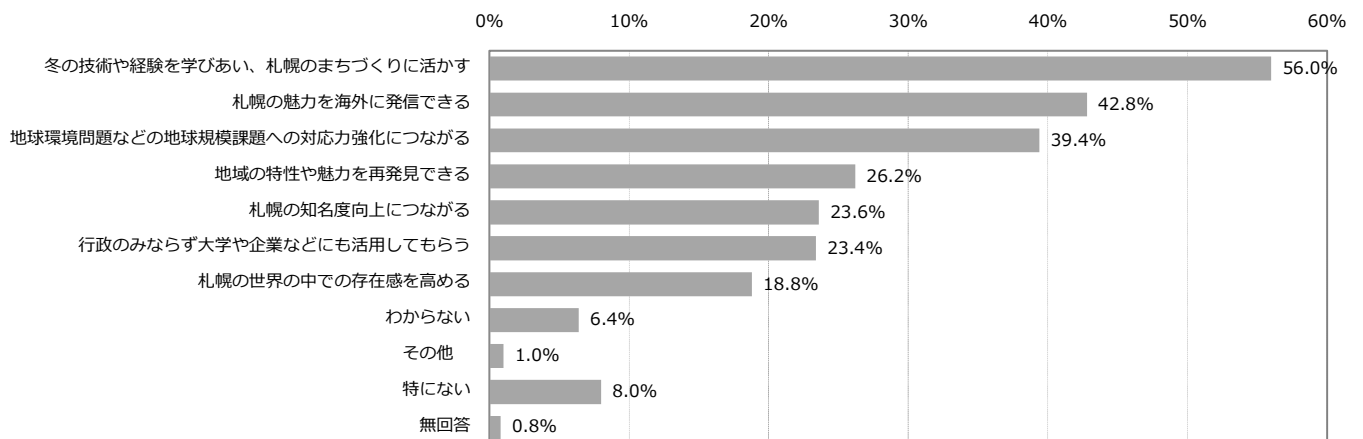


問 15 世界冬の都市市長会に期待すること

札幌市は世界冬の都市市長会（※）の事務局を担っています。あなたが世界冬の都市市長会に期待することは何ですか。あてはまるものにもいくつでも○をおつけください。

- ・「冬の技術や経験を学びあい、札幌のまちづくりに活かす」（56.0%）、「札幌の魅力を海外に発信できる」（42.8%）、「地球環境問題などの地球規模環境への対応力強化につながる」（39.4%）の順となっている。
- ・「その他」には「国際平和」、「除雪対策の徹底」といった回答があった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	冬の技術や経験を学びあい、札幌のまちづくりに活かす	280	56.0%
2	札幌の魅力を海外に発信できる	214	42.8%
3	地球環境問題などの地球規模課題への対応力強化につながる	197	39.4%
4	地域の特性や魅力を再発見できる	131	26.2%
5	札幌の知名度向上につながる	118	23.6%
6	行政のみならず大学や企業などにも活用してもらう	117	23.4%
7	札幌の世界の中での存在感を高める	94	18.8%
8	わからない	32	6.4%
9	その他	5	1.0%
10	特にない	40	8.0%
	無回答	4	0.8%
	N (% [^] -)	500	100.0%



問 16 国際交流・協力を進めるために札幌市にしてほしいこと（自由記載）

以上のほか、国際交流や国際協力を進めるために札幌市にしてほしいことは何だと思
いますか。（自由記載）

(1) 国際交流・協力に係る意見

①全般

- ・ イデオロギーを度外視した交際の促進。
- ・ コロナ終息後、イベントや、交流機会を増やしていくこと。
- ・ まず、札幌市が世界からどの様に見られているかを知ることが大切。そこから自分たちの役割を自覚し、行動できるようになるのではないか。まずは自分を知ること。
- ・ 飲食店も工夫が必要。
- ・ 過去、国際交流を目的とした団体を通して、組織として、個人として数ヶ国の人々と個人で家族ぐるみでの交流をしてきた。20~30年経った現在でも交流がある。交流を通して国によって文化、習慣が変わっても人として、心は同じなのだとして強く感じている。
- ・ 海外交流への補助。
- ・ 学生や研究者に資金面で心配する事なく、交流事業を続けてほしい。
- ・ 近日、札幌市と他の女子学生3名が核の無い世界の大会に派遣されるとTVで知ったが、ぜひ、続けてもらいたい事業である。
- ・ 国際交流、協力は、国レベルでもやっているのだから、無理せずに、札幌市の状況に見合ったことをする。
- ・ 国際交流に興味はあるが、なかなか情報に触れる機会がない。市の取り組み以外にも大学、企業、店などに発信して欲しいし、情報とそれを欲しい人をマッチする仕組みがあるといいと思う。
- ・ 札幌は世界に誇れる魅力的な都市だと思っています。しかし、まだコロナに対する不安もあり、国際化に協力したいと思っても躊躇われている方は多いのかと思います。もう少し様子を見て進めてほしい。自由記載のフォームが入力しづらいので、もう少し改善願いたい。
- ・ 札幌市民、一人一人が、おはよう、こんにちはから声かけの一步を。
- ・ 姉妹、友好都市への訪問団派遣。同上都市の文化、芸術活動の促進。締約国を増やす。
- ・ 外国人旅行者に対して、旅行案内所を充実する。宿泊所の紹介、観光の案内等。旅行者が使い易いものとする。

②国際交流関連施設

- ・ 国際交流プラザだけでなく、異文化交流カフェの様な場所を作ってほしい。また、そういった場所での子供達の交流の場を作ってほしい。
- ・ 札幌駅・新幹線駅・大通公園・中心市街地などに外国人観光客専用の観光案内所をつくる。
- ・ 札幌市だけでなく、道内179市町村と連携し、国際交流や国際協力の拠点となる施設・機関をつくる。

③世界冬の都市市長会

- ・ 世界冬の都市市長会をもっと札幌市民や道民にアピールしてほしい。`冬が資源であり財産である'というスローガンは素敵。札幌が中心となり北海道の冬の良さを日本だけでなく世界に伝えてもらいたい。
- ・ 冬の都市市長会のことなどアンケートで初めて知った。ミュンヘン市のような各イベ

ントがあれば別だが……。長く住んでいる市民には当たり前のことなのかもしれないが、個人的にはまったく知る機会がなかった。

④地球規模での環境・難民問題等

- ・ウクライナからの避難民を札幌市がもっと積極的に受け入れる体制を作ればよいの
にと思う。
- ・今のウクライナの状況に理解し、人々に寄り添ってほしい。
- ・ウクライナの困っている方々をサポートすることに力を入れてほしい。財政的に大変
なのはわかるが、今起きている悲劇の中にいる人たちを1人でも多く救済できるよ
うに移住などの手助けをしてあげてほしい。「冬期オリンピック」よりも今は人命の
ために国際協力した方がよいと思う。市のお金の使い方をそちらに向けてほしい。
- ・ロシアとの友好都市維持についてしっかり議論して結論を出すこと。今は1日でも早
く戦争を終わらせる。
- ・国際交流のむずかしい所は今始まった訳でもないのだが、非常に厳しい状況だと思
う。今のウクライナ問題、そしてプーチン大統領だって今後どの様に成るかわからな
い。国際協力を進めるにあたり、札幌市にして欲しい事は大きく分けて2点。1点目、
国際交流、国際協力、本当に厳しい事。日本が出来る事いろいろある中で今、一番し
なければならない事、それはウクライナ問題。2点目は戦争難民。これは他人事では
ありません。そして物価がどんどんこうとうする中、ガソリン、電気、ガス、そして
食料品の値上げ。本当につらい生活が待っている様な気がする。
- ・各国への交流や協力を進め明るい世界になってほしいと願っています。これからも平
和な国が多く出来るようお願い。
- ・近い国との親交を考えていただきたい。中国、ロシア、北朝鮮、韓国と仲良くしてほ
しい。今すぐにはできなくても、これから仲良くしていくための一歩を考えていただ
きたい。
- ・世界に多くいる難民と呼ばれる人々への救済。世界都市札幌として様々な人種や国の
人が集えるような札幌市になるとよい。

⑤国際交流イベント、学びの場等

- ・アンケートだけでなく、市民に学習の場を考えてはどうか。地域ごとの場所で、この
趣旨について説明会などがあると参加して勉強してみたい。
- ・これからインバウンドに少しずつ動きがでてくると思うが、これだけの冬の雪を財産
とし観光業のアピールをしていくのなら、もう少しイベントを上手に活用できない
ものかと思う。個人的にはホワイトイルミネーションのセンスが悪く、他の都市など
参考にしたことがあるのかと思うくらいダサイ。(スカスカだし映えない) あんな中
途半端なことするくらいなら電気のムダなのでやめて2月の雪まつりに予算を使っ
た方がいい。(外国の方は派手なライティングを好むので、わざわざあの時期に札幌
に来てあれ見ても……)
- ・ミュンヘンのクリスマス市のように姉妹、友好都市の文化、音楽、食を開放的な場所
で体験したい。
- ・海外在住の方達とのオンライン企画もよいと思う。
- ・各世代の文化交流の機会や相互文化理解のための住民参加型の企画や全ての世代を
交えた住民参加型の異文化交流や異文化理解を進める企画を催してほしい。
- ・去年の大雪では札幌のよいところ、冬の札幌を素敵だとは思ってもらえないし、おす
すめできないので今年はまだすこし除雪をがんばってもらってみんな(外国の方)に
も住みたい、すてきなところだ!!と思ってもらえるような札幌にしてほしい。コロ

ナ対策をしっかりともらって国際交流、お祭り、イベントなどが安心してできるようになればいいと思う。

- ・国際交流ができるイベント等を拡充。
- ・食文化等の交流。
- ・例えば問6（日本人市民と外国人市民が交流する機会）の設問にある様な活動や交流をしたとしてもほんの一部の方々のみであり、生活に根付いたりはしないと思う。私も駐在等で外国に数年おり、子育てもしましたが、必要なのは、こういった活動やイベントではなく、普段の生活に関するもので、特別扱いや特別な事を望んだりしたりしてもらったりする事ではないと思う。問5（日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために外国人市民に望むことや期待すること）の様な設問がある事が、国際交流が進まない原因なのではないか。期待するものではないと思う。私が助かったのは、英語教室など、子育てサロンが無料・有料ともにたくさんあり、そこに参加する事で自然と友達も増え、孤独になる事なく楽しく外国で生活できた事だった。

⑥多文化共生を担う人材の育成等

- ・アイヌの人達の文化や考え方（ものに神がそれぞれいる）など私達も学び、多くの人達と共存共栄の社会になるようお互いを知りたい。
- ・カンボジアで不慮の死をとげた中村先生の事業にも同等な事業の後継者となるような人材を育成する。
- ・このような問題は一部の関心のある人達だけで議論されがち。全体に浸透させる為には、義務教育から（遅くても）扱っていくことが大切。子供達の国際感覚を養う為に、さらに積極的に学習に取り組んでいくことが大切だと思う。
- ・コロナが蔓延する前、インドネシアのジャカルタで電車に乗った際、ハイスクールの学生らしい一団に「日本人ですか？」と話しかけられた。その子達は日本語を学んでいるらしく、日本語を話したくてたまらなかつた様だった。アニメがきっかけで日本語を学ぶ様になったこと、将来的に日本に留学したいということなど、いろいろな夢や希望を日本語と英語、インドネシア語を交えながら会話した。とても楽しい時間だった。さすが多民族国家のインドネシアだと思った。これが逆の立場で、札幌市の日本人市民が外国の方に話しかけることができるだろうか。まだまだ札幌は国際的ではないと思う。文化として、外国の方を受け入れることをもっと市として積極的に取り組むべきだと思う。私は全然札幌を国際都市だとは思っていない。
- ・英語の教育充実。
- ・英語教育。小中学校の英語の授業だけでは国際交流しようとなかなか思えない。
- ・札幌市として、子供達の英語教育に力を入れる。はっきりいって言葉が通じないと交流にはならないと思う。
- ・幼稚園児からの英会話の徹底。すべての子供達が母国語と英語を話せるように育てる。そうでないと国際交流は無理である。他の国の人達（特にヨーロッパ）は自国の言葉と英語は話せると思う。
- ・無料の英語教育。
- ・外国語、文化を学ぶ為の留学の支援。
- ・近年は若い人たちの海外留学も少なくなっているように思われる。若い人たちがどんどん世界に飛びたって行き色々なことを学んでほしいと思う。今回のアンケートは大変良いと思う。最近ではウクライナのこともあり、海外に行くのは少し心配ですが若い人に世界中に色々な事情、考え方などあるが、相手を知ることが学んでほしいと思う。
- ・交流の機会を子供達に、大げさなイベントではなく気軽に参加できる場面を多くつく

ってほしい。

- ・国際交流をしなければならない！ではなく、世界の人々・世界の文化を知りたいと思ってしまうような楽しい企画。インターネットはあくまでも疑似体験です。やはり実際にそれぞれの国に行って空気を感じることが一番。そのための無利子の費用貸付などがあると嬉しい。
- ・子どもや若い人が気軽に参加できるようなイベントの企画。音楽や芸術文化、若い人に人気のカルチャーでことばが通じなくても共感できるようなものがあれば参加もしやすいなと思います。SNSを活用したり沢山そういう機会があったら嬉しいです。
- ・子供が4人いるが、英語教育に莫大な金額をかけている。だが成果はイマイチ。公立教育でも放送は2ヶ国語や学校の行事でもっと海外の文化を知りたくなる様な交流を作って頂きたいと思う。特に理科、数学分野の英語は将来役立つので、そこを学べる機会が子供に無償で平等に与えられたら嬉しい。
- ・子供が北九条小学校に在学し、北海道大学が近くにある関係で、外国籍のお子さんが同級生に何人かいた。北九条小には日本語指導の先生もおり、外国籍のお子さんにとっても恵まれた環境があると思うが、周りの日本人の子供達も外国人のお友達を迎え入れることがよい経験となり、親同士も親しくつきあって、とても楽しい時間を過ごした。生活の中に自然と外国人とのつきあいがあるという事が札幌の中でもこの地区の魅力になっていると思う。
- ・市立高校、私立大学からの留学先をもっと増やすべき。
- ・若い人の交流を活発にしてほしい。
- ・青少年がグローバル社会に対応する語学力の育成。
- ・渡航や生活における学生への支援。また、国際交流に関心が高いが機会やきっかけのない層に向けたイベント企画。特に、共通言語にこだわらず、共通の趣味や専門性で繋がれると良いと思う。市民同士が交友関係で繋がったり、雑談からビジネスに繋がるような出会いの場ができたらうれしい。
- ・日本の伝統文化の素晴らしさを伝える人材の育成（日本の良さを若者に興味を持たせ、学び、世界に伝える人を育てる）。
- ・たとえば市立小中高校生が合唱をzoomで送信するなど、お金をかけないで取り組めることが良いと思う。また、交流のアイデアを子ども議会などで議論させても良いと思う。総合的な学習の時間の中で、学校ごとに議論させ、出た意見をもとに市議会で検討してみるのもいいと思う。

⑦その他

- ・丘珠空港の国際化、市役所の新築移転。
- ・国際交流、協力の意義は必要である。もっと拡大していく方向に進むべきだと思う。けれども、その前提として札幌市民にとって札幌市が住みよい街であることが優先されるべきだと思う。生活困窮者をなくし、子どもたち高齢者にとっても優しい温かい街であって欲しいと思う。
- ・大都市札幌の駅前でも街路樹下の雑草を見るといつもがっかりします。

(2) 多文化共生に係る意見

①外国人市民相談窓口

- ・そもそも札幌国際プラザがどこにあるのか、住所やアクセス先（ホームページ等）を記してほしい。今年状況からも、従来のいわゆる国際交流というよりも、ウク

ライナをはじめとする難民の受け入れにいかに対応していくのか、あるいはとにかくひどい扱いをされている実習生など、働き手になってもらう方々のサポート体制等々をしっかりと構築していくことの方が優先課題。全国的な問題ですが、札幌市がうまくやっているモデルケースになれるようであってほしい。

- ・案内人(英語、中国語、韓国語等多言語使用)の育成。
- ・外国から来て住んでいる人々が暮らしやすい様に、言語支援などへ市としてボランティア募集して欲しい。
- ・外国人居住者に対して特別なイベントは不要、通常の生活のサポートを行う。支援窓口で医療、子育て、住宅等々日常生活に必要な支援を充実させる。トラブル相談にも対応し、解決するための努力をする、場合によっては有料でも良い。

②行政情報の多言語発信、強化

- ・この様な取組を行っていることをもっともっと広報すべきだと思う。
- ・とにかく問3（外国人市民が困っていたり、不安に感じていると思うこと）にあるような多くの不安を解除してあげるような具体的予定を確実に実施していくこと。
- ・外国人市民からの要望の開示と、それに対する札幌市の考えの公開。
- ・言葉の壁の解消の1つの対応として翻訳機の整備を市町村まで整備する必要がある。災害時の外国人への対応に必要である。
- ・札幌市のイベントの各種魅力の発信を。
- ・札幌市民へ国際交流、協力の為にアプローチの基礎を構築すること、“素材”とそれを提供する“方法”素材はあるが伝える方法“文字、言語”が未だ稚拙で有ること。札幌市民はバイリンガルな市民に生まれ変わる事。それは、IT技術でもエデュケーション機関でも良いので是非市民へ提供して頂きたい。
- ・新型コロナの中で札幌へ引越したからかもしれないが、住んでから特に国際交流に取り組んでいる情報が街で自然と入ってくるような状態ではないので残念に思う。
- ・正しい外国語表記の案内板等を公共のあらゆる場所に多言語で表記する。アプリ等を使った音声翻訳での観光案内等を積極的に導入し、外国人に優しい町にする。
- ・双方向で利用できるサイトを立ち上げ、札幌市の経験や知見を伝えること。
- ・地震やコロナなどの災害があった場合、外国人の友人への援助は情報共有、精神的支援などを行ったが、行政からの英語による発信などが必要と感じた。

③行政窓口のコミュニケーション支援

- ・長い間外国人留学生受入業務に大学で携わっており、当初から札幌市に対して（特に区役所で）必要な手続き書類のバイリンガル化をお願いしてきたが、いまだに実現されていない。特に保険証は大切なものであるにもかかわらず、郵送で届いても日本語のみの表記であるため、何かわからないまま放置されたり、廃棄されたりしてしまうことがある。国際都市を目指すのであれば、10年以上もそのような状況であることを厳しく受け止めて、早急な対応をして頂きたい。

④くらしのサポート

- ・スポーツジムや、体育館などがあまり利用されていないのではないか。その様な人たちが気軽にスポーツを楽しめるようになってからオリンピックを開いても遅くない。
- ・たくさんの方が力を合わせて、もっと良い札幌市になることを期待している。
- ・もはや外国人を特別視する時代ではなく、札幌で過ごしやすい様子を努めてほしい。特別なことはしなくてよい。

- ・外国の方が安心して生活や就労のできる街づくり、体制づくり。
- ・外国人への仕事をもっとオープンにする。社会保障などを増やす。
- ・札幌市民にも外国人市民にも暮らしやすい街づくり。
- ・産婦人科で仕事をしているが、最近外国の方のお産も多く、産後フォロー育児などどのようにサポートされているのか心配になる。外国の方に限定される話ではないが、安心して子育てができる環境があると良いと思う。医療を受けるにも通訳など充実することが望ましいのではないか。
- ・少子高齢化や労働者の減少、科学技術の国際競争力の低下など、将来の日本という国の衰退は避けられない。この状況を改善するためには外国と、人的な移動・移住も含めて協力することが不可欠である。日本の主要都市の中でも、最も自由で先進的な文化を持つ札幌が、この国難を救う、先鞭として外国人が住みやすい、共存できる都市として成功して、その成功例を示す必要がある。札幌市、北海道にはそのポテンシャルがある。日本を救い、世界に札幌の存在を知らしめるためにもがんばってほしい。
- ・素早い対応で本心からここで暮らして良かったと思ってもらえるくらいサポートする。
- ・通常業務の範囲で外国人を含めた市民が住みやすい街になるよう務めてほしい。
- ・特定の希望はないが、外国からの人々の受け入れ体制（受け入れ易い環境の整備等）を充実する事が大事だと思う。外国から訪れる人に対し、国籍を問わず、人格を尊重し、悪しき事は正し（言うべきことは言い）、安心して過ごせるという印象を与える為の施策を展開してほしいと思う。
- ・普通に日常生活を送ることができる環境づくりに努めてほしい。

⑤日本語学習、生活ルール理解促進

- ・アジア系の外国人はあまりルールを守らないイメージが強い。しっかり守った上で過ごしてほしいので伝えてほしい。
- ・きちんと税金（市民税や所得税）を納めさせるべき。手厚い市からの給付金はもらうのに、収入をごまかして、あるいはウソの扶養申請で税を正しく収めてない不法外国人が多い。外国人に手厚くするのはいいが、きちんとルールを守らせてほしい。
- ・ゴミ出しなどのルールを守ることをきちんと教えてほしい。ゴミ集積所に決められた曜日に外国から来た方が出さない。曜日は知っていても、収集の時間に間に合うように出さない。英語で伝えても改善されない。日本で生活する上でのルールを守らないと後から来る人がいいイメージを持たれない。外国人が住むにあたり、札幌市がパンフレットやDVDを配布するなどしてきちんと教えるべき。
- ・わがままを聞かない。
- ・外国人を甘やかすのではなく、ダメなものはダメと明確に表示出来る仕組みを造らないといけない。
- ・最小限の日本語は話せる様にする（英語は不可）。

⑥医療関連支援

- ・医療従事者視点ですと、外国の方の受診は言葉の壁でお断りするケースも少なくない。全ての医療機関が通訳を置いているわけではない。安心して治療できる環境が必要かと思う。

⑦地域コミュニティにおける交流促進

- ・ 四年前の胆振東部地震の際、避難所に指定されている北九条小体育館に行った折、あまりにもたくさんの方々が居て驚いたのを覚えている。高齢世帯で海外へ行ったこともなく、語学もまったく出来ない者にとっては異文化交流することはハードルが高いが、先ず会話がなくても成立する街の美化活動のような機会を役所の皆さんが企画してもらえれば参加したいと思う。
- ・ じゃがいも堀りなど北海道ならではの企画を、外国の人と一緒に楽しみたい。とてもいい思い出になると思う。
- ・ 私共の町内会でも奉仕に出る人は2～3人です。先ずは率先垂範で役所の方も参加して、日本人の子供、大人そして外国人の皆さんにも呼び掛けてみたらいいと思います。若い頃に勤務していた千葉県八千代市では5月30日(ゴミゼロデー)に向けて川の付近を清掃していました。今、広報でもPRしている町内会問題も一緒に良い方向に進むかもしれません。
- ・ ヨーロッパでは、日本人よりもっと多く旅行する人が多いが、日本に来て札幌まで来られる人は多くはない。ニセコに集中しているよう・・・。外国人が札幌に遊びに来たい、住みたいと思えるような魅力作りをしてほしい。外国人からのさまざまな環境にいる人たちからの声を聞いてそれを実際に反映させてほしい。

⑧外国人市民への日本語学習支援、子どもの教育支援等

- ・ 市立の小、中学校に在籍の外国人の子どもに対する教育支援（日本語の習得など・・・）

⑨交流イベント等を通じた異文化理解、多文化共生意識の醸成

- ・ オータムフェストなどの食のブースを1丁分外国人のみのブースにする。道内の市町村ブースがあるように、各国のブースを作っても面白い。クリスマスファンタジーで、マトリョーシカやリースのブース・スタッフは全員ロシア人がであったように、各国ブースのスタッフは、当該国の方だけが担当する条件を付ける。新しいグローバルフェストなどを立ち上げてほしいと思う。
- ・ フードコート造りで各国の「専門店料理」を選んで食べる事が出来る場所があると嬉しい。自動販売機も「各国（こだわり）のコーヒー自販機」「各国のおススメお菓子」等。
- ・ 芸術、スポーツ、オペラ、バレエ等、共通項があるものが好ましい。日本古来の能、歌舞伎などは外国人にはハードルが高く入りにくいと思う。
- ・ 高齢になり、マンション生活をする様になり、隣人との交流も少なく、町内にどの様な国の人がどの位住んでいるのかも不明で、以前住んでいた町内会でも外国人に関しては一切知らされていなかった。道ですれちがっても声かけをすることは中々出来ない。身近な町内会又は市が主催する地区での交流会など開いては如何だろうか。
- ・ 実績作りのためだけの国際交流イベントを企画・運営するのではなく、実際に札幌市に住んでいる外国人市民の意見を吸い上げて、真に効果のある施策を打ち出していただきたい。応援している。
- ・ 総体的に札幌は「安心安全」で住みやすい街だと感じています。国際交流を進める方法の一つとして、たとえば「よさこいソーラン祭り」等に気軽に外国人グループが出場出来るようになれば、より良い交流になるような気がする。

⑩その他

- ・このアンケートかなりコストがかかっているはず。もっとコストがかからない方法をとって欲しかったと思う。そもそも、アンケートが必要なのか？アンケートの設問にすべて答えというか、取り組むべき内容が盛り込まれているような。
- ・コロナで外国人が減り、温泉などやっとな旅行ができている。自分にとって外国人が増える事はデメリットしかないので、あまり増やさないでほしい。
- ・まずは札幌市民が幸せになることで、興味を持ってもらえたり、住みたいなって思ってもらえたりすると思う。
- ・もっと近隣の市町村と連携を密にして欲しい。北海道には魅力があるが札幌市単独でどれだけ魅力があるでしょう？人的にも財政的にも又歴史的にも北海道札幌一体型で計画的に進めるべきと思う。
- ・外国人市民が増えることがより良くなることがあると思えない。むしろ増えてほしいと思っていない。
- ・行き来できるリアルな交通手段の増加を望む。新千歳空港や丘珠発着の国際便の増便はこの企画を盛り上げるために必要だと思う。
- ・国際交流、留学で北海道（日本）に住むのはいいがニセコ、倶知安のように、中国や欧米、ヨーロッパの人が増えて、土地を買ったりすると日本の領土がだんだん外国人に取られていくようで、地元の方や日本人がだんだん追いやられていくようになると嫌だなと思う。少しずつ侵略されていくようで、本当は、あまり外国の方には来てほしくない。
- ・今、問題になっている入国管理法が全ての日本に住む外国人にとって良い方向に変わるために国に働きかけてほしい。
- ・新千歳空港等道内空港への国際定期便、チャーター便の誘致を率先して行い、より多くのインバウンド需要を札幌にもたらして欲しい。
- ・身近に外国人の方がいないので関わることもなく、ピンとこない質問が多かったが、札幌市（北海道）で（さまざまな国からの）外国人がもっと増えることは賛成。
- ・旅行にくるのはいいが、住んでほしくない。外国の人が増えると、今はいいが、そのうち植民地化されていくと思う。

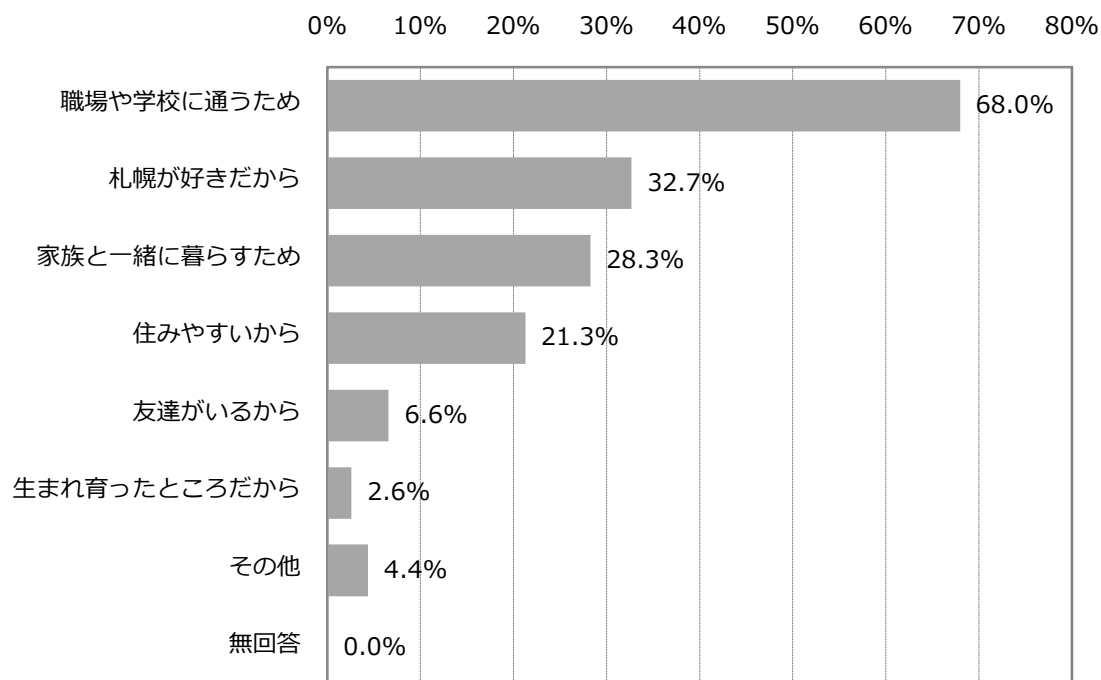
(2) 外国人市民向けアンケート結果

【コミュニケーション・生活支援】

問1 札幌市に住んでいる理由
 あなたはどうして札幌(さっぽろ)に住(す)んでいますか。あてはまるものにもいくつでも○をおつけください。

- ・「職場や学校に通うため」(68.0%) が最も多く、「札幌が好きだから」(32.7%)、「家族と一緒に暮らすため」(28.7%) が次いでいる。
- ・「その他」では札幌市の気象条件、家族の都合等を挙げる回答があった。

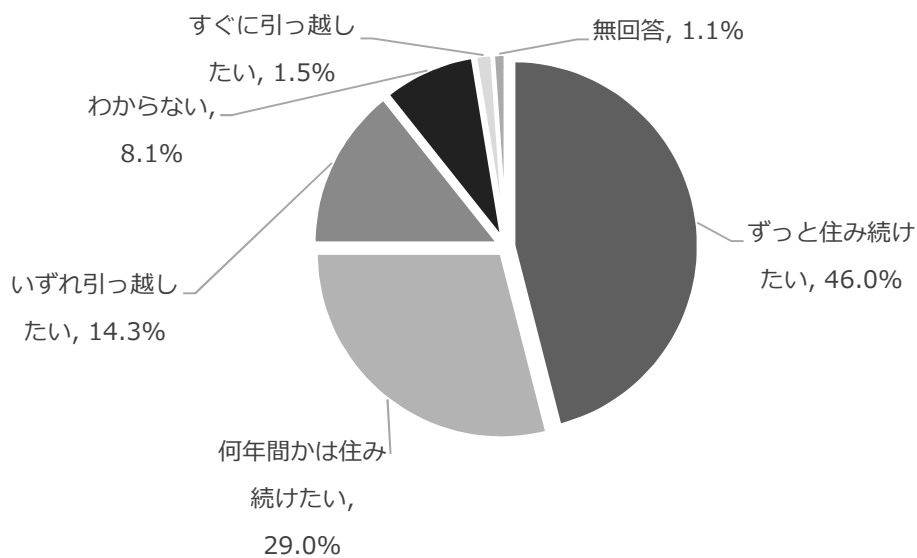
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	職場や学校に通うため	185	68.0%
2	札幌が好きだから	89	32.7%
3	家族と一緒に暮らすため	77	28.3%
4	住みやすいから	58	21.3%
5	友達がいるから	18	6.6%
6	生まれ育ったところだから	7	2.6%
7	その他	12	4.4%
	無回答	0	0.0%
	N (% [^] -)	272	100.0%



問2 札幌市に住み続けたいと思うか
 札幌市(さっぽろし)に住(す)み続(つづ)けたいと思(おも)いますか。あてはまるものに
 1つだけ○をおつけください。

・「ずっと住み続けたい」(46.2%)が最も多く、以下「何年間かは住み続けたい」(29.3%)、
 「いずれ引っ越したい」(13.5%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ずっと住み続けたい	125	46.0%
2	何年間かは住み続けたい	79	29.0%
3	いずれ引っ越したい	39	14.3%
4	わからない	22	8.1%
5	すぐに引っ越したい	4	1.5%
	無回答	3	1.1%
	N (% [^] -)	272	100.0%



問3 問2の回答の理由

問(とい)2で回答(かいつ)した理由(りゆう)を教(おし)えてください。(自由(じゆう)記載(きさい))

①問2で「ずっと住み続けたい」と回答

- 1) 札幌が気に入っている、住みやすい
 - ・30年札幌で生活している。素晴らしい島の素晴らしい都市だと思う。
 - ・この町が好き。
 - ・家がある。
 - ・家族がおり、第二の故郷だと思っている。
 - ・学校を卒業した後も、札幌で就職したい。
 - ・気候が気持ちいい。季節がはっきりしている。雪のシーズンが長くて、スキーに向いている。風景がきれいで、旅行の町である。
 - ・京都市で生まれ育ち、札幌に住み始めて34年になる。配偶者は札幌出身で、子供も札幌の大学に通っていた。札幌市の市政が良い。
 - ・故郷と気候が似ていて、魅力的なまちだと思う。
 - ・今は、この街の人々はとてもフレンドリーで、生活環境はとても良いと感じています。
 - ・昨年定年退職をして、大自然に囲まれた生活をしたくて札幌に移住した。
 - ・札幌がとても暮らしやすいから。
 - ・札幌での生活を楽しくしており、地域コミュニティで困っている人を助けたい。
 - ・札幌で家を買って、家族と住みたい。
 - ・札幌で生まれ育った。
 - ・札幌で長く働いて、介護士の国家試験を受験したい。
 - ・札幌ならではの魅力があるから。
 - ・札幌に20年暮らしており、第二の故郷である。
 - ・札幌に腰を落ち着けて、生涯暮らしたいという夢がある。
 - ・札幌に住み始めて40周年を迎えたところで、もはや故郷といってもよい。大学は必要としてくれているし、家にはきれいな庭もあるし、和紙にインクで絵を描く趣味もある。
 - ・札幌に住み続けたいと思っている。学業を終えたら札幌で医療関係の研究職に就きたい。
 - ・札幌に来る前は他府県に住んでいた。今は札幌がベストだと思っている。
 - ・札幌の人は友好的で、外から来た人を温かく迎え入れる気質が比較的高い。北海道の風景はきれいで、有名な観光スポットも多く、生活のリズムもゆったりしており、土地も広い。今後も札幌で働く予定。もう既に家を購入した。
 - ・札幌の風土、人情、生活のリズムが気に入っている。
 - ・札幌は自然に近い環境で、住み続けたいと思っている。配偶者と子ども達は札幌で生活している。
 - ・札幌は住みやすいまちだと思う。
 - ・札幌は住みやすく、母国に帰る予定もなく、このまま暮らし続けたい。
 - ・札幌は東京や大阪みたいな混み合っている感じはない。また、自然風景が豊かである。
 - ・札幌は美しいまちで、暮らしやすさ、自然環境、便利さ、外国人へのサポートのバランスが良い。
 - ・札幌も日本も好きで、永住権取得を検討している。

- ・札幌を気に入っているし、生涯の大変を日本で暮らしたいと考えている。
- ・治安が良く、故郷と環境が似ている。
- ・自然豊かで綺麗な街なのでとても住みやすい。
- ・手放したくない仕事があるから。
- ・住みやすいところなので出来ればしばらく住み続けたいと思っている。
- ・住みやすく、規模感もちょうど良い。
- ・将来のことは特に決めていない。離れる原因が起きない限り札幌で楽しく暮らしたい。
- ・食事や気候が良い。湿気が少ない。
- ・生まれ育ったまちだから。
- ・生涯雇用されており、札幌も北海道も好き。
- ・生活、医療が便利。
- ・生活が快適で、暑くないのも良い。
- ・生活しやすいし、人も優しい。札幌で仕事と生活を続けていきたいと考えている。
- ・生活しやすいし、文化も気に入っている。
- ・中身は日本人。法律上の外国人です。日本に骨を埋めるつもりです。
- ・冬は寒い夏は過ごしやすい。
- ・東京より人が優しいと思う。夏の郊外は完璧といつていいくらい過ごしやすい。
- ・特に離れる理由がない。
- ・日本が好きだから。
- ・日本で一番住みやすいと思う。
- ・日本人はとても親切です。冬は寒いですが、慣れると残りの気候はとても快適です。北海道は地震が少なく、暮らしやすい。
- ・配偶者が札幌で仕事をしており、ここでの生活が気に入っている。子ども達も喜んで学校へ通っている。
- ・風景がきれい、人が優しい、人が多すぎない、温泉がたくさんある。
- ・風景が綺麗。生活スペースがのんびりしている。一番重要なのは家賃が安いこと。
- ・文化施設が揃っている。
- ・暮らしやすいし仕事もある。食べ物も気候も人もとても良い。
- ・北海道が好きだから。
- ・北海道が好きで札幌は道内最大の都市。自然豊かで道内他地域へのアクセスも良い。おいしい食べ物もたくさんある。
- ・友達も犬も家族も札幌にいる。仕事もある。
- ・涼しい気候、優しい人々。

2) 家族の都合

- ・パートナーとパートナー証明書をもらえるから。札幌から離れると、もらえなくなる。
- ・家族がいる。
- ・家族が札幌に住んでいるので、家族と一緒に暮らしたいから。
- ・家族が札幌に住んでおり、生活も快適である。
- ・家族で仕事をしているのは私だけで、フィリピンの家族に送金するためにより多く働かなくてはならない。特に最近はフィリピン経済は不調で、日本で稼いで送金するほうがよい。
- ・妻が札幌に住んでいる。(同意見2名)
- ・妻は英語を話せない。

- ・妻は日本人で、北海道大学で仕事をめたので引っ越してきた。
- ・札幌で仕事をしているし、婚約者が札幌の出身。
- ・仕事があり、子育てもしている。
- ・子どもが小さく、自営業を営んでおり、家族も一緒に暮らしている。
- ・住みやすいし、札幌の人と結婚したので。
- ・日本での生活は長い。2011～2020年は千葉に住んでいた。以降は家族と共に札幌で暮らしている。
- ・配偶者が札幌出身で、札幌で子育てをすることに決めた。
- ・配偶者が日本人で家族も札幌に住んでいる。
- ・配偶者と一緒に暮らしたい。
- ・配偶者の実家が札幌にある。

3) 仕事の都合

- ・安定した仕事があり、家族も札幌で暮らしている。
- ・札幌の研究環境が気に入っている。
- ・仕事をしており、定年まで居たい。
- ・生涯雇用であるから。
- ・定年退職が近づいており、引っ越す予定はない。
- ・母国で暮らす家族を助けるために稼がなくてはならない。
- ・転職したくないから。
- ・札幌で仕事をしている。(同意見4名)

4) 条件によっては長く暮らしたい

- ・日本語や英語で話ができるオープンな職場環境があれば暮らし続けたい。

5) その他

- ・ニュージーランドに戻って新しい人生を過ごすには歳を取りすぎた。
- ・引っ越すには歳を取り過ぎた。
- ・今の生活に特に不自由を感じていないから。

②問2で「何年間かは住み続けたい」と回答

1) 札幌が気に入っている、住みやすい

- ・あと数年は札幌で仕事を続けたい。
- ・まだ決めていないが、札幌は住みやすいし良い町だと思う。
- ・街は清潔で美しく、人々は社交的で、嫌な事はほとんどない。
- ・空気もよくて環境が良く、子供向けの遊び場がたくさんある。
- ・今の生活に満足しているから。
- ・札幌での生活は気に入っている。人口が過密しているわけではなく、交通機関も便利だし、食べ物もおいしいし、人は優しい。
- ・札幌で生活したり仕事をしたりするのが楽しい。安全で清潔で便利なまちだと思う。
- ・札幌に住み始めたばかりで、住み続けるかどうかもわからないが、居心地がよいことにも出会っている。
- ・札幌に来たばかりで、まだよくわからない。
- ・札幌の自然やスローライフがとても気に入っているが、東京のバレエ、コンサート等のイベントも恋しい。

- ・札幌の生活に慣れたから。
- ・札幌の生活様式、便利さ、気候、安全な日々を楽しんでいる。
- ・札幌は素敵なまちだと思う。
- ・札幌は便利で外国人にも住みやすい。札幌で仕事をしながら暮らしたい。
- ・札幌は綺麗で自然環境も豊かである。
- ・自分に合っていると思えば、引き続き札幌に残る。
- ・人はオープンで気候も気に入っている。
- ・数年は住み続けたい。
- ・数年働いてから考える。
- ・大自然が良い。夏場など、お祭りが多いのも良い。
- ・大都市だが、東京ほど規模が大きくなく、通勤時間などの時間が短い。リズムが緩く、生活のクオリティが高いと思う。
- ・大都市でありながら自然豊かで山や海にも近い。大変住みやすい街ではあるが、いずれは農業で生計を立てたいと考えており、田舎に移住する予定。
- ・都市機能と自然豊かな環境の調和が気に入っている。
- ・冬以外はとても住みやすい環境で、生活に不自由なところがない。
- ・東京より、のんびりで、物価も安いような気がする。
- ・当面北海道、札幌で仕事をする。
- ・日本に来たばかり。
- ・日本の生活と文化が好きで、数年間は日本で働き、勉強したい。
- ・日本の文化を深く体験したい。
- ・梅雨がなく、出身地の気候と似ているため。
- ・北海道の色々な場所で生活してみたい。
- ・北海道の静かな環境とゆったりできる生活スタイルが好き。
- ・良いお仕事が見つかるまで住み続けます。

2) 仕事の都合

- ・ずっと生活していきたいが、仕事を見つけるのは難しい。東京や大都市と比べて外国人にやさしい町ではない。
- ・現在研究職に就いており、札幌での滞在期間は仕事で長期の契約を得られるかどうかによる。
- ・仕事が期間雇用なので、期間が終われば離れると思う。
- ・仕事の都合で札幌に転居したので、今後のことは仕事次第。ただし、札幌で家を買ったので、少なくとも何年かは暮らすと思う。
- ・定年までは住み続けたい。定年後も札幌で暮らすか、帰国するかはまだ決めていない。
- ・特定技能の在留資格で5年までしか居られない。

3) 学校の都合

- ・まもなく学業を終えるので、札幌での生活は長くてもあと数年になる。
- ・学業を継続する予定。このため3年か3年半は札幌に住み続けると思う。
- ・学業を終えるまでは札幌で暮らす（同意見5名）。
- ・将来については柔軟に考えている。仕事や家族のことなどにより住む場所は変わるかもしれない。
- ・大学のためにまだ2~3年は札幌で暮らす予定。
- ・大学院に2年半通うためだけに住んでいる。

- ・大学卒業までは札幌にいる。卒業後は、仕事によっては引っ越すことになる。
- ・通学
- ・博士課程を修了次第、帰国する予定。
- ・博士号取得のために札幌に来ている。来年札幌を離れる予定だが、また訪れる機会もあると思う。
- ・北海道大学での学業を終えたら帰国すると思う。

4) 未定だが引っ越す可能性大

- ・いずれ引っ越して、新しい体験をしてみたいから。
- ・今のところ問題なく暮らせているが、最終的には母国へ帰ると思う。
- ・最終的には母国に帰る予定。
- ・札幌がとても好きだが、冬の天気慣れるかどうかは自信がない。
- ・除雪が大変。
- ・卒業後に考えたい。
- ・他の都府県の生活様式も経験してみたい
- ・頻りに引っ越すのが面倒で、札幌に慣れてしまった。札幌は町の雰囲気がとても住みやすい感じがする。ただし、冬は本当に寒くて、暖房代もとても高い…それらの理由で引っ越ししたくなる。

③問2で「いずれ引っ越したい」と回答

1) 暮らしにくさ

- ・9ヶ月の子どもがいるが、私の日本語のスキルが貧弱で、多くの場面で手伝えることができない。例えば、子どもの医師や先生と話をする時、いつも配偶者（日本人）が対応しなければならない。
- ・なんとなく人が冷たいと感じている。自分の居場所が見つけられない。
- ・ライブなどの好きなコンテンツのイベントはほぼ札幌に開催しないため。
- ・家族に小さな子供がおり、札幌の冬は寒くて雪が多く、赤ちゃんが寒さに耐えられないのではないかと心配している。一日中暖房をする必要があり、他の地域と比べて電気代が2倍もかかる。
- ・寒い。北海道は電気代、水道代、ガス代が他地域に比べて高く、現在の収入で家族を養っているとは思えない。
- ・現在50歳だが、年老いたら札幌の寒さに耐えられないと思う。
- ・昨年のように雪が多いと、いずれ引っ越したいと思う。
- ・札幌は気候がかなり寒く、友達があまりいない。幼い子供がおり、まずは札幌でコミュニケーション環境を整えたい。一方、札幌の生活費は、私がこれまで住んでいた日本の他の地域に比べてかなり高い。
- ・住みづらく、気候にも馴染めず、給料が低い。色々な理由がある。
- ・人口規模では札幌は大都会だが、都会らしいワクワク感はなく、楽しさもなく、何の魅力も感じられない。雪まつりやよさこいなどを無くして静かな街にしたい。
- ・町の緑化は物足りない感じがする。地下鉄は料金が高い。近郊で遊ぶには車がないととても不便。また、冬が長すぎて雪も多すぎる。一方、札幌市内の文化活動は割と気に入っている。
- ・冬が長すぎる。
- ・冬に札幌で暮らすのは大変で、他地域と比較して光熱費も高いと思う。
- ・冬の雪が大変、年を取ったら他の都市でも住んでみようと考えている。

- ・病院が少ない。雪道が大変。
- ・面白い人が多い。
- ・5年住んでいて、米国の家族や友達が恋しい。しかし、私の故郷であるカリフォルニア州は生活コストが高く、札幌での生活で節約できている。米国に帰国後は看護師になりたいと考えている。

2) 仕事や学校の状況による

- ・JICAの支援を受けている関係で、卒業後は帰国することを求められている。
- ・学業を終えたら帰国したい。
- ・今後3ヶ月以内に仕事を見つけられなければ転居を考える。
- ・札幌は住みやすいが、ワークライフバランスがあまり良くないため、最終的には母国へ帰りたいたいと考えている。
- ・奨学金がなくなったら、タイへ帰らなくてはならない。
- ・他のところで働くかもしれないから。
- ・東京で就職するか、帰国したい。
- ・博士号取得に向けて勉強している。学位取得後は母国に帰る予定である。
- ・北大での学業次第。

3) その他

- ・いずれは東京に引っ越して働きたい。
- ・札幌の生活は快適だが、別のまちでも暮らしてみたい。
- ・他のところにも住んでみたいから。

④問2で「すぐに引っ越したい」と回答

1) 暮らしにくさ

- ・友達がいらない、日本人の同僚と話ができない。とても悲しい。
- ・雪が多すぎる。

2) 仕事や学校の都合

- ・客員研究員として3ヶ月滞在している。
- ・卒業後は帰国する予定である。

⑤問2で「わからない」と回答

1) 住みづらさ

- ・札幌で暮らすのは辛くはないが、地元の人との関係を作ったり、住み続ける理由を見つけるのは難しい。
- ・高齢になってからの冬道での転倒・怪我が不安。

2) 仕事や学校の都合による

- ・札幌で就職したり、進学することになれば、住み続けることになると思う。
- ・大学卒業後の就職先による。
- ・札幌での生活は気に入っているが、住み続けるかどうかは仕事等の状況による。
- ・配偶者が仕事をしているので札幌に居る。配偶者の契約が終了すれば、日本の他地域か外国へ引っ越すと思う。
- ・まだ決めていない。面白い仕事が見つかって、就業できるようなら滞在を延ばすかもしれない。

- ・仕事の状況次第。
- ・仕事や子供の教育の状況を見て決める。

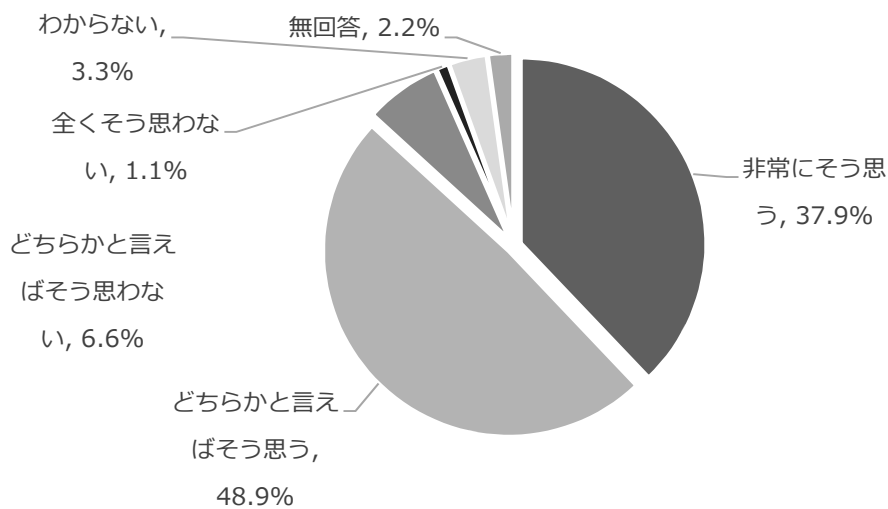
3) その他

- ・住み始めたばかりなので、まだわからない（同種意見3名）。
- ・このまま住みたい気持ちもあるし、母国に帰りたいという気持ちもある。まだわからない。
- ・将来のことはわからない。
- ・日本に長期滞在したいと思っている。北海道は、広大な面積と美しい自然、そして親切でフレンドリーな人々に恵まれた場所です。配偶者が北海道で仕事を見つけることができれば、長く生活することになると思う。希望に合う仕事が見つからない場合は、転居も考える可能性がある。
- ・親が国内にいるから。

問4 札幌市は暮らしやすいと思うか
 札幌市(さっぽろし)は、国籍(こくせき)などに関係(かんけい)なく暮(く)らしやすいまちだと思(おも)いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

・「非常にそう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計は86.4%となっており、概ね好意的に受け止められている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	非常にそう思う	103	37.9%
2	どちらかと言えばそう思う	133	48.9%
3	どちらかと言えばそう思わない	18	6.6%
4	全くそう思わない	3	1.1%
5	わからない	9	3.3%
	無回答	6	2.2%
	N (%ベース)	272	100.0%

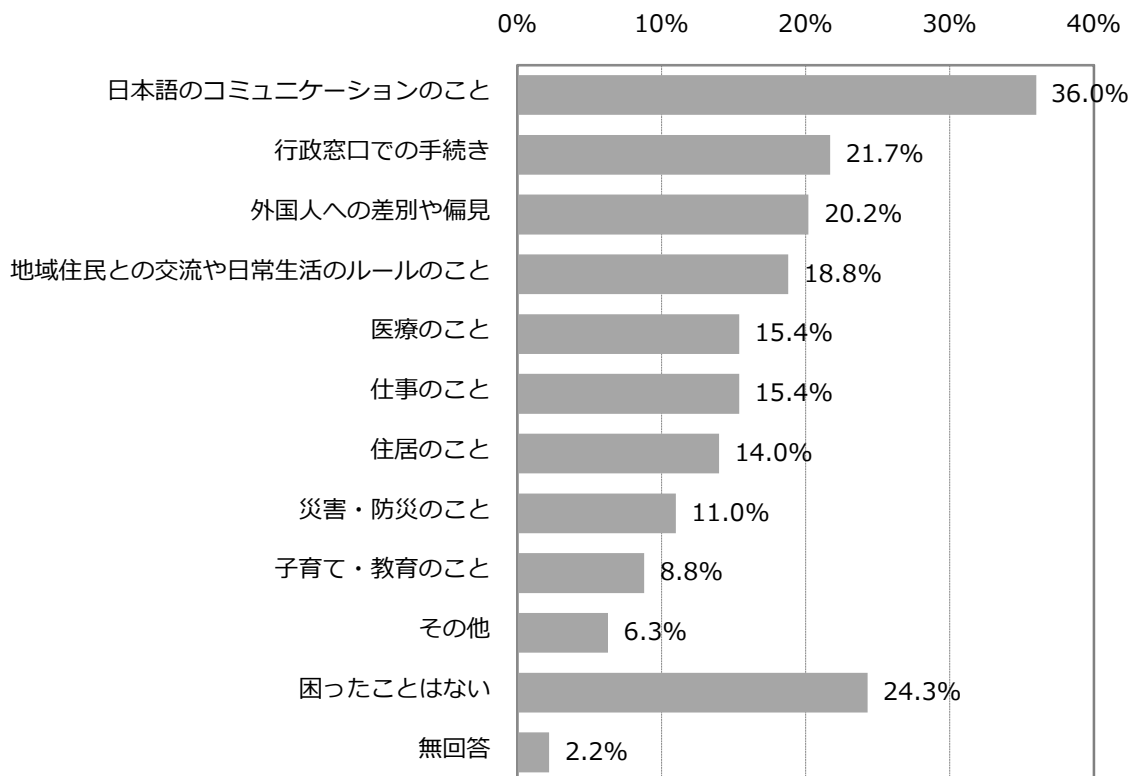


問5 日本や札幌での生活で困っていること、心配なこと

日本(にほん)や札幌(さっぽろ)での生活(せいかつ)で困(こま)っていること、心配(しんぱい)なことは何(なん)ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「日本語のコミュニケーションのこと」が36.0%で最も多く、以下「行政窓口での手続き」(21.7%)、「外国人への差別や偏見」(20.2%)が次いでいる。
- ・「困ったことはない」とする回答は24.3%となっている。
- ・「その他」には、交通、医療、気象条件等に対する不満の声があった。

	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本語のコミュニケーションのこと	98	36.0%
2	行政窓口での手続き	59	21.7%
3	外国人への差別や偏見	55	20.2%
4	地域住民との交流や日常生活のルールのこと	51	18.8%
5	医療のこと	42	15.4%
6	仕事のこと	42	15.4%
7	住居のこと	38	14.0%
8	災害・防災のこと	30	11.0%
9	子育て・教育のこと	24	8.8%
10	その他	17	6.3%
11	困ったことはない	66	24.3%
	無回答	6	2.2%
	N (% \wedge -)	272	100.0%



問6 問5で回答した困っていること、心配なことの詳細
(とい)5の答(こた)えで、あなたが困(こま)っていること、心配(しんぱい)なことを詳
(くわ)しく教(おし)えてください

④日本語のコミュニケーションのこと

- ・ いざというときに、日本語でうまく説明できないのが心配。
- ・ コミュニケーションが課題。特に、銀行やその他の役所に行かなければならない時、翻訳アプリを使用する必要がある。私の問題はすべて、日本語を話せないことが原因であり、この課題を自分で解決しなければならない。
- ・ コミュニケーションの問題がある。新参者はアパートを探すのも、病院へ行くのも、幼稚園を探すのも大変である。
- ・ コンピューターサイエンスの教授としての仕事をしながら日本語を学ぶのは難しい。
- ・ まだ日本語が良くわからず思っていることが伝わらなかつたり別の人の思いがわからないことがある。
- ・ 英語の書類がないため、日本語を話せる知人がいなくなつたり、日本語が分からなかつたりすると大変なことになる。
- ・ 漢字が難しい。
- ・ 漢字が難しくて読み書きができない。行政職員の日本語が専門用語が多くて理解できない。
- ・ 漢字の知識がなければ、役所や医療関連の事務処理を理解するのが非常に困難。
- ・ 基礎レベルの日本語を学ぶ必要がある。
- ・ 銀行開設、書類提出、学校への申込は、日本語があまりわからないので大変。通訳なしで運転免許を取得するのは不可能。妊娠中にいくつかの診療所で受診を拒否されたことがある。
- ・ 敬語が多くなると、相手の意味がますます分からなくなる。
- ・ 敬語が難しい。
- ・ 言葉の壁
- ・ 言葉の問題
- ・ 語学を活かせる仕事に就く事が難しい。
- ・ 行政機関や病院で、相手の話が理解できないときがある。自分が言いたいことをうまく伝えない。
- ・ 今は日本語がまだ上手にできないので、うまく仕事を見つけてこのきれいな町で生活できるかどうかはまだわからない。
- ・ 困りごとの大半は、私が日本語を十分に話せないという、個人的なことが原因になっている。
- ・ 札幌の人はとても和気藹々としているので、苦労したことはありません。
- ・ 札幌入国管理局には英語のサポートがない。在留カードの書類一覧を求めても、日本語しかない。
- ・ 仕事に関して、外国人も募集している企業はコミュニケーション能力や漢字の読み方などの要求水準が高く、外国人が就職するのは難しい。
- ・ 私の知人の大半とは日本語で話しますが、今のところ必要なものは手に入れることができる。2年間の日本語学習を終えれば問題ないはず。
- ・ 私の日本語能力の問題。
- ・ 私の日本語能力は非常に限られており、地元の人々とのコミュニケーションや理解が困難。保育園の先生ともコミュニケーションが取れていない。仕事に関して私の熱意が伝わらず尊敬の念を感じない。雇用者の嘘、権力支配に従わざるを得ないと感じている。

- ・私は日本語が話せないなので、これは完全に私のせいである。医療施設でも日本語が話せないことや日本語の書類と格闘しなければならない苦労がある。
- ・週に2回、チューターに日本語を習っている。
- ・全て日本語にする必要がある。
- ・東京、大阪にでは公共施設の大半は日・中・英・韓の四か国語表記になっている。一方、札幌が日本語と英語表記があるかないか程度。初めて日本に訪問した人には不親切かと思う。
- ・独学で日本語を学んでいる。コミュニケーションがなければ、社会に溶け込むのは非常に難しく、仕事を得ることができない。
- ・日本での生活で一番難しいのは言語。英会話講師をしていて、仕事で日本語を練習することができず、流暢になるのが大変。漢字も読めないものがたくさんあり難しい。
- ・日本での生活で苦労したり心配したりしたことは一度もない。
- ・日本の職場環境がわからず、日本の会社で働くことが自分に合っているかどうかわからない。
- ・日本語があまり話せないなので、毎日日本人とのコミュニケーションに格闘している。
- ・日本語がパーフェクトではないので、少し困ることがある。
- ・日本語が下手で、選択肢の大半が当てはまる。
- ・日本語が下手で生活にも馴染めない。
- ・日本語が下手なので、コミュニケーションは限られている。地震も心配。
- ・日本語が上達しない。
- ・日本語が流暢ではない。
- ・日本語が話せない。
- ・日本語でのコミュニケーション、行政機関での手続き
- ・日本語での交流が困難である。他の町と比べると、各公共機関における通訳の設置が少ない。
- ・日本語で日常会話ができないので、日常の生活に支障がある。例えば、レストランでの注文や交通機関に乗って言葉を聞き取れない。
- ・日本語のコミュニケーションが苦手。
- ・日本語の語彙を覚えるのに問題がある。そのため、流暢な日本語でコミュニケーションをとることができない。日本語学習に関する情報を入手したが、いつも一緒にいる幼児がいるので、学べていない。
- ・日本語の知識が断片的。
- ・日本語の読み書き、会話を高度に習得していないと、行政職員に対応するのが難しい。
- ・日本語の話し言葉を理解するのに非常に苦労している。私の日本人の妻は私のためにすべてを通訳しなければならない。日本語が必要な時、彼女はいつも同行してもらっている。
- ・日本語は数年勉強していたが、実際にコミュニケーションをするときはまだ難しく感じる。地元の人言葉がわからないので、情報をすぐ取得できず、地元の習慣もよくわなからない。
- ・日本語は複雑。友達が少ない。仕事探しが難しい。
- ・日本語も英語も初心者レベル。
- ・日本語を練習したり、言語交換をしたりするための地元のリソースを見つけられたいのにと思う。
- ・日本語学校に通っており、私の日本語はひどい状態。でも札幌が好きだし、卒業後も生活し続けたいと思っている。
- ・日本語教室に通いたい日中は仕事をしており、夕方以降の教室を探しているが見つか

らない。

- ・日本語能力が高くないため、習熟する必要がある。
- ・勉強が忙しくて、同級生以外の人と交流する時間がないので、とても不安。

②行政窓口での手続き等

- ・ビザの申請や手続。
- ・一部の公務員や市民に無視された経験がある。
- ・外国人にとって住宅を借りる際、保証人がおらず、教師や会社の役員に頼らざるを得ないため、非常に不便。教師と学生、役員と従業員の間の依存関係はキャリア選択の自由を制限してしまう。
- ・確かに行政手続きは複雑だと思うが、区役所へ行く度にスタッフがとても丁寧に、わかるまでに説明してくれて感心している。災害で怖いのは地震。大きい地震が起こらないように祈っている。
- ・区役所の書類が日本語のものしかない。漢字があるとなお大変で、足したい用事に対応するのに時間がかかる。
- ・行政機関のほとんどの文書やフォームは日本語のみであり、独自に作成することは困難。私は常に友人や配偶者の助けを必要としている。常に通訳が必要なため、子育ても大変。例：児童手当、教育制度等の申請方法 日本語能力のレベルに関係なく、日本人の助けが必要になることがよくある。
- ・行政機関職員の大半は英語が話せないし理解できない。区役所へ行く際はいつも日本人の友人と一緒に連れてもらっている。
- ・行政機関窓口のスタッフは英語や日本語ができない。国際的な交流ができる場所が少ない。
- ・行政窓口で英語で対応できる人がいない。仕事を探しにくい。ペーパーワークが多い。
- ・自転車登録をキャンセルしたいが、警察のスタッフが英語を話せるかどうかかわからず躊躇している。普段は翻訳アプリを使っているが、警察が相手だと躊躇してしまう。
- ・手続きをもっと簡単、スムーズにして欲しい。
- ・税金などのことに対する認識が足りない。
- ・通常どういう手続きが必要かわからない。
- ・役所、病院、クリニックにおいて、いずれも文書が日本語である。英語の書式を用意すべきと思う。

③住居のこと

- ・ほんの少しの差別があり、実際に経験した。住居探しは日本人よりもずっと大変。日本の家主は外国人に対して多くの固定観念を持っていると思う。
- ・引っ越しするときは、明け渡しに係り多額の費用を求められる。
- ・家を借りる費用が高すぎる。
- ・家主の多くは外国人に部屋を貸すことを望んでいない。
- ・家探しの時に外国人に貸したくない大家さんがいる。
- ・家賃が高すぎる。ゆうちょ銀行の口座が非居住者扱いにされた。海外送金の手数料が高い。
- ・外国人が住める新しい部屋が少ない。
- ・外国人が商用スペースを借りることができない。
- ・外国人が日本で部屋を借りるのは難しい。不動産屋のスタッフの多くは英語を話したがない。私は日本語を少し話せるが流暢ではない。日本で就職したいが就職先を見つけないのは大変だと思う。

- ・外国人だというだけで、家の賃貸で差別されていると思う。
- ・外国人に貸し出しをしてくれないような物件がとても多い。日本人と比べると、すぐに拒否されたり、厳しい条件をつけられたりする。
- ・外国人に部屋を貸してくれない。
- ・外国人への住宅提供偏りがあります。また、悲しいことに、偶発的な人種差別（電車の中で私に隣に座らないなど）がまだ起こる。今の時代に「外人だ」と聞くと、とても残念。
- ・外国人用のアパートや寮には、英語を話せる人を配置してほしい。
- ・今は賃貸のマンションに住んでいるが、家賃が高い。市営住宅に入居したくても難しい様子。どうすればよいかわからない。マンション住民との交流や地域の人との交流機会もない。一日中誰とも話さない日がある。
- ・札幌の銀行から家を買うための住宅ローンを組むのは難しい。（特に外国人）
- ・自分のことは自分で解決しなければならない。誰も手を差し伸べてくれない。
- ・住宅賃貸契約書の内容が難しく妥当ではない。
- ・多くの家主は理由なしに外国人への賃貸を拒否する。
- ・都会だからなのか分かりませんが、同じマンションの方に挨拶しても無視されたり、引越して来た際に隣の部屋の方に廊下で偶然会った時に自己紹介したらお名前でも教えてもらえず、とてもさみしい思いをした。車持ちですが、今年1月の暴風雪の際、除雪までの動きが遅くて大変だった。
- ・日本で住宅を賃貸する際に、よく日本人の緊急連絡先を求められる。自分が既にある程度の保証金を支払った以上、さらに緊急連絡先等を強要するような迷惑行為をやめるべきだと思う。緊急連絡先を提供してくれないような人もいる。
- ・不動産屋を通して家を借りようとしたが、手続きが煩雑で、オーナーには多様な資料が求められたうえ、外国人という理由で貸してくれなかった。
- ・日本語が下手だという理由で、銀行の新規口座新設を拒否された。最近、銀行規則の変更に伴い、来て半年未満という理由で、ATMでの振替が禁止されたところがある。窓口での振替は手数料が高く、家賃を払えず、大変困惑している。
- ・部屋探しの時、外国人にとって様々な制限があり、大変苦労した。また、転入の手続きをしたとき、中央区役所の窓口が親切ではなかった。
- ・外国人のみに提供される特別ルール。
- ・多くは住宅に関すること。不動産屋には日本人への賃貸専用のデータベースと外国人への賃貸専用のデータベースがある。

④地域住民との交流や日常生活のルールのこと

- ・ゴミの分別。保険料と公共料金を払う方法。
- ・札幌留学生交流センターに住んでいるが、来客禁止など不便なルールもある。センターで生活している全員が外に出て、多くの人に会うので、訪問者を収容する意味はない。役所訪問の手配や手続きが煩雑で柔軟性に欠ける。時に彼らは調べようともせずに「できません」と言います。
- ・地元の人と交流する機会はない。外国人は就職が難しいかもしれません。
- ・地元住民の生活に迷惑をかけたくないので、地元住民の習慣を勉強したい。
- ・日常生活におけるルールがわからない。
- ・日本人ともっと交流して社会のルールをもっと教えてもらいたい。

⑤医療のこと

- ・医療については、突然事故等が起きる際に、医者とうまく交流できないことが心配。

- ・英語や中国語ができる医者が少ない。翻訳のアプリや医療通訳を使っても不便と感じる。
- ・英語を話せる医師を探すのが難しい。
- ・健康診断の基準が厳しすぎる。
- ・行政手続は問題ないが、いくつかの手順についてはより多くのガイダンスが役立つ。札幌には、医師の予約をするためのガイドがあるが、英語など、外国語を話す医師に関する情報を提供してほしい。
- ・事故や災害により、仕事ができなくなった時のことを考えると不安になる。特に、けがをして高額の医療費を負担しないといけないこと。
- ・妊娠中だが産院にベトナム語がない。
- ・病院が外国人に対しフレンドリーではない。出入国管理局に英語を話せる人が不十分。
- ・病院で症状について詳しく説明ができないこと。外国籍だと部屋を借りる際に選択肢が狭い。
- ・病院へ行かなければならないときに、英語や中国語ができる病院はなかなか見つからない。
- ・父と母がなくなる時にお墓がないことと、介護のこと。

⑥子育て、教育のこと

- ・教育の問題や、外国人、特に子供たちに対する差別や偏見について非常に心配している。
- ・今心配しているのは子供の幼稚園のことと病気のこと。
- ・子供の学校での教育や差別などが心配。
- ・子供を学校に通わせて日本語を学ばせたい。
- ・小さな子供がいて、毎日部屋の中を歩いて騒いでしまう。じっとしてられず近所の人に何度も注意された。最後は家に怒鳴り込まれて大声で文句を言われた。とても悲しく思う。
- ・幼稚園については、子供があまり日本語ができないので、他の子どもと交流できるかが心配。幼稚園生活に慣れるように、入園前の試す施設等はないのでしょうか。子供がもうすぐ3歳になります。本人もとても幼稚園に行きたがっている。

⑦災害、防災のこと

- ・災害・自然災害に遭ったことがなく不安。日本語はまだまだ下手なので、仕事では伝えたいことがうまく伝えられない。病気ときは、支えてくれる人が必要。
- ・災害の際にどうしてよいかわからない。
- ・災害や防災のことが起こったら本当に外国人も日本人と同じく守ってくれるのか。
- ・大きい災害が起こった時の行動ガイドラインが分からないし、外国人にも行政の対応がきちんと働くか疑問である。

⑧仕事のこと

- ・コロナ時期、企業は最初に解雇した社員は外国人だった。
- ・家族の仕事探しが大変
- ・会社の同僚の話し方が人によって少しずつ違う。
- ・企業は、法的に義務付けられているにもかかわらず、低い給与を支払い続け、社会保険料を支払わない。病気にかかったり研修を受ける際、企業は従業員に対し、日常的に有給休暇を使用するよう強制している。違法な労働慣行が政府や労働局によって罰せられない。官僚主義は遅く、非効率的で、近代化されていない。ほとんどの重要な行政手続には、英語のサポートがない。

- ・国民健康保険料が高くてずっと困っている。仕送りもなく、授業料も生活費も自分で賄う必要がある。しかしその分保険料が高く、悪循環に陥り研究に使える時間が減る。
- ・残業が多い。
- ・仕事が少ない。
- ・仕事で使う敬語が難しくて大変。
- ・私の地域ではバイトとして働く外国人は非常に少なく、外国人を募集したこともない。働きたくても働けない外国人は相当いると思われ、求人に応募するのは非常に困難。

⑨外国人への差別や偏見

- ・アルバイトをした時に「外国人の野郎、帰れ」と罵られた。
- ・外国人が好きではない人が多い。日本語がわかるにもかかわらず、差別される。
- ・差別的なことをされた経験はないが、外国人として常に不安だと思う。
- ・私は正規雇用の教授であり、15年間日本の大手銀行の顧客であるが、クレジットカードを申込んでも、何の説明もなく拒否され続けている。
- ・入管の収容施設では日常的に行われている人権侵害が明らかになり、しかし自公政権側は一貫して事実を隠蔽しようとし、改善しようとする姿勢を見せない。さらに入管法改悪の動きもあり、将来日本という国における外国人の境遇を心配せざるをえない。
- ・歩きながら中国語で友達と大声でしゃべったら、怒られたことがある。ただし、それはごく一部の人だと思うが。
- ・本名が言えず、仕事でも家族の事でも本名を隠している。韓国人だと思われたくなく、京都でも子供のころ大変だった。大人になっても差別が怖い。
- ・理由もなく外国人だから侮辱され罵られたことがある。

⑩日本人の英語能力

- ・英語が話せる方が少ないこと、外国人できる仕事は他の市より少ないこと。
- ・英語を話せる人が少ないので困りごとの相談に時間を要する。
- ・英語を話せる日本人が少ない。博士号取得に向けた勉強をしながら日本語を学ぶのは難しい。
- ・私は英語を話すが、大半の日本人は英語を話さない。
- ・中学高校で約6年間英語を勉強しても、ほとんどの日本人は英語を話せない。また、ほとんどの場合、回答を言い換えたり単純化する方法を知らない。
- ・日本語でコミュニケーションが取れない際の手段として英語を使えない。

⑪その他

- ・コロナで収入が減った。
- ・外国人の状況をもっと前向きに理解頂きたいと思う。日本の基準で私たちが判断しないでほしい。日本の皆さんと仲良く暮らしていきたいと思っている。
- ・外国人への就労の機会を増やしてほしい。
- ・昨年の雪を経験して思うことだが、札幌市は地下鉄を清田、東雁来まで延長し、除雪機を増やした方がよいと思う。
- ・札幌での生活はとても便利だと思うが、生活費はかなり高い。この意味で、経済的な不便さもひとつの問題だと思う。家賃もやや高め。
- ・札幌は他の地域と比べればオープンな方だと思う。
- ・子供たちを教育する選択肢が少ない。日本語がいくら上達したとしても私たちは部外者でしかない。最近はそのことに慣れてしまった。病院へ行くと半日はかかる。
- ・私の子は既に義務教育を終えています。学校で極一部ではあるけれども差別主義的な

人々から不当な扱いを複数回受けた事があります。学校で人権についてより一層取り組んで頂きたい。

- ・ 住み始めてまだ数か月だが、今のところ大きな問題には直面していない。
- ・ 住居のことではないが、冬は住みづらい。歩く際に滑って困る。雪が多いこと、滑ることを考えると、とても人の住める所ではないと思う。
- ・ 除雪と冬の生活が困難です。子供の教育情報が不足している。
- ・ 昇進したことがないが、私が外国人だからなのかはわからない。
- ・ 雪が多すぎる！
- ・ 電車のタクシーやバスでの移動中の沈黙、スポーツイベントやコンサートの出席中の沈黙、飲食中の沈黙、学校や仕事中の沈黙、極端なマスク着用も同様。制限的であり、メンタルヘルスに大きな影響を与える。
- ・ 日本のワークライフバランスには課題が多い。
- ・ 日本人はシャイだと思う。周囲の人と関わることに関心を向けようとしていない。
- ・ 比較的、札幌市内で行われる国際交流活動が少なく、本地の人々とのつながりを深めることに支障が生じると思う。
- ・ 病気になって身寄りが少ないこと。コロナの影響で帰国できないこと。
- ・ 毎年車が冬道で故障する。降雪量が多いのに、市の対策が不十分。冬道での時間口入は生産性、観光に悪影響を与えている。
- ・ 問題がなくなるまでには時間がかかる。
- ・ 例えば、家でインターネットの工事をお願いしたときに、英語や他の言語で交流できる人がいなくて、日本に来たばかりで、日本語がうまくない人にとってはとてもつらい。
- ・ どんな問題があっても相談しづらい。
- ・ ホームセンター等で、特別な情報や商品を見つけるのが難しい。

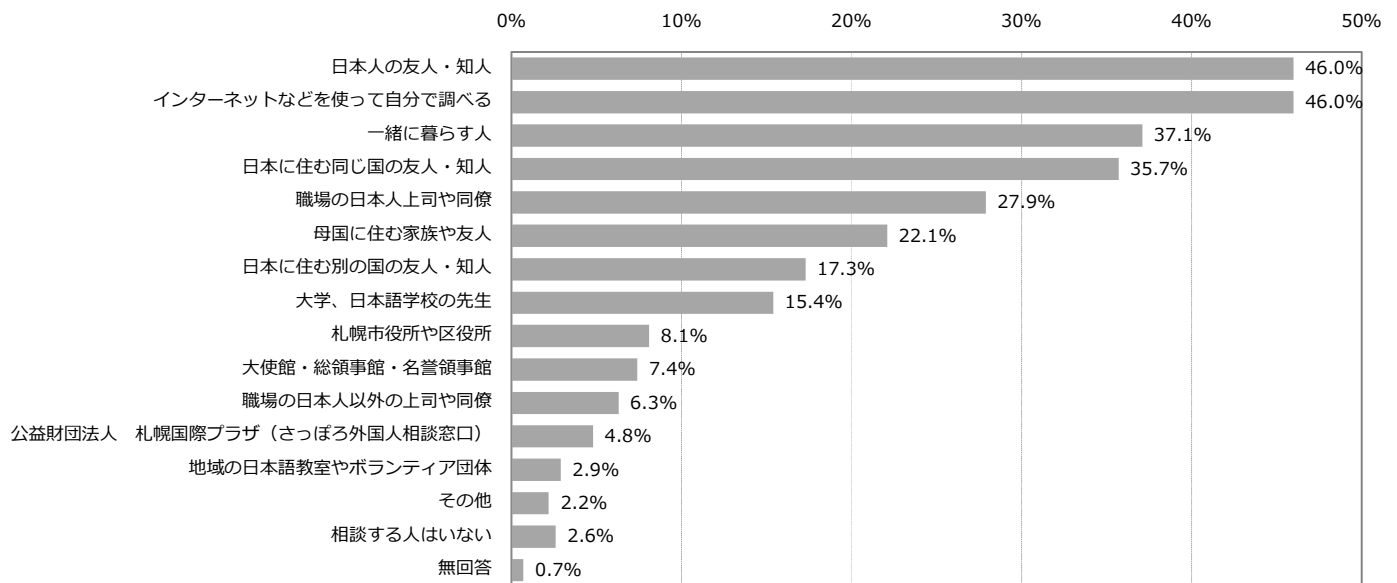
⑫大きな問題なし

- ・ 暮らす上での仕事をする上でも、職場の仲間に恵まれて困っていることはない。チームとして、日常生活や仕事を楽しんでいる。力になってくれる日本の友人がいるので特に困っていない。

問7 生活に困ったときの相談相手
 生活(せいかつ)で困(こま)ったときに相談(そうだん)する人(ひと)は誰(だれ)ですか。
 あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

・「日本人の友人・知人」と「インターネットなどを使って自分で調べる」がともに46.0%で最も多くなっている。

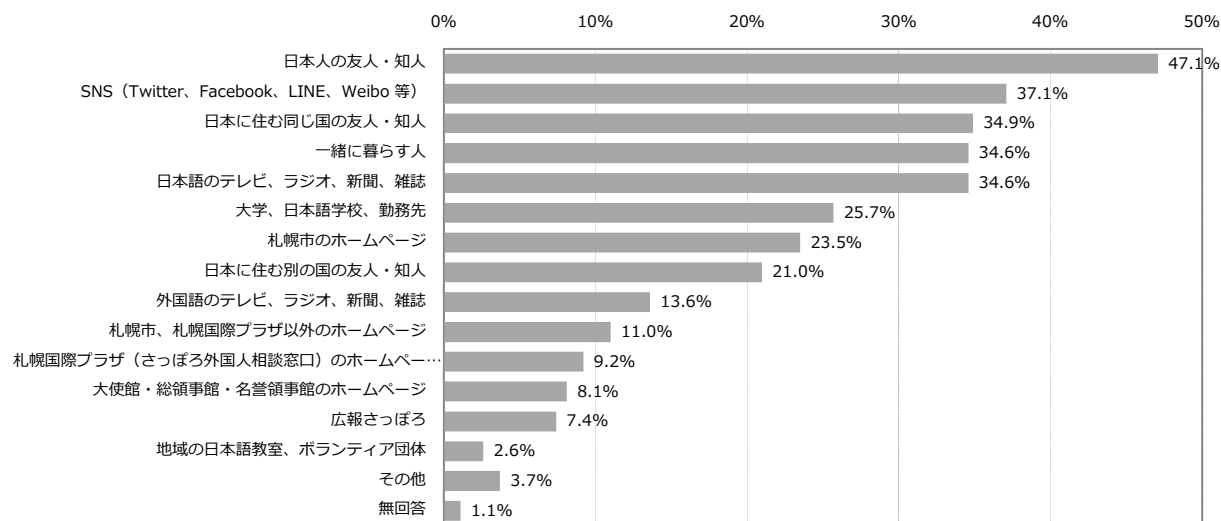
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本人の友人・知人	125	46.0%
2	インターネットなどを使って自分で調べる	125	46.0%
3	一緒に暮らす人	101	37.1%
4	日本に住む同じ国の友人・知人	97	35.7%
5	職場の日本人上司や同僚	76	27.9%
6	母国に住む家族や友人	60	22.1%
7	日本に住む別の国の友人・知人	47	17.3%
8	大学、日本語学校の先生	42	15.4%
9	札幌市役所や区役所	22	8.1%
10	大使館・総領事館・名誉領事館	20	7.4%
11	職場の日本人以外の上司や同僚	17	6.3%
12	公益財団法人 札幌国際プラザ(さっぽろ外国人相談窓口)	13	4.8%
13	地域の日本語教室やボランティア団体	8	2.9%
14	その他	6	2.2%
15	相談する人はいない	7	2.6%
	無回答	2	0.7%
	N (%ベース)	272	100.0%



問8 生活しているうえで必要な情報の入手方法
 生活(せいかつ)をしていくうえで必要(ひつよう)な情報(じょうほう)をどうやって入手(にゅうしゅ)しますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「日本人の友人・知人」が47.1%で最も多く、以下SNS(37.1%)、「日本に住む同じ国の友人・知人」(34.9%)が次いでいる。
- ・その他にはインターネットの検索エンジン等を挙げる回答があった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本人の友人・知人	128	47.1%
2	SNS (Twitter、Facebook、LINE、Weibo 等)	101	37.1%
3	日本に住む同じ国の友人・知人	95	34.9%
4	一緒に暮らす人	94	34.6%
5	日本語のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌	94	34.6%
6	大学、日本語学校、勤務先	70	25.7%
7	札幌市のホームページ	64	23.5%
8	日本に住む別の国の友人・知人	57	21.0%
9	外国語のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌	37	13.6%
10	札幌市、札幌国際プラザ以外のホームページ	30	11.0%
11	札幌国際プラザ(さっぽろ外国人相談窓口)のホームページ、Facebook、ニュースレター	25	9.2%
12	大使館・総領事館・名誉領事館のホームページ	22	8.1%
13	広報さっぽろ	20	7.4%
14	地域の日本語教室、ボランティア団体	7	2.6%
15	その他	10	3.7%
	無回答	3	1.1%
	N (%^`-s)	272	100.0%

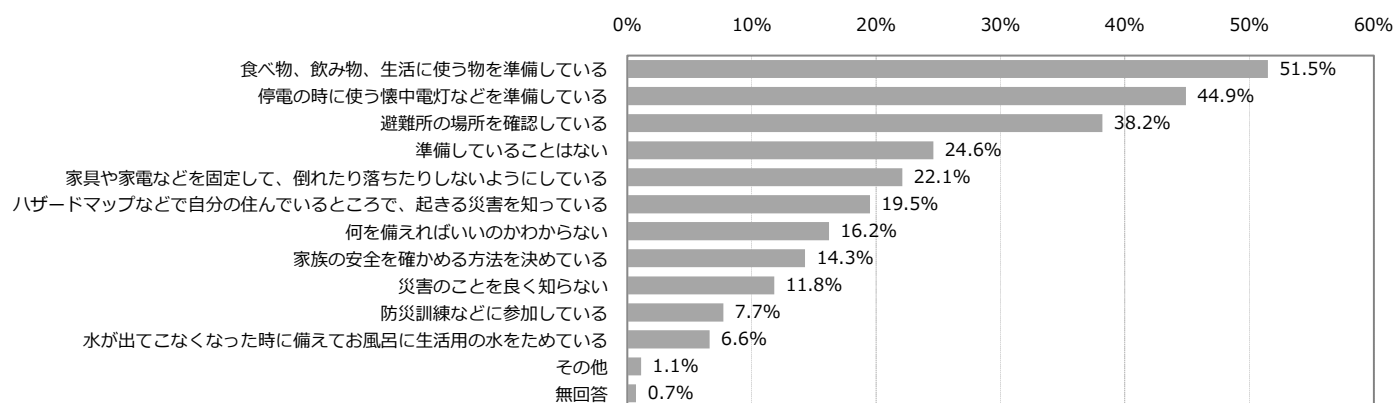


問9 災害への備え

日本(にほん)では地震(じしん)や洪水(こうずい)、大雨(おおあめ)などの災害(さいがい)が起(お)きます。災害(さいがい)の時(とき)に備(そな)えていることはありますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- ・「食べ物、飲み物、生活に使う物を準備している」(51.5%) が最も多く、以下「停電の時に使う懐中電灯などを準備している」(44.9%)、「避難の場所を確認している」(38.2%)の順となっている。

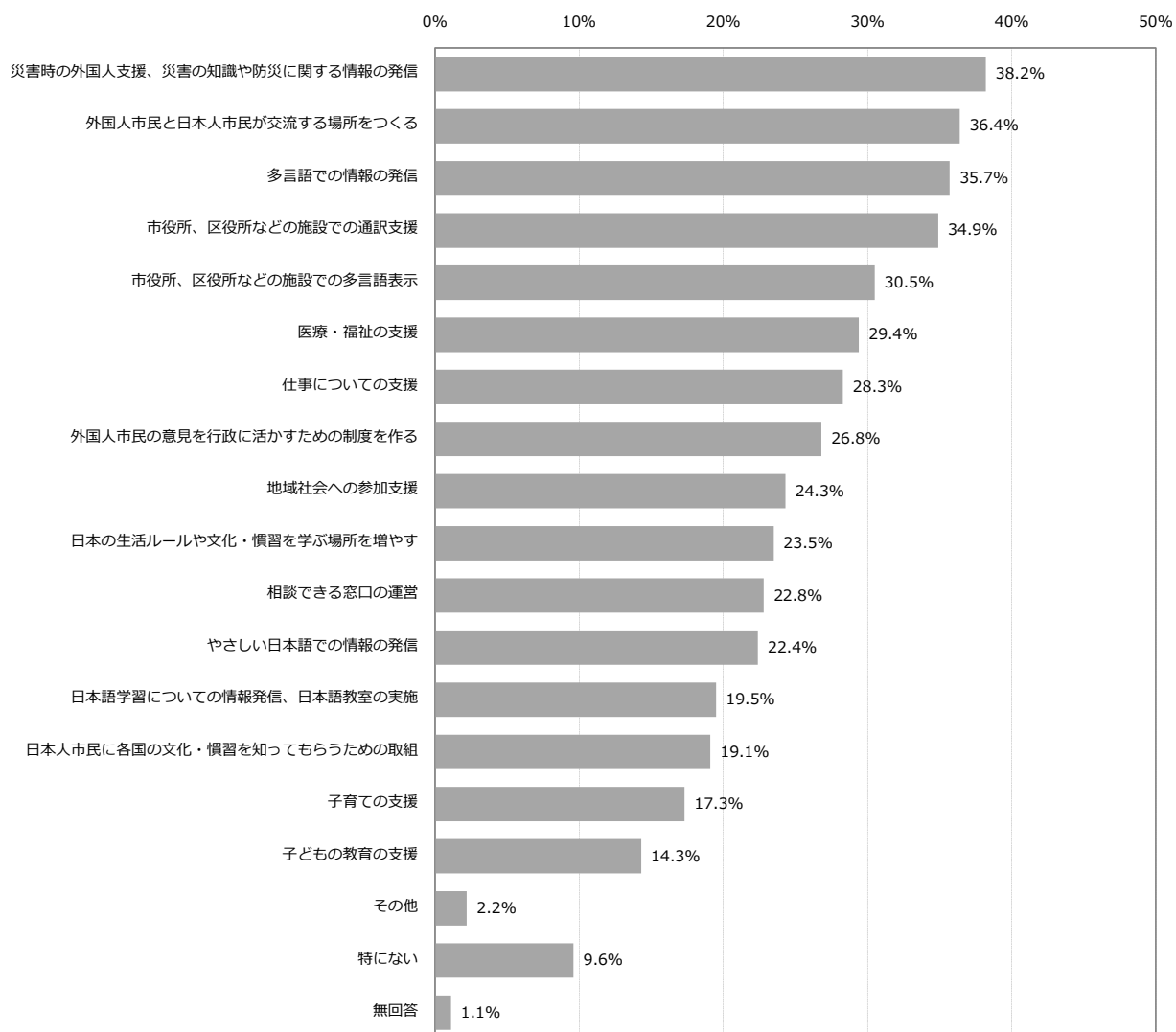
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	食べ物、飲み物、生活に使う物を準備している	140	51.5%
2	停電の時に使う懐中電灯などを準備している	122	44.9%
3	避難所の場所を確認している	104	38.2%
4	準備していることはない	67	24.6%
5	家具や家電などを固定して、倒れたり落ちたりしないようにしている	60	22.1%
6	ハザードマップなどで自分の住んでいるところで、起きる災害を知っている	53	19.5%
7	何を備えればいいのかわからない	44	16.2%
8	家族の安全を確かめる方法を決めている	39	14.3%
9	災害のことを良く知らない	32	11.8%
10	防災訓練などに参加している	21	7.7%
11	水が出てこなくなった時に備えてお風呂に生活用の水をためている	18	6.6%
12	その他	3	1.1%
	無回答	2	0.7%
	N (% [^] -入)	272	100.0%



問 10 札幌市の多文化共生に関する取組で頑張ってもらいたいこと
 札幌市(さっぽろし)の多文化(たぶんか)共生(きょうせい)に関(かん)する取組(とりくみ)でもっと頑張(がんば)って欲(ほ)しいと思(おも)うものを選(えら)んでください。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・上位3項目は、「災害時の外国人支援、災害の知識や防災に関する情報の発信」(38.2%)、「外国人市民と日本人市民が交流する場所をつくる」(36.4%)、「多言語での情報の発信」(35.7%)となっている。
- ・各選択肢の回答の割合に大きな差は観察されず、幅広い取組の展開が求められている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	災害時の外国人支援、災害の知識や防災に関する情報の発信	104	38.2%
2	外国人市民と日本人市民が交流する場所をつくる	99	36.4%
3	多言語での情報の発信	97	35.7%
4	市役所、区役所などの施設での通訳支援	95	34.9%
5	市役所、区役所などの施設での多言語表示	83	30.5%
6	医療・福祉の支援	80	29.4%
7	仕事についての支援	77	28.3%
8	外国人市民の意見を行政に活かすための制度を作る	73	26.8%
9	地域社会への参加支援	66	24.3%
10	日本の生活ルールや文化・慣習を学ぶ場所を増やす	64	23.5%
11	相談できる窓口の運営	62	22.8%
12	やさしい日本語での情報の発信	61	22.4%
13	日本語学習についての情報発信、日本語教室の実施	53	19.5%
15	日本人市民に各国の文化・慣習を知ってもらうための取組	52	19.1%
14	子育ての支援	47	17.3%
15	子どもの教育の支援	39	14.3%
16	その他	6	2.2%
17	特にない	26	9.6%
	無回答	3	1.1%
	N (% [^] -)	272	100.0%



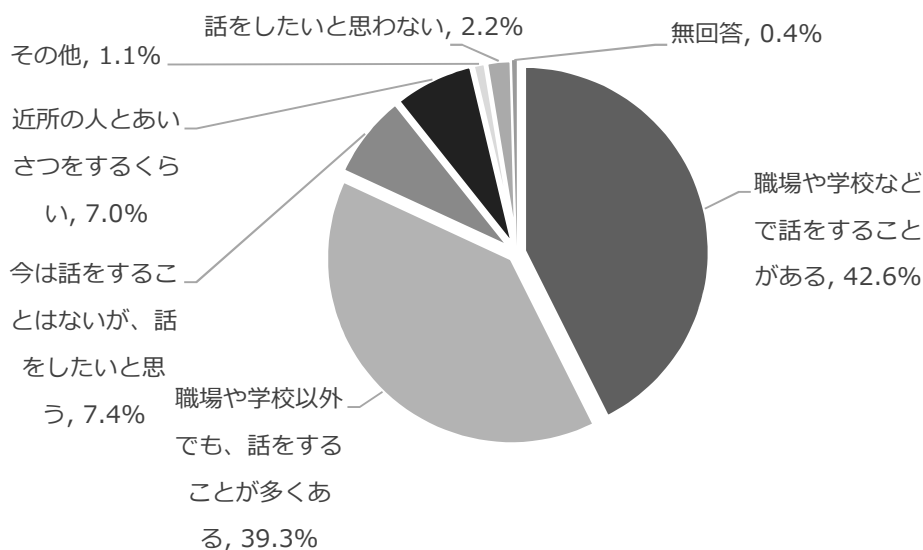
【日本人市民とのかかわり】

問 11 日本人市民と話す機会

日本人(にほんじん)市民(しみん)と話(はな)すことがどのくらいありますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- ・「職場や学校などで話をすることがある」(42.6%)、「職場や学校以外でも、話をするこ
とが多くある」(39.3%) の合計が 81.9%となっており、会話をする機会は得られている
ことがうかがえる。

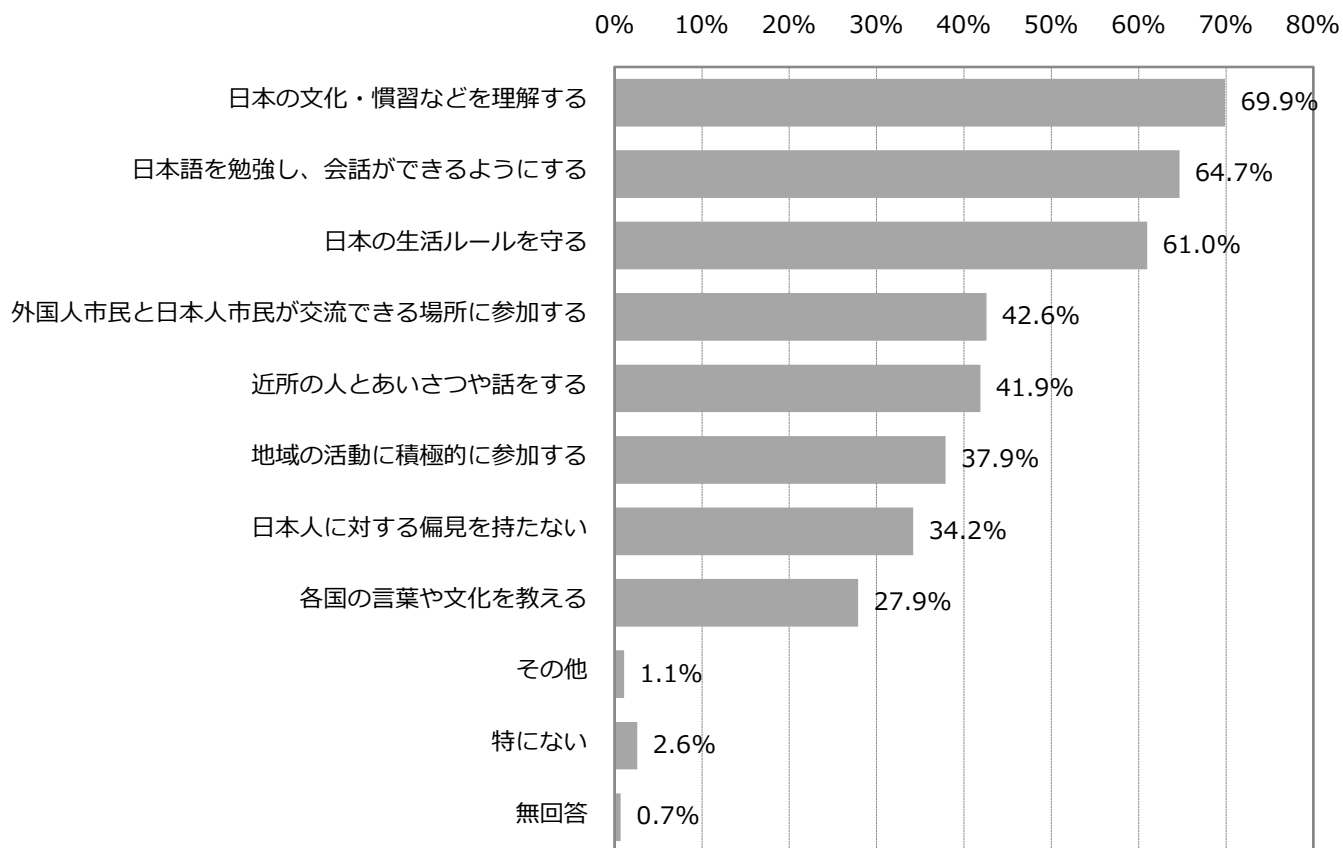
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	職場や学校などで話をするこがある	116	42.6%
2	職場や学校以外でも、話をするこが多くある	107	39.3%
3	今は話をするこはないが、話をしたと思	20	7.4%
4	近所の人とあいさつをするくら	19	7.0%
5	その他	3	1.1%
6	話をしたと思わない	6	2.2%
	無回答	1	0.4%
	N (% \wedge - λ)	272	100.0%



問 12 外国人市民と日本人市民の相互理解のために自分ができること
 外国人(がいこくじん)市民(しみん)と日本人(にほんじん)市民(しみん)がお互(たが)いのことをよく知(し)るために、あなたができることは何(なん)だと思(おも)いますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

・「日本の文化・慣習などを理解する」(69.9%)「日本語を勉強し、会話ができるようになる」(64.7%)、「日本の生活ルールを守る」(61.0%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本の文化・慣習などを理解する	190	69.9%
2	日本語を勉強し、会話ができるようになる	176	64.7%
3	日本の生活ルールを守る	166	61.0%
4	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する	116	42.6%
5	近所の人とあいさつや話をする	114	41.9%
6	地域の活動に積極的に参加する	103	37.9%
7	日本人に対する偏見を持たない	93	34.2%
8	各国の言葉や文化を教える	76	27.9%
9	その他	3	1.1%
10	特にない	7	2.6%
	無回答	2	0.7%
	N (% [^] -入)	272	100.0%

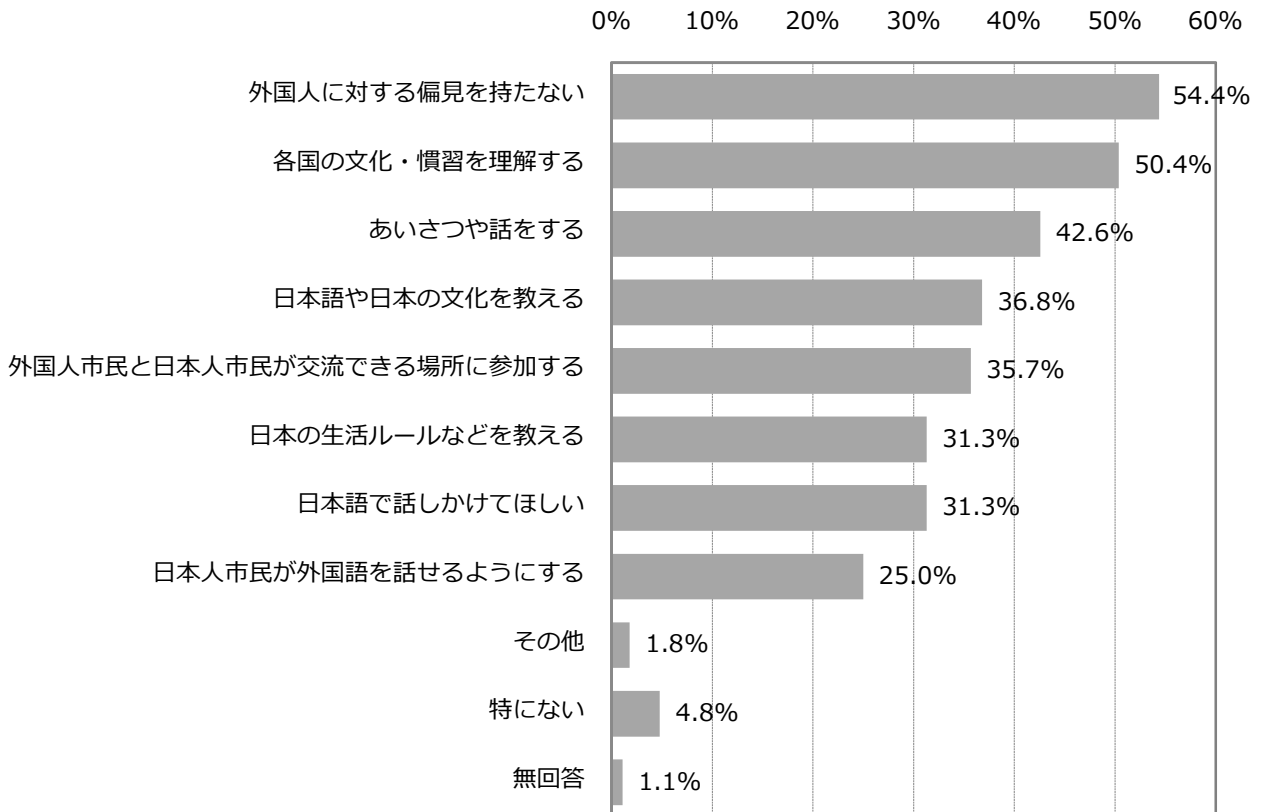


問 13 相互理解のために日本人市民にしてほしいこと

外国人(がいこくじん)市民(しみん)と日本人(にほんじん)市民(しみん)がお互(たが)いのことをよく知(し)るために、日本人(にほんじん)にしてほしいことは何(なん)ですか。あてはまるものいくつかでも○をおつけください。

- ・「外国人に対する偏見を持たない」(54.4%)、「各国の文化・慣習を理解する」(50.4%)、「あいさつや話をする」(42.6%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	外国人に対する偏見を持たない	148	54.4%
2	各国の文化・慣習を理解する	137	50.4%
3	あいさつや話をする	116	42.6%
4	日本語や日本の文化を教える	100	36.8%
5	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する	97	35.7%
6	日本の生活ルールなどを教える	85	31.3%
7	日本語で話しかけてほしい	85	31.3%
8	日本人市民が外国語を話せるようにする	68	25.0%
9	その他	5	1.8%
10	特にない	13	4.8%
	無回答	3	1.1%
	N (% [^] -)	272	100.0%



◇問 12 と問 13 のクロス集計

・問 12 (外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るためにできること) と問 13 (外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために日本人市民にしてほしいこと) をクロス集計すると、「お互いについて偏見を持たない」ことを強く望んでいる様子が読み取れる。(60%以上網掛け)

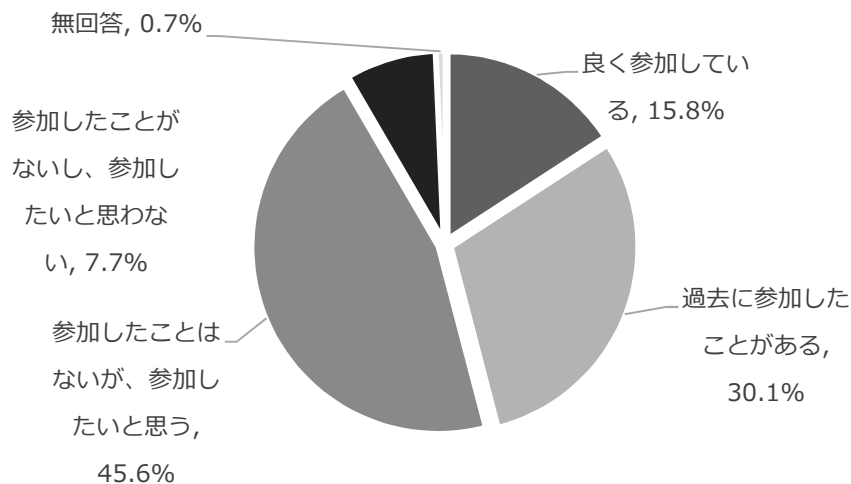
		問13：外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、日本人にしてほしいことは何ですか。										
		各国の文化・慣習を理解する	日本の生活ルールなどを教える	日本語や日本の文化を教える	日本人市民が外国語を話せるようにする	あいさつや話をする	日本語で話しかけてほしい	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する	外国人に対する偏見を持たない	その他	特にない	無回答
問12：外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、あなたができることは何だと思いますか。	日本の生活ルールを守る(N=166)	54%	46%	44%	26%	51%	38%	39%	63%	1%	4%	1%
	日本の文化・慣習などを理解する(N=190)	58%	43%	44%	25%	50%	33%	38%	60%	2%	3%	0%
	日本語を勉強し、会話ができるようにする(N=176)	54%	39%	51%	31%	50%	38%	42%	61%	2%	2%	0%
	近所の人とあいさつや話をする(N=114)	61%	48%	44%	32%	67%	44%	51%	63%	3%	2%	1%
	各国の言葉や文化を教える(N=76)	76%	49%	59%	38%	62%	47%	55%	67%	1%	4%	0%
	地域の活動に積極的に参加する(N=103)	56%	39%	49%	35%	53%	50%	65%	64%	4%	3%	0%
	外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する(N=116)	57%	40%	47%	37%	55%	45%	66%	57%	3%	3%	0%
	日本人に対する偏見を持たない(N=93)	59%	52%	43%	28%	58%	43%	47%	84%	3%	3%	0%
	その他(N=3)	33%	33%	33%	33%	67%	67%	33%	67%	33%	0%	0%
	特にない(N=7)	29%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	0%	57%	0%
無回答(N=2)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

問 14 地域の活動への参加経験

あなたは、清掃(せいそう)活動(かつどう)やお祭(まつ)りなど地域(ちいき)の活動(かつどう)に参加(さんか)したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- ・「良く参加している」と「過去に参加したことがある」の合計が46.7%となっている。
- ・「参加したことはないが、参加したいと思う」は45.5%と半数近くとなっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良く参加している	43	15.8%
2	過去に参加したことがある	82	30.1%
3	参加したことはないが、参加したいと思う	124	45.6%
4	参加したことがないし、参加したいと思わない	21	7.7%
	無回答	2	0.7%
	N (% [^] -λ)	272	100.0%



問 15 問 14 の回答の理由

問(とい)14 の回答(かいとう)の理由(りゆう)を教(おし)えてください。(自由(じゆう)記載(きさい))

①問 14 で「良く参加している」と回答

1) 地域のイベント

- ・ビアガーデンや大学祭、夏祭りなどのイベントがとても面白い。
- ・よく北海道のまつり(サッポロライラクまつりとか、中島公園まつり)や展覧会に参加している。
- ・街のイベント、町内会活動など参加しています。
- ・楽しい体験
- ・季節のお祭り
- ・色々なお祭りがたくさんあり楽しいから
- ・雪まつり
- ・雪まつりと北大祭
- ・地域清掃、植花会、お祭り等
- ・地元の市民と一体化できるような町内会活動にぜひ参加したい。お互いの理解を深めることができる。
- ・地元の文化を学ぶ。
- ・町内会の花植え行事に参加した。班長も務めた。
- ・様々なお祭り等への参加を通して日本文化を体験したい。

2) 大学等

- ・以前、日本に留学していたとき、学校が主催するボランティア活動によく参加していた。こちらも機会があれば参加したい。
- ・大学の祭りにはよく参加している。
- ・大学の部活を何回か参加していた。
- ・北大祭や学内の清掃活動には参加したことがある。
- ・大学祭に参加したことがある。
- ・北大の学生寮のお祭りや大学祭に参加したことがある。大学祭では食べ物を販売した。楽しかったし、また参加したい。日本の他地域の高校生が札幌を訪れた際に案内したこともある。

3) ボランティア活動等

- ・近所を清掃した。
- ・今年海岸清掃に参加する予定。
- ・地域コミュニティで季節ごとに地元の公園を清掃する登録制度があります。多くのコミュニティイベントにも参加しました。

4) その他

- ・楽しい時間を過ごすため。
- ・交流機会を通じて友達ができたり、日本語が上達したりする。
- ・札幌市で 32 年、京都市で 32 年、もはや日本人と同じ生活を送っています。ただ自分の中で韓国人であると思う引け目があります。
- ・自然環境を守ることは、一人一人の責任だ。
- ・生活環境にもっと馴染みたい。

- ・日本に住んでいるのに、参加しないともったいないと思う。

②問 14 で「過去に参加したことがある」と回答

1) 地域のイベント

- ・4月に北海道に来たばかりだが、よさこいソーラン祭りに参加した。
- ・5月に音楽フェスティバルに行ったが大変良かった。またこうした機会があれば是非参加したい。
- ・PTAの活動で参加したことはあるが、息子は大学生になってしまった。
- ・いろいろなお祭りに参加しました。
- ・お祭りに参加したことがある。
- ・お祭りは観に行きたい。
- ・お祭りを見に行ったことはある。
- ・お茶会や着物を着る機会。
- ・とても面白く、とても気分が良く、ポジティブな雰囲気を感じます。
- ・より多くの地域行事に参加してみたい。
- ・以前「8月お祭り」に参加したことがある。
- ・夏祭り、地域のボランティア活動に参加したことがある。
- ・家に回覧板がきて、時間があつたから行きました。
- ・花火大会に参加したい。
- ・近所の方と触れ合うため
- ・桜を見ました。
- ・参加する機会があつて参加しました
- ・子供が小さく、会社員だったときは祭りなどによく行った。自営業になってからは行っていない。
- ・子供達と街のお祭りに参加して遊ぶために
- ・地域コミュニティセンターの行事、国際交流プラザ、その他お祭り等に参加したことがある。2019年のラグビーワールドカップの際には歓迎イベントに参加した。
- ・地域の一員としてやるべきです。
- ・地元の人々の生活を体験したい。
- ・地域の文化や生活を体験したい。
- ・日本の特色があるイベントへの参加を通して、日本の文化を習得し、地元の生活に入れ、もっと「ここで生活している感覚」を獲得したい。
- ・日本人と交流したいから。
- ・避難セミナーのような行事、花のお祭り、国際的なお祭り等
- ・文化体験

2) 大学等

- ・北大祭とコープさっぽろ主催の海岸清掃活動に参加した。地域の文化を経験したいし、地域コミュニティにも貢献したい。
- ・学校の体験活動です。外国人として地域に少しでも貢献ができるととても良い体験になる。
- ・大学のお祭り
- ・北大祭

3) ボランティア活動等

- ・ボランティア活動の参加により、地域に貢献できるし、地域住民との交流に役立った。
- ・清掃のイベントはあるが、ゴミ集めの日は会話等の交流をするベストな機会ではないと思う。
- ・石狩湾の清掃活動や札幌での国際交流活動に参加したことがある。
- ・福岡に住んでいた時、自治体がやっている夏祭や、福岡市の山笠祭と参加しました。また、大学の地域清掃活動も参加しました。来札した後は、このような活動/イベントの情報がなかったです。一方、学業も忙しくなって遠いところのイベントなどに参加したいが、時間がない。
- ・北海道のフィリピン人コミュニティの活動で大通公園の清掃をした。

4) その他

- ・コロナ禍で最近はこちらの行事が実施されていないと思う。
- ・スケジュールや体調の都合で最近は参加していない。
- ・楽しそうだったから。
- ・近隣住民に監視されていたから。
- ・札幌に来てからこうした機会はない。愛知にいたときは清掃イベントに参加していた。
- ・子どもがいない人やパートで仕事をしているような人なら参加できると思う。
- ・住んでいるマンションが町内会に加入していない。
- ・職探しに忙しくて時間が取れない。
- ・色々知るため
- ・生活時間にゆとりがあったときは参加していた。

③問 14 で「参加したことはない、が参加したいと思う」と回答

1) 情報があれば参加したい

- ・コミュニティサービスは誰にとっても手助けになると思う。
- ・コミュニティ行事の情報がどこで得られるのかわからない。
- ・どうやったら参加できるのかわからない。
- ・ネットで情報を得られるとよい。
- ・どこで情報を得られるのかわからない。ボランティア的なものに参加したい。
- ・まだ参加する機会がありません。でも、日本の文化や習慣についてもっと理解するだけでなく、日本語の情報源を改善するために参加したいと思っています。
- ・外国人にもわかるように情報が提供されていない。
- ・関連する情報をもらえてなかった。
- ・機会があれば参加したい。
- ・敬語を正しく理解していないと、こうしたイベントに参加するのは難しい。
- ・参加したことはないが、状況次第では参加したくなるかもしれない。
- ・参加してみたいが、情報が不足している。
- ・参加してみたいと思ったが、たやすくアクセスできればいいと思います。
- ・参加の方法がわからない。
- ・情報が無い。参加したとしても次は案内してもらえないと思う。
- ・情報が無いので、参加できていない。
- ・新しい人に会いたいが、言葉の壁がありそう。
- ・清掃活動に参加してみたいが、英語の情報が乏しく参加の仕方がわからない。
- ・多くの案内が日本語のみなので、情報を得る機会がほとんどない。

- ・地域のことが全くわからないので、知りたい。
- ・日本に来たばかりでわからない。
- ・日本語が話せないので地域コミュニティの行事には参加できない。
- ・日本社会になじむ良いチャンスなので是非参加したいとは思っています。活動の情報を手に入れたことがないので参加したことがありません。

2) コロナ禍でイベント自体が少ない

- ・お祭りに参加したいがコロナでやめている。
- ・この3年、祭りや集い事は行われていない。マスク着用や黙活では楽しめない。
- ・コロナだから。
- ・コロナなどで参加する機会が少なくなり、地域住民と交流することができなかった。
- ・コロナのせいで参加する機会がなかった。
- ・コロナのため参加できなかった。
- ・コロナ禍で行事は行われていない。もはやアフターコロナだと思っているのだが、日本は厳しすぎる。
- ・コロナ禍で人と会うことや行事には躊躇してしまう。コロナが解決すれば是非参加したい。
- ・外国人としてお祭りに参加できる機会がもっとほしい。去年はよさこいソーラン祭りを見た。来年は参加したい。
- ・日本人やカンボジア人と海岸清掃に参加する予定である。

3) その他

- ・イベント等を通して、日本の文化をもっと理解したい。日本語の勉強を通して、日本人市民と交流したい。
- ・クリスチャンなので、一部のフェスティバルは合わないかもしれないが、参加できるものには参加したい。
- ・コミュニティの交流の場に参加したい
- ・コロナ禍で札幌に来たので行事には参加していない。母国と関係のある行事ならば是非参加したい。
- ・もう少し日本語や生活に慣れてから参加したい。
- ・もっと日本を知りたい。
- ・一員として地域に入りたい。日本人の友達を作りたい。
- ・一員として日本の社会に入って、微小でありながら、日本の社会に貢献できるような機会がほしい。
- ・一度は参加してみたい。
- ・外国人と日本人が、より良い、幸せな、社交的な関係を築いてほしい。
- ・楽しそう。
- ・活動に興味があるが、仕事や育児等で都合が合わなくて、参加したことはない。
- ・機会があれば、自分が住んでいる地域に貢献したい。
- ・興味があるが、日本語がまだ上手ではない。
- ・勤めていたので地域の活動に参加する時間がなかった。定年退職を機に住み慣れた地を離れ、札幌を選んだ。高齢であるが老人になりたくない。今の自分に出来る事があるなら地域活動に参加したいです。
- ・交流したいし、もっと学びたい。日本人と外国人の関係をより良くしたい。
- ・札幌に引っ越してきたばかりでよくわからない。
- ・札幌に来たばかりで、まだよくわからない。

- ・札幌市の地域社会に貢献できればよいと思う。
- ・参加したいが、子どもの世話が有り難い。子どもが大きくなったら、喜んでお祭り等に参加したい。
- ・参加したことがないですが、一応参加してみたいです。
- ・参加してみたいが、今は娘の世で大変。日本語も話せない。
- ・参加して交流し、学びたい。
- ・仕事が忙しすぎて参加する機会がない。日本語がわからないと参加しづらいと思う。
- ・子どもや配偶者等、家族への対応が精一杯で地域行事に参加したことがない。
- ・実際のところ、外国人市民は知的な活動に参加できるだけの時間があると思う。
- ・社会に貢献したい。
- ・社会的に楽しみたい。
- ・祝日のお祭り等にとっても興味がある。
- ・身体が悪いため参加する機会が無い。
- ・人と人とのコミュニケーションを向上させる環境だと思う。
- ・清掃活動やお祭りなどの地域活動に参加したい。
- ・体験してみたい。
- ・地域行事に参加する機会はまだない。仕事との折り合いを付けるのが難しい。でも参加してみたい。
- ・地元の人々との交流を深めたい。
- ・日系米国人で、米国の故郷ではお盆を祝う。公園等で小さなお盆祭りを目にするが、恥ずかしくて参加したことはない。参加している日本の方も戸惑うのではないかと思う。コロナ前はさっぽろ祭りや大通公園のビアガーデンを楽しんでいた。
- ・日本でいろいろ体験したいです。
- ・日本の習慣がよくわからないので、自分に対する日本人の誤解を余計に招くのが心配。
- ・日本の地元文化の体験。
- ・日本の文化をもっと知りたい
- ・日本人と一緒に体験したい。
- ・日本文化について学びたい。
- ・友達を作りたい。
- ・地域の活動を通じて、日本の文化や社会マナーを勉強してほしい。市民のみなさんとコミュニケーションしてほしい。

④問 14 で「参加したことないし、参加したいとも思わない」と回答

- 1) 興味がない
 - ・社会的ではない。
 - ・大悪党のガイジンを取り巻いている神経質な日本人をリラックスさせるためには、さらなるストレスとトレーニングが必要になるだけです。必要ありません。
 - ・興味がない。
 - ・もう高齢だし、団体での活動は好きではない。
- 2) 多忙で参加は難しい
 - ・日曜日にやっていることが多いが日曜日は仕事がある。
 - ・仕事が忙しすぎて参加できない。
 - ・仕事が忙しいので参加する時間的余裕がない。
 - ・忙しくて時間がない。

- めんどくさい。
- 仕事と家庭で忙しい。
- コロナ禍で、子供も小さく、参加できない。

3) その他

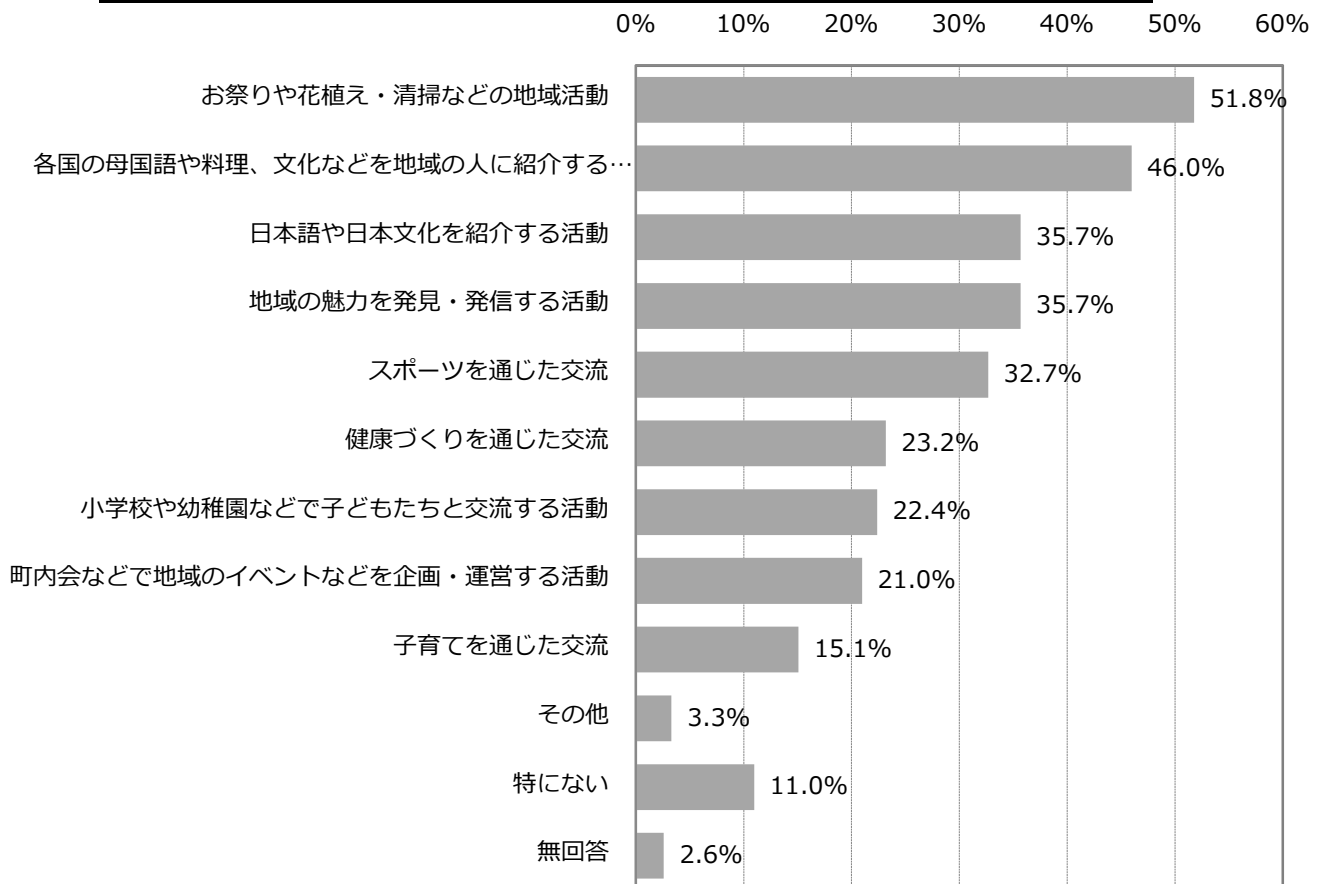
- 私個人はこういう行事が好きではない。ただ、参加している方に対する偏見もない。
- 情報を耳にする機会が少ないし、今の私の日本語能力ではかえって邪魔してしまうのではないかと心配になる。
- 地域の活動についてあまり知らなくて、参加しようとしても参加方法が分からないため。

問 16 今後参加したい地域活動

今後(こんご)、やってほしい、または参加(さんか)したい地域(ちいき)の活動(かつどう)は何(なん)ですか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

- ・「お祭りや花植え・清掃などの地域活動」が 51.8%で最も多く、「各国の母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動」(46.0%)、「日本語や日本文化を紹介する活動」「地域の魅力を発見・発信する活動」(35.7%) が次いでいる。

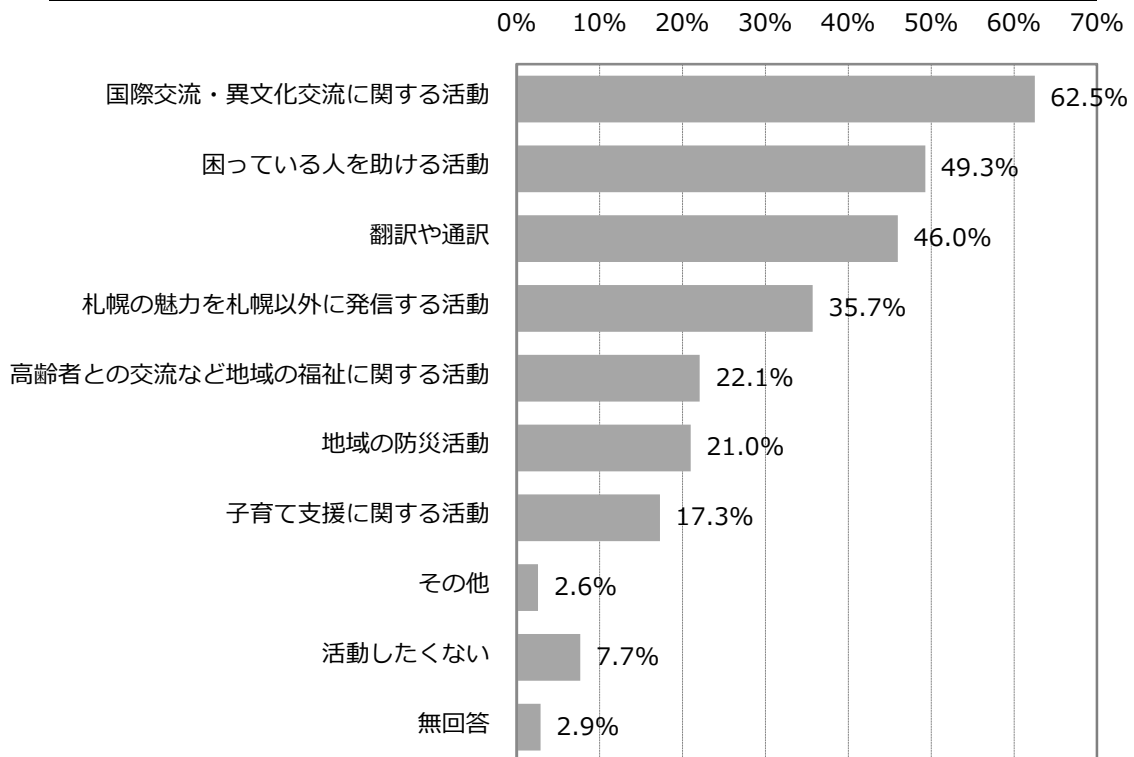
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	お祭りや花植え・清掃などの地域活動	141	51.8%
2	各国の母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動	125	46.0%
3	日本語や日本文化を紹介する活動	97	35.7%
4	地域の魅力を発見・発信する活動	97	35.7%
5	スポーツを通じた交流	89	32.7%
6	健康づくりを通じた交流	63	23.2%
7	小学校や幼稚園などで子どもたちと交流する活動	61	22.4%
8	町内会などで地域のイベントなどを企画・運営する活動	57	21.0%
9	子育てを通じた交流	41	15.1%
10	その他	9	3.3%
11	特にない	30	11.0%
	無回答	7	2.6%
	N (% [^] -)	272	100.0%



問 17 札幌のまちづくりや地域のためにしたいこと
 札幌(さっぽろ)のまちづくりや地域(ちいき)のためにどんなことをしてみたいですか。あてはまるものにもいくつか○をおつけください。

- ・「国際交流・異文化交流に関する活動」(62.5%)、「困っている人を助ける活動」(49.3%)、「翻訳や通訳」(46.0%)の順となっている。
- ・「その他」には、納税、スポーツ交流、英語教育といった回答があった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国際交流・異文化交流に関する活動	170	62.5%
2	困っている人を助ける活動	134	49.3%
3	翻訳や通訳	125	46.0%
4	札幌の魅力を札幌以外に発信する活動	97	35.7%
5	高齢者との交流など地域の福祉に関する活動	60	22.1%
6	地域の防災活動	57	21.0%
7	子育て支援に関する活動	47	17.3%
8	その他	7	2.6%
9	活動したくない	21	7.7%
	無回答	8	2.9%
	N (%へ-入)	272	100.0%



問 18 札幌市にしてほしいこと（自由記載）

その他(ほか)、国籍(こくせき)などに関係(かんけい)なく地域(ちいき)住民(じゅうみん)が暮(く)らしやすいまちづくりを進(すす)めるために札幌市(さっぽろし)にしてほしいことは何(なん)だと思(おも)いますか。(自由(じゆう)記載(きさい))

(1) 国際交流・協力を係る意見

①全般

- ・多国籍な文化交流がある
- ・定期的な国際交流

②国際交流関連施設

- ・気軽に行けるセンターが近所があれば嬉しい。

(2) 多文化共生に係る意見

①外国人市民相談窓口

- ・ズーム等を使ったオンライン相談も対面より簡単で良いと思う。
- ・すべての情報を同じ場所で異なる言語で取得できるインフォメーションセンターを運営してほしい。
- ・できれば、外国人のための相談窓口（民間）で、困っていることを率直に話し、より便利な方法で対応等の提案等を受けられるようにしてほしい
- ・区役所での言語サポートの充実。区役所のルールで困ったときの外国人相談窓口の設置。バスはすべて日本語になっており、英語や中国語しか読めない場合、交渉/理解するのは難しい。札幌の他の外国人居住者（ツイッター）から、言語の壁のために地元の交番で問題があったと聞いた。私が理解したところでは（私が間違っているかもしれないが）、外国人居住者は彼らに代わって警察と交渉する第三者（警察ではない）を必要としていた。
- ・除雪を徹底し、高い氷の壁を残さないでほしい。ゴミ出しは分別が面倒。出生前ケアのための財政的支援。
- ・有料でも問題はないが、通訳できるコールセンターを整備してほしい。日常生活で問題なく日本語を使える外国人は本当に少ない。ここに来て 1 か月余りだが、トラブルになったのは、ほとんど言葉の問題（特に電話のやり取り）。

②行政情報の多言語発信、強化

- ・IT 担当者は、より効率的で安価なリモートワークの場所で働いており、こうした IT 担当者は日本を目指す可能性がある。札幌市・区をバイリンガルなまちにするには、言葉が役に立つ。外国人留学生の手伝いをしているが、頻繁に通訳や翻訳をする時間が少ない。
- ・コロナ/ ワクチン情報は、日本語以外の言語で、アクセスするのが非常に困難だった。一種の親白人的なアプローチではなく、多文化共生を進めることは非常に良いこと。オリンピックは開催する必要はない。そのお金を市の市民を助ける方法で使用してほしい。
- ・スピーチや標識での適切な英語の使用。
- ・すべてのサービスと事務局は多言語に対応する。外国人労働者の基本給を引き上げる。食品の価格を低く調整する。
- ・英語で提供される情報の量を改善する必要がある。郵便物。公共の場所でのアナウンスは、英語と日本語の両方で行う必要がある。病院で英語の翻訳者を雇ってほしい。

- ・英語の住民票申請書や健康保険申請書があるとよい。外国人の負担軽減になる。また、稀なケースだが、外国人が犯罪者であるかのように行動しないよう警察にはしっかり監視してほしい。就職活動のサポートが欲しい。特にコロナ禍で就職が難しい。私は流暢に日本語を話すことができるが、ここ6ヶ月はまだ仕事を見つけるのに苦労している。他の外国人にとっても、どれだけ大変か想像できる。
- ・英語やその他の言語を話せる職員をもっと雇ってほしい。
- ・区役所の書類などについて、多国語のバージョンを用意するか、又は多国語バージョンの記入例を用意した方がいいと思う。年金、保険、税金などの相談窓口でも可能な限り多国語で対応できるようにした方がいいと思う。
- ・公共の場で多言語表示を増やす
- ・公共の場所で多言語を使用する。外国人のためのオープンインテグレーションクラス。誰もが参加できる遊び場、アクティビティを作成。札幌在住・在勤の外国人への医療支援。スーパーマーケットやコンビニエンスストアで他の多くの国の食品や商品をより多く販売する。
- ・公共交通機関は不便を感じる。案内や誘導が足りない。
- ・公共施設に表示されている中国語の翻訳がとても不自然に感じるところが多い。翻訳ソフトのみだとあまり正確に意味が伝わらない。
- ・公共周りに多国語展開、案内を増やして頂きたい。特に中央区、観光地への交通手段など。
- ・広報誌（広報さっぽろ）に1~2ページで良いので英語などで重要な情報があると良いと思う。
- ・香港から来た。バス停について意見を表したいと思います。札幌のバス停に路線バスの番号が見えづらい。例えば1番バス札幌駅行きは、バス停の路線図の中に探さなければならぬ。もしできれば、路線バスの番号をちゃんとバス停の表面に貼ってあれば誰にも簡単に何番バスがここに止まるか分かって、便利になると思う。
- ・今のところ特に大きな問題はない。市役所だけは、スタッフが英語を理解できず説明が難しかった。良い仕事を続けてください。
- ・札幌に在住の外国人を集めて、それぞれに母国語で札幌を紹介してほしい。観光スポットで多言語サービスを提供してほしい。
- ・札幌の外国人居住者の多くは、義務付けられた保険（社会保険）に従業員を登録せず、しばしば最低賃金よりも低い賃金を支払うことで労働法に違反する企業の下で、英語関連の仕事（ALT、英会話）をしている。これは広く知られている問題であるにもかかわらず、労働局と政府全体は目をつぶっており、権利を十分に理解していない外国人労働者を利用するこれらの企業の行為を止めることは何もしていない。日本で外国人労働者を支援したい場合は、労働法に関する情報を英語で提供し、外国人労働者を雇用する企業に労働法を施行することから始めてほしい。
- ・市のお知らせの翻訳版があればもっとよい。
- ・市役所、ほくでん、インターネット、買い物等でもっと英語を使ってほしい。
- ・実は札幌市は外国人が住みやすい街。区役所にも外国語を話せるスタッフがいて、とても良い。ただし、改善できる余地がまだあると思う。大きなゴミ（粗大ゴミ）を捨てたいときは、市役所や衛生事務所に電話して引き取ってもらう必要があるが、この際のスタッフとの電話において難しいレベルの日本語会話が必要になる。こうした手続きを英語翻訳ページでオンラインに移行できれば、私たちにとって非常に簡単になる。オンライン自転車登録・キャンセルなどもよい。課題も挙げましたが、全般的に札幌市は既に外国人にとって十分に住みやすい。
- ・多言語ウェブサイトを構築。行政手続きはオンラインで。全国文化祭の開催。

- ・多言語の生活情報を掲載しているサイトを提供
- ・中国語のPR資料や動画等を作成し、ダウンロードできるようにしてほしい。
- ・日本での基本的な生活マナーについての動画（英語版）
- ・日本語と英語を同じ大きさと表示するバイリンガル標識を増やしてほしい。バイリンガルの標識の多くは、日本語は大きく、英語は小さく表示されている。これは、本来のバイリンガル標識ではない。また、活動に関するインターネット情報や英語での一般的な情報をもっと提供してほしい。
- ・札幌には素晴らしい食べ物がたくさんあるが、そのほとんどは日本語メニューしか提供されていない。可能であれば、英語メニューまたは英語でコミュニケーションを取れる人がいるレストランを提供頂きたい。

③行政窓口のコミュニケーション支援

- ・行政面で外国人の特殊な状況に対してケースバイケースの対応ができるようにしてほしい。特に留学生等在留期間が限られている場合、手続きに2～3ヶ月がかかることで、仕方なく手続きできないまま帰国することも聞いたことがある。

④くらしのサポート

- ・駅で多言語で案内できる人を増やすことが望ましい。鮮やかな色の衣服を来て目立つように。
- ・外国人を支援する公益的な政策や公益活動を実施し、外国人に対する認知や理念を改善できるように努力してほしい。外国人に起業機会を支援してほしい。
- ・外国人経営者により多くの支援をしてほしい。
- ・気軽に参加できる外国人向けのスポーツチーム。電車やバスの乗り方が少し難しいので、わかりやすく乗り方を伝えてほしい。
- ・口座がないと部屋を借りられず、外国人に偏見を持たないでほしい。
- ・札幌に定住意識のある外国人に仕事や起業の機会を提供してほしい。
- ・札幌市に外国人に対して就職するのは難しいと思います。もし、この点を支援してもらえたと、より住みやすいと思う。
- ・仕事の機会を増やしてもらいたい。どこに行ってもペーパーワークが多いのでなるべくそれを減らしてもらいたい。自転車で行っているときおまわりさんが追いかけてきて自転車を止まめて身分証明書などチェックすることをやめてもらいたい。（周りの目はうちらが容疑者だと思われるので恥ずかしい）
- ・仕事を探している外国人の方へのサービスを提供してもらえると助かる。日本では、今も、これからも、仕事さえあれば何でも揃う。「ハローワーク」に似たものがあれば大いに助かる。
- ・仕事機会を増やしてほしい。
- ・弱い立場の人にやさしくしてほしい。
- ・生活場所まわりのスポーツができる場所を知りたい。
- ・北海道に来た外国人が就職したり、日本語を教えたりする際のサポート。

⑤日本語学習、生活ルール理解促進

- ・言葉は大きい壁なので翻訳に力を入れてほしい。
- ・中級または上級レベルで無料のオンライン語学クラスを提供してほしい。私が最初にここに来たとき、語学学校に通っていたが、生徒数が多すぎて、十分に学ぶことができなかった。

⑥医療関連支援

- ・医療関係の通訳サービスがあったらよい。日常会話は問題ないが、やはり先生と話す時、医療専門用語が多いので、わからない時が多い。自分の症状を確実に伝えることも難しい。こんな時は、「先生は本当に私の病気を分かっているのか」という不安が強い。もし何か対応して頂ければありがたい。
- ・英語などで相談できる歯科医・医師等の日時・内容について、外国人民が簡単に情報を見つけられる場があるのか？
- ・英語を話せる医師、看護師、医療従事者、クリニックの受付係が増えることを願う。

⑦地域コミュニティにおける交流促進

- ・コロナの影響でフェスティバルは延期され、開催されなかった。事態が収束することを願う。清掃、ゴミ収集、植栽などの地域活動に参加できることを楽しみにしている。住んでいる地域では、ところどころゴミが散乱していたり、道沿いの木々が綺麗とは言えません。きれいな街づくりに貢献したい。国際交流など各国の風習や文化を取り入れたフェスティバル活動を多数実施してほしい。
- ・外国人・居住者が清掃やパトロールなどの地域社会・活動に参加できる場があればよい。

⑧外国人のまちづくり参画

- ・なし

⑨外国人市民への日本語学習支援、子どもの教育支援等

- ・インターナショナル・パブリック・スクールを幼稚園から始めてほしい。大通にインドネシアを中心としたアジアフードのお店を増やしてほしい。子供たちのためのアドベンチャーパークを作してほしい。
- ・他の町のように、お年寄りにも日本語の授業を提供するようにしてほしい。お年寄りにとって、言語学校等で日本語を勉強することがあまりできないから。
- ・多文化の統合を進める。無料日本語教室を実施し、英語の情報を増やし、その情報へのアクセスも容易にする。
- ・通常の営業時間外に日本語を学習するためのリソースがもっと欲しい。日本語の授業を受けたいが、中学校でALTとして働いているので、4時過ぎまで授業を受けることができない。

⑩交流イベント等を通じた異文化理解、多文化共生意識の醸成

- ・BBQ キャンプなどのイベントを開催するなど、外国人と地元の人々が交流する活動を開催することを提案したい。私たちの周りの世界への意識を高めるために、話したり、自国の大使になる機会を提供するプログラムの実施。言語（英語）も学びたい地元の人々のためのチャットセッションの実施。
- ・イベントやお祭り等をたくさん行い、どんどん交流したらどう？（もちろんきちんと規則、ルールを徹底して）
- ・このアンケートに書かれているアイデア（例：コミュニティ活動、文化交流イベントなど）はすでに非常に優れていると思う。それらのアイデアがたくさん実装されれば、外国人の札幌での生活は間違いなく、もっと面白くなり、日本人とのコミュニケーションにも役立つ。イベントに関する情報が分かりやすい形で提供されることを願う。また、このようなイベントの企画に外国人を巻き込むことは、日本人と外国人居住者とのコラボレーションや文化理解のコミュニティを作る良い機会になると思う。

- ・異文化交流のイベントを催してほしい。
- ・一般的な日本人の方々にとって、外国人は近くて遠い存在であって、よく見かけるが実際に交流したこと（コンビニの買い物を除くと）はほとんどない。知らないがゆえに、ステレオタイプ、若しくは恐怖心も抱きやすい。札幌市として、地域住民と外国人市民との交流の場をもっと作って、人間同士の話し合いを通じて、互いのことを知ってもらうことは一番大事なことだと思う。
- ・夏期間に毎週ファーマーズマーケットがあってもいいのではないかと思う（6～9月 日曜日午前のみなので）
- ・外国の音楽祭の企画。
- ・外国人がいる学校の各教務課に行くのが一番手っ取り早い方法かもしれない。また、札幌市は大学・学校の学生会コミュニティと協力できるかもしれない。
- ・外国人にもいろんなところで自由に参加する機会を与えてもらえれば参加できると思う。
- ・外国人の子供が参加できるような交流活動を開催してほしい。
- ・学校での多文化教育
- ・芸術と文化（博物館 + ギャラリー）が有料で排他的と感じている。1,000円+文化系のイベントなどは高いと思う。この部分に補助金を出すことで美術館やギャラリーを広く開放できるのではないか？
- ・公園でのさまざまな活動機会を増やしてほしい。現在は手稲前田公園での活動を楽しんでいます。
- ・公園などのオープンな公共スペースでの毎月の会合を開催する。
- ・札幌には私のような外国人がもっと増える可能性が高いと思う。札幌では、文化の多様性と国の多様性を皆で祝う平日のフェスティバルが開催されるべきだと思う。
- ・札幌市が最優先すべきは除雪対策だと思う。人種国籍等にかかわらず、子供や大人に対する人権教育がとても大事だと思う。
- ・札幌市は異文化交流の活動をもっと開催すべきである。保守的な日本人市民の異文化への理解を促進することで、共に暮らすことや札幌市の国際化に役立つ。
- ・札幌市民がさまざまな外国の文化を学び、理解する機会を増やしてほしい。食べ物、精神、言語など。札幌の人々は非常にオープンマインドで、外国人や異なる文化を受け入れるが、北海道は常に人里離れた場所にあり、国際社会から遠く離れている。他の寒冷地の都市とのつながりを深めることも、文化的および技術的交流の両方に役立つ。世界で最も降雪量の多い都市の1つである札幌には、多くの共有する事と学ぶ事がある。フード&ショッピングを特徴とする大規模かつ常設の国際モールも大歓迎。
- ・市内の農作物や花木などを紹介する農業・植栽イベント。誰にとっても自転車に優しく安全な街の紹介・促進。外国人向けの簡単な日本語で書かれた本や雑誌、その他の読み物を推奨する。国境を越えた交流を促進するために、地域住民に無料の外国語クラスを提供する。
- ・新しい国に来る外国人は誰でも非常に驚く。新しい生活環境や文化に適応するために、彼らも多くの努力をしなければならない。言語、イデオロギー、文化など、地元の人と外国人の間には一定の障壁があることを私は知っている。しかし、お互いに愛と思いやりを持って生きていけば、すべてがうまくいくと思う。市には、外国人が日本の文化や人々について交流し、学ぶ機会を提供し、日本人が私たち外国人についてもっと理解できるようにするためのプログラムがあることを願う。
- ・人々を結びつけるのは、違いではなく、共通点だと思う。人々の間につながりの感覚を築くことは、帰属意識を促進するのに役立つ。コミュニティを構築する方法は1つではなく、さまざまな方法があるため、相互に接続するための多くの手段を提供すること

が重要。外国人の食べ物、文化、独自性を宣伝することは興味深く、好奇心を刺激する側面と、分離感を促進し違いに焦点を当てる側面がある。本当に外国人を日本社会に溶け込ませたいのなら、私たちがどのように在り、如何にして共に生きていけるかに焦点を当ててほしい。

- ・雪まつりで有名な札幌は、観光においてはもう既に外国人観光客を受け入れる準備ができていように思う。長期居住者にとっては、日本人と外国人の間にある隔たりに取り組みを入れてほしい。日本人はやはり保守的な特質がある。外国人との接触では、不自然や隔たりを感じる。それを解決するには、外国人の文化を広げたり、宣伝したりすることを試すことを提案する。それによって、外国に対する日本人市民の理解を深めることができるのみならず、外国人から見れば、とても温かく、親切に感じると思う。
- ・地域の方と交流がないせいか、札幌の町がとてもよそよそしく感じる。この町が自分の居場所になるような取り組みがあれば良いと思う。
- ・同じ趣味を持つ人々の集まり(例:登山、マラソン、日本文学を一緒に読むなど)
- ・日本の料理を学びたい。
- ・日本人市民が外国人に対してもっとオープンに、より多くの仕事、より多くの機会、よりフレンドリーに提供してほしい。オープンマインドになりましょう。
- ・様々な国の人を集めるようなイベントを開催してほしい。
- ・このアンケートを多言語で送ってくれたことに感謝するとともに、良いPRにもなっていると思う。私が出会った札幌の人々に心から感謝し、愛しています。人々はとてもフレンドリーで、私に対して助けてくれる。外国人が札幌に定住するための講演やイベントが見たい。個人的には、卒業後に札幌で起業する方法を知りたい。
- ・札幌在住の外国人と日本人とのワークショップが参考になると思う。また、「太鼓」(ドラム)についての無料講座や、ボランティアの環境犬にも興味がある方を探している。上記のことについて会議イベントを設定していただければ感謝する。

⑪ その他

- ・お互いの顔を見ることができるとは、健全な日本社会と国際社会の促進と創造において非常に重要。人が笑っているのか眉をひそめているのか、喜んでいるのか悲しんでいるのか、混乱しているのか理解しているのか、ポジティブな感情やネガティブな感情を表しているのかなどがわからない場合、お互いにコミュニケーションを取り始めたり、信頼関係を築いたりすることはできない。私は日本に10年間住んでいるが、過去3年間、他の人の顔をめったに見ることができなかつたのはとても悲しい。日本が大好きですが、人が笑顔を見たり、感情を表に出さないのは良くない。
- ・何ヶ所か住んだ中で札幌がいちばんくらしやすい街だと感じている。法律上は外国人。中身は日本人。こんな外国人もいるということを理解してほしい。
- ・家族に送金しなくてはならないので、これからも札幌で生活し仕事をするを許容してほしい。
- ・外国人にも店舗スペースを貸してほしい。
- ・外国人に一定程度の税金優遇制度を作る。
- ・外国人生活向上のための労苦に感謝したい。
- ・警察は、札幌に住み始めて以来6年間に3回私のIDを確認するために立ち止まらせた。東京に15年間住んでいたが、そんなことは一度もなかった。警察は自身の偏見をもっと認識する必要がある。
- ・懸念を一つ一つ払しょくしていくことが絶対的な喜びであり、これが変化の始まりであり、札幌在住外国人の認知である。

- ・ 行政の職員が率先し、外国人に対して差別、偏見を持たずに多文化共生についての意識を向上しなければどんなことをしても無駄ではないかと思っている。
- ・ 札幌に限らず、日本の入国管理システムは外国人にとって非常に厳しい。まるで黄金の檻。外国人に対するビザポリシーは非常に不快。札幌市は、外国人の活動の良し悪しを A、B、C の等級に分けて管理する必要がある。すべての外国人が悪い人ではない。おそらく、札幌入国管理局はビザの手続きをしている間、低所得国出身者の永住権取得を回避している。入国して以来 14 年、外国人として札幌市の社会および出入国規則と規制に従い納税し、札幌入国管理局で「永住権」を 2 回申請したが 2 回とも却下された。札幌市は、外国人が個人的な活動を見るためのビザポリシーを少し変更する必要があると思う。
- ・ 札幌市はとても住みやすい街で、人も優しい。私の唯一の懸念は、冬の間は大雪のために運転が難しく、道路で問題が発生することがあること。災害に迅速に対応することで、住民、特に高齢者や小学生に役立つ可能性がある。
- ・ 札幌市政は、良いと思う。人種や国で差別しない市政と思っている。北海道も元々は、他県からの人々が集まってできた町。札幌市大好き。
- ・ 私の意見では、札幌市は外国人にとって最高のまちだと思う。
- ・ 就労ビザと永住ビザの要件を引き下げることを検討してほしい。誰もが資格要件に見合うお金を稼ぐためだけに毎週残業したいわけではない。
- ・ 従来の対応を改めオープンマインドを教えることが重要だと思う。子どもだけでなく大人にも。ハーフなので、あまり差別的な扱いを受けたことはないが、自分のバックグラウンドは周りを混乱させるようだ。愛知、群馬は多くの日系人がいて、北海道は日系人が少ない。また、日本人が中国人や韓国人に差別的だという話を聞くこともある。教育において重要なことは、人と国籍は同義ではなく、一般化すべきではないこと、歴史やアイデンティティを尊重しながら地域の文化に取り入れることである。在日の韓国、中国人等の中には生まれも育ちも日本という方もおり、その点には注意が必要だと思う。
- ・ 初めて空港に到着したとき、インターネットに接続するためのツーリスト SIM カードを購入できなかった。これは、外国人が初めて他の人とコミュニケーションをとるのに苦労する瞬間である。日本と札幌の法律/規制に従って、必要に応じてすべての居住要件の手続きを進めるために、まず友人と通信するために携帯電話から約 1 週間でインターネットにアクセスできれば非常に良い。アンケートに回答する機会を与えて頂き感謝している。
- ・ 除雪、排雪の問題が解消できたら札幌は最高です。冬は競馬場を雪捨て場にできないでしょうか。冬でも快適に過ごせる街にしてほしい。
- ・ 多様性を深めていくためには、札幌市に住んで市税を納めている人は市議会選挙への参政権を認める。
- ・ 同性婚を認めてほしい。

3. 参考資料

(1) 日本人市民向けアンケート調査票

国際交流及び多文化共生に関する市民意識調査

札幌市に暮らす外国人市民は、2022年5月現在、13,731人で、10年前と比較しておよそ1.4倍に増えています。さまざまな分野で外国人材が求められる中、今後もさらに、市民として地域に暮らす外国人が増えるものと予想されます。

札幌市は、公益財団法人札幌国際プラザ(※1)と連携し、姉妹・友好都市(※2)などとの交流を通じて、市民の皆様に異文化に対する理解を深めていただくとともに、地域で暮らす外国人市民の皆様にとっても暮らしやすいまちづくりを進めることで、国籍や民族に関係なく誰もが活躍できる多文化共生のまちづくり(※3)を進めています。

こうした取組について札幌市にお住まいの方を対象に、ご意見やお考えをお聞きするアンケート調査を実施します。

調査結果は、令和5年度に策定予定の「(仮称)札幌市国際交流・多文化共生基本方針」や札幌市の国際施策の参考資料としますので、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※公益財団法人札幌国際プラザ

国際交流の促進やコンベンション事業の推進等を図り、地域経済の活性化・文化の向上及び国際理解を深めることを目的として、平成3年7月に財団法人として設立(平成23年公益財団法人へ移行)。国際交流に関する人材育成、関係団体への支援・連携、海外からの観光客や外国人市民へ多言語での情報提供など、多文化共生を促進しながら国際都市にふさわしいまちづくりを進めている。

※姉妹・友好都市

札幌市では、ポートランド市(アメリカ)、ミュンヘン市(ドイツ)、瀋陽市(中国)、ノボシビルスク市(ロシア)、大田広域市(韓国)と姉妹・友好都市提携を締結し、市民同士の交流が行われているほか、青少年の相互訪問やスポーツ交流、5年ごとの周年を祝う記念事業などを実施している。

※多文化共生のまちづくり

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省)。札幌市では、外国人市民の孤立防止や暮らしの不便不安を解消するため、札幌国際プラザに「さっぽろ外国人相談窓口」を開設し、外国人の生活やコミュニケーションに関する支援を行うとともに、地域における市民の異文化理解の促進などに取り組んでいる。

このアンケートは、Googleフォームでも回答できます。

右の二次元コードからお進みください。



回答期限: 7月8日(金)

(多文化共生)

問1 あなたは札幌市が、国籍などに関係なく暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 非常にそう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 全くそう思わない |
| 5. わからない | |

問2 あなたは外国人市民が増えることにより良くなることは何だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 外国の言葉・文化等を知る機会が増える |
| 2. 外国のことについて関心を持つようになる |
| 3. 地域内の多様性が広がる |
| 4. 地域で他の国籍の方と交流できる機会が増える |
| 5. 働き手が増え、産業が活性化する |
| 6. 地域活動の担い手が増え、お祭り等の地域活動の活性化が期待できる |
| 7. その他 () |
| 8. 特にない |

問3 外国人市民が困っていたり、不安に感じていたりすることは何だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 日本語のコミュニケーションのこと |
| 2. 行政窓口での手続き |
| 3. 住居のこと |
| 4. 地域住民との交流や日常生活のルールのこと |
| 5. 医療のこと |
| 6. 子育て・教育のこと |
| 7. 災害・防災のこと |
| 8. 仕事のこと |
| 9. 外国人への差別や偏見 |
| 10. わからない |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

問4 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたができることは何だと思えますか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

1. 外国の文化・慣習を理解する
2. 日本語、日本の文化・慣習を外国人市民に紹介する
3. 外国語を習得するよう努める
4. 外国人市民にあいさつや話をする
5. 外国人市民と交流ができる行事などに参加する
6. 外国人市民の支援や外国人観光客の案内などのボランティア活動に参加する
7. 外国人に対する先入観を持たない
8. わからない
9. その他 ()
10. 特にない

問5 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたが外国人市民に望むことや期待することは何ですか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

1. 日本の生活ルールを守る
2. 日本の文化・慣習を理解する
3. 日本語を勉強し、会話ができるようにする
4. 近所の人に挨拶や声かけを行う
5. 日本人に対する先入観を持たない
6. 外国の言葉や文化を教える
7. 地域の活動に積極的に参加する
8. 外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する
9. その他 ()
10. 特にない

問6 日本人市民と外国人市民が交流する機会として、実施して欲しい取組や参加したい取組は何ですか。あてはまるものはいくつでも○をおつけください。

1. お祭りや花植え・清掃などの地域活動への参加を通じた交流
2. 町内会などで外国人市民と一緒に地域のイベントなどを企画・運営する活動
3. 小学校や幼稚園などで子どもたちと外国人市民が交流する活動
4. 外国人市民が母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動
5. 日本語や日本文化を外国人市民に紹介する活動
6. 地域の魅力を外国人市民の視点で発見・発信する活動
7. 健康づくりを通じた交流
8. スポーツを通じた交流
9. その他 ()
10. 特にない

問7 「やさしい日本語(※)」を知っていますか。また、実践したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

1. 知っていて、実践したことがある
2. 知っていて、実践したことはないが実践したい
3. 知っているが、実践したいと思わない
4. 聞いたことはあるが、内容は知らない
5. 知らない

※ やさしい日本語とは、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりルビを振るなどして日本語理解が不十分な外国人にもわかりやすくした日本語のことです。

やさしい日本語には、「易しい」と「優しい」の二つの意味が込められており、外国人だけではなく、子どもや高齢者、障がい者とのコミュニケーションにも活用が期待されています。

また、札幌市で今年4月に実施した外国人向けの日本語能力調査では、日本語を問題なく聞き取れる方とやさしい日本語でゆっくり話せば理解できるという方を合わせると87%という調査結果が出ました。

例)公共交通機関でお越してください → 電車やバスで来てください

市役所内は禁煙です → 市役所の中でたばこを吸わないでください

問8 あなたは札幌市及び公益財団法人札幌国際プラザが多文化共生社会を実現するために力を入れるべきことは何だと思えますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

1. 市役所、区役所などの施設での多言語表示や通訳支援
2. 多言語やさしい日本語での情報の発信
3. 外国人市民が相談できるワンストップ窓口の運営
4. 外国人市民が医療機関を受診する際の通訳などのサポート
5. 外国人市民に対する日本語の学習支援
6. 災害時の外国人市民の支援、外国人市民に対する災害の知識や防災への意識啓発
7. 外国人市民の就労支援
8. 外国人市民の子育てや子どもの教育の支援
9. 外国人市民のボランティア登録や地域活動への参加促進
10. 外国人市民の意見を行政に活かすための制度創設
11. 外国人市民向けの生活オリエンテーション(ゴミ出しルールや雪道の歩き方など)
12. 日本人市民に対する外国の文化・慣習に対する理解促進
13. 日本人市民と外国人市民が交流する機会の創出
14. その他 ()
15. わからない

(国際交流・国際協力)

問9 あなたは次のような経験をしたことがありますか。経験したことがあるものいくつかでも○をおつけください。

1. 海外旅行、海外出張
2. 海外赴任
3. 海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業
4. 留学、ワーキングホリデー
5. 海外での国際協力活動
6. 札幌市や公益財団法人札幌国際プラザが実施する交流事業(オンライン含む)
7. 海外でのホームステイ、海外からのホームステイの受入
8. SNSなどでの海外との交流
9. その他 ()
10. 経験したことがない

問10 海外に住む人との交流事業へ参加してみたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

1. すでに参加している
2. 積極的に参加したい
3. 時間があれば参加したい
4. 情報があれば参加したい
5. その他 ()
6. 参加したいと思わない

問11 問10で「参加したい」と回答した方にお聞きます。あなたは海外に住む人とのような交流をしたいと思いますか。あてはまるものいくつかでも○をおつけください。

1. お互いの母国語や文化を教え合う交流
2. ビジネス交流
3. 子ども同士の交流
4. スポーツを通じた交流
5. 芸術や音楽を通じた交流
6. お互いの地域の魅力を伝え合う交流イベント
7. ホームステイなどの受入
8. 観光案内などのボランティア活動
9. その他 ()
10. 特にない

問 12 あなたは札幌市と今後関係が深くなる地域はどこだと思いますか。あてはまるものにくつでも○をおつけください。

1. 姉妹・友好都市(ポトランド市、ミソト市、瀋陽市、ホジリク市、大田(テジョン)広域市)
2. 気候・風土が似ている北方の諸都市
3. 中国
4. 韓国
5. アジア諸国(中国・韓国を除く)
6. 北米
7. ヨーロッパ諸国
8. ロシアなどの旧ソ連諸国
9. オセアニア諸国
10. 中南米諸国
11. 中近東諸国
12. アフリカ諸国
13. その他()
14. 特にない

問 13 あなたは札幌市に今後、どのような国際交流や国際協力の取組を行っていく必要があると思いますか。あてはまるものにくつでも○をおつけください。

1. 市民同士が友好親善や相互理解を深める交流
2. それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流
3. 次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流
4. ホームステイや生活体験学習などによる子どもたちのコミュニケーション能力向上や異文化理解を促す交流
5. スポーツを通じた市民同士の交流
6. 大学などの研究機関同士の学術交流の支援
7. 観光客等の誘致や地元企業の海外進出を促進するなど、新たな地域経済の活力を生み出す交流
8. 地球環境保全など地球規模の課題の解決に向けた海外都市との連携
9. フェアトレード(※)を推進する活動
10. 難民等の国際情勢について考え、理解を深めるための活動
11. その他()
12. 特にない

※フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」です。

問 14 国際交流を行うことによる効果として、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

1. 市民の言語力やコミュニケーション能力が養われる
2. 市民がさまざまな価値観や文化に触れられる
3. 国際感覚を備えた人材の育成につながる
4. 地域の特性や魅力を再発見できる
5. 産業・経済の活性化につながる
6. 札幌の魅力を海外に発信できる
7. 市民同士の友好親善や相互理解が深まる
8. わからない
9. その他 ()
10. 特にない

問 15 札幌市は世界冬の都市市長会(※)の事務局を担っています。あなたが世界冬の都市市長会に期待することは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

1. 冬の技術や経験を学びあい、札幌のまちづくりに活かす
2. 地球環境問題などの地球規模課題への対応力強化につながる
3. 地域の特性や魅力を再発見できる
4. 札幌の知名度向上につながる
5. 札幌の魅力を海外に発信できる
6. 札幌の世界の中での存在感を高める
7. 行政のみならず大学や企業などにも活用してもらう
8. わからない
9. その他 ()
10. 特にない

※世界冬の都市市長会とは、“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、世界中の冬の都市が集まり、冬の技術や経験、まちづくりの取り組みを学び合うためのネットワークです。1981年に札幌市が提唱し、現在、9カ国 22都市(2022年5月現在)が会員都市となっています。近年は、地球環境問題といった、世界が協力しなければならない課題にも取り組んでいます。

問 16 以上のほか、国際交流や国際協力を進めるために札幌市にしてほしいことは何だと思えますか。(自由記載)

アンケートは以上です。

本アンケートを同封の返信用封筒に入れていただき(切手は不要です)

お手数ですが、7月8日(金)までに郵便でお送りください。

ご協力いただきありがとうございます。

(2) 外国人市民向けアンケート調査票

国際交流と多文化共生のアンケート

札幌市に住んでいる外国人市民は、2022年5月で13,731人います。10年前と比べると1.4倍に増えています。いろいろなところで外国人の力が求められていて、これからさらに、札幌市で暮らす外国人が増えていくと考えています。

札幌市は、公益財団法人札幌国際プラザ※1と協力して、姉妹・友好都市※2などとの交流を通して、市民のみなさまに異文化を理解してもらい、札幌で暮らす外国人市民のみなさまにも暮らしやすいまちづくりを進めて、国籍や民族に関係なくいろいろな人が活躍できる多文化共生のまちづくり※3を進めています。

こうした取組について、札幌市に住んでいる人にアンケートをします。

アンケートの結果は、令和5年度ごろにつくる「(仮称)札幌市国際交流・多文化共生基本方針」や札幌市のこれからの取組の参考とします。みなさまのご協力をお願いします。

※公益財団法人札幌国際プラザ

国際交流やコンベンション事業の取組を進め、地域経済を活発にすることや国際理解を深めるため、平成3年7月に設立しました。国際交流に関係する人の育成、国際交流に関係する団体への支援・連携、海外からの観光客や外国人市民へ多言語で情報を提供するなど、多文化共生に取り組み、国際都市にふさわしいまちづくりを進めています。

※姉妹・友好都市

札幌市は、ポートランド市(アメリカ)、ミュンヘン市(ドイツ)、瀋陽市(中国)、ノボシビルスク市(ロシア)、大田広域市(韓国)と姉妹・友好都市になっています。これらの都市とは、市民同士の交流が行われているほか、若い人とお互いの都市を訪問、スポーツを通じた交流や5年ごとの周年を祝う記念事業などを行っています。

※多文化共生のまちづくり

多文化共生とは、国籍や民族が異なる人々が、お互いの文化の違いを認め合い、対等な関係をつくろうとしながら、地域社会の一員として共に生きていくことをいいます。札幌市では、外国人市民が孤立しないようにすることや暮らしで困ったことや不安なことを減らすため、札幌国際プラザに「さっぽろ外国人相談窓口」を開いています。ここでは、外国人の生活やコミュニケーションに関係する支援をしているほか、市民の異文化理解を進めています。

このアンケートは、[グーグルフォーム](#)でも回答できます。
右の二次元コードをスマートフォンのカメラで読みこんでください。



アンケートは、7月8日(金曜日)まで答えることができます。

(コミュニケーション・生活支援)

問1 あなたはどのようにして札幌に住んでいますか。あてはまるものいくつかでも○をおつけください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 職場や学校に通うため | 2. 家族と一緒に暮らすため |
| 3. 友達がいるから | 4. 生まれ育ったところだから |
| 5. 住みやすいから | 6. 札幌が好きだから |
| 7. その他 () | |

問2 札幌市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 何年間かは住み続けたい |
| 3. いずれ引っ越したい | 4. すぐに引っ越したい |
| 5. わからない | |

問3 問2で回答した理由を教えてください。(自由記載)

問4 札幌市は、国籍などに関係なく暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 非常にそう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. 全くそう思わない |
| 5. わからない | |

問5 日本や札幌での生活で困っていること、心配なことは何ですか。あてはまるものにいくつでも

○をおつけください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 日本語のコミュニケーションのこと | 2. 行政窓口での手続き |
| 3. 住居のこと | 4. 地域住民との交流や日常生活のルールのこと |
| 5. 医療のこと | 6. 子育て・教育のこと |
| 7. 災害・防災のこと | 8. 仕事のこと |
| 9. 外国人への差別や偏見 | 10. その他 () |
| 11. 困ったことはない | |

問6: 問5の答えで、あなたが困っていること、心配なことを詳しく教えてください

問7 生活で困ったときに相談する人は誰ですか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 一緒に暮らす人 | 2. 日本人の友人・知人 |
| 3. 職場の日本人上司や同僚 | 4. 職場の日本人以外の上司や同僚 |
| 5. 大学、日本語学校の先生 | 6. 日本に住む同じ国の友人・知人 |
| 7. 日本に住む別の国の友人・知人 | 8. 母国に住む家族や友人 |
| 9. 大使館・総領事館・名誉領事館 | 10. 札幌市役所や区役所 |
| 11. 公益財団法人 札幌国際プラザ(さっぽろ外国人相談窓口) | |
| 12. 地域の日本語教室やボランティア団体 | |
| 13. インターネットなどを使って自分で調べる | |
| 14. その他 () | |
| 15. 相談する人はいない | |

問8 生活をしていくうえで必要な情報をどうやって入手しますか。あてはまるものにいくつでも

○をおつけください。

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 一緒に暮らす人 | 2. 日本人の友人・知人 |
| 3. 日本に住む同じ国の友人・知人 | 4. 日本に住む別の国の友人・知人 |
| 5. 大学、日本語学校、勤務先 | 6. 地域の日本語教室、ボランティア団体 |
| 7. 日本語のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌 | 8. 外国語のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌 |
| 9. 大使館・総領事館・名誉領事館のホームページ | |
| 10. 札幌市のホームページ | |
| 11. 札幌国際プラザ(さっぽろ外国人相談窓口)のホームページ、Facebook、.. ニュースレター | |
| 12. 広報さっぽろ | |
| 13. SNS(Twitter、Facebook、LINE、Weibo 等) | |
| 14. 札幌市、札幌国際プラザ以外のホームページ | |
| 15. その他 () | |

問9 日本では地震や洪水、大雨などの災害が起きます。災害の時に備えていることはありますか。

あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 食べ物、飲み物、生活に使う物を準備している |
| 2. 停電の時に使う懐中電灯などを準備している |
| 3. 避難所の場所を確認している |
| 4. 家具や家電などを固定して、倒れたり落ちたりしないようにしている |
| 5. ハザードマップなどで自分の住んでいるところで、起きる災害を知っている |
| 6. 家族の安全を確かめる方法を決めている |
| 7. 水が出てこなくなった時に備えてお風呂に生活用の水をためている |
| 8. 防災訓練などに参加している |
| 9. 何を備えればいいのかわからない |
| 10. 災害のことを良く知らない |
| 11. 準備していることはない |
| 12. その他 () |

問10:札幌市の多文化共生に関する取組でもっと頑張りたいと思うものを選んでください。

あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

1. 市役所、区役所などの施設での多言語表示
2. 市役所、区役所などの施設での通訳支援
3. 多言語での情報の発信
4. やさしい日本語での情報の発信
5. 相談できる窓口の運営
6. 日本語学習についての情報発信、日本語教室の実施
7. 災害時の外国人支援、災害の知識や防災に関する情報の発信
8. 子育ての支援
9. 医療・福祉の支援
10. 仕事についての支援
11. 子どもの教育の支援
12. 地域社会への参加支援
13. 外国人市民の意見を行政に活かすための制度を作る
14. 日本の生活ルールや文化・慣習を学ぶ場所を増やす
15. 日本人市民に各国の文化・慣習を知ってもらうための取組
16. 外国人市民と日本人市民が交流する場所をつくる
17. その他 ()
18. 特にない

(日本人市民とのかかわり)

問11 日本人市民と話すことがどのくらいありますか。あてはまるものに1つだけ○をおつけください。

1. 職場や学校以外でも、話をすることが多くある
2. 職場や学校などで話をすることがある
3. 近所の人とあいさつをするくらい
4. 今は話をすることは少ないが、話をしたいと思う
5. その他 ()
6. 話をしたいと思わない

問12 外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、あなたができることは何だと思
いますか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 日本の生活ルールを守る | 2. 日本の文化・慣習などを理解する |
| 3. 日本語を勉強し、会話ができるようにする | 4. 近所の人とあいさつや話をする |
| 5. 各国の言葉や文化を教える | 6. 地域の活動に積極的に参加する |
| 7. 外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する | |
| 8. 日本人に対する偏見を持たない | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特にない | |

問13:外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、日本人にしてほしいことは何で
すか。あてはまるものにいくつでも○をおつけください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 各国の文化・慣習を理解する | 2. 日本の生活ルールなどを教える |
| 3. 日本語や日本の文化を教える | 4. 日本人市民が外国語を話せるようにする |
| 5. あいさつや話をする | 6. 日本語で話しかけてほしい |
| 7. 外国人市民と日本人市民が交流できる場所に参加する | |
| 8. 外国人に対する偏見を持たない | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特にない | |

問14 あなたは、清掃活動やお祭りなど地域の活動に参加したことがありますか。あてはまるもの
に1つだけ○をおつけください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 良く参加している |
| 2. 過去に参加したことがある |
| 3. 参加したことはないが、参加したいと思う |
| 4. 参加したことがないし、参加したいと思わない |

問15 問14の回答の理由を教えてください。(自由記載)

問16 今後、やってほしい、または参加したい地域の活動は何ですか。あてはまるものいくつかも○をおつけください。

1. お祭りや花植え・清掃などの地域活動
2. 町内会などで地域のイベントなどを企画・運営する活動
3. 小学校や幼稚園などで子どもたちと交流する活動
4. 各国の母国語や料理、文化などを地域の人に紹介する活動
5. 日本語や日本文化を紹介する活動
6. 地域の魅力を発見・発信する活動
7. 健康づくりを通じた交流
8. スポーツを通じた交流
9. 子育てを通じた交流
10. その他 ()
11. 特にない

問17 札幌のまちづくりや地域のためにどんなことをしてみたいですか。あてはまるものいくつかも○をおつけください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 国際交流・異文化交流に関する活動 | 2. 翻訳や通訳 |
| 3. 困っている人を助ける活動 | 4. 札幌の魅力を札幌以外に発信する活動 |
| 5. 地域の防災活動 | 6. 子育て支援に関する活動 |
| 7. 高齢者との交流など地域の福祉に関する活動 | |
| 8. その他 () | |
| 9. 活動したくない | |

とい
問18 その他、国籍などに関係なく地域住民が暮らしやすいまちづくりを進めるために札幌市に
してほしいことは何だと思えますか。(自由記載)

アンケートはこれで終わりです。
答え終わったアンケートを返信用の封筒に入れてください(切手はいりません)
封筒をとじたあと、そのままポストに入れてください。
7月8日(金曜日)までに送ってください。
ご協力いただきありがとうございます。